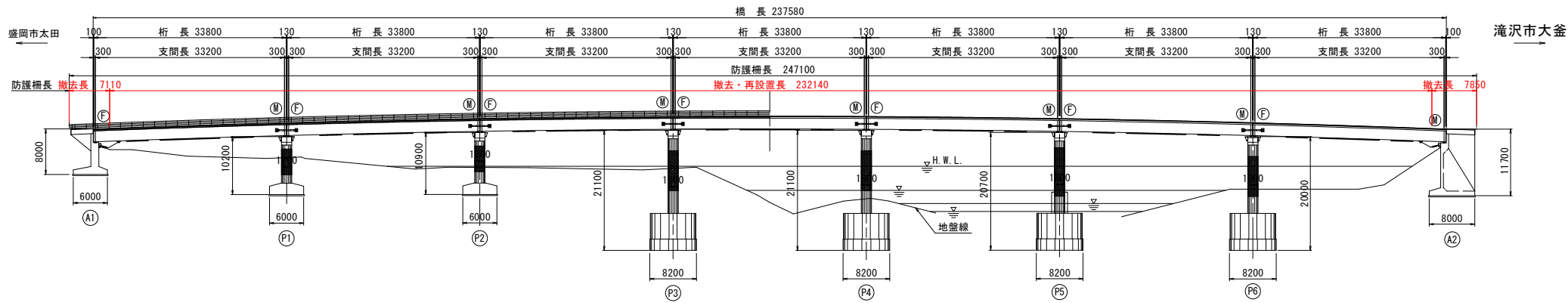
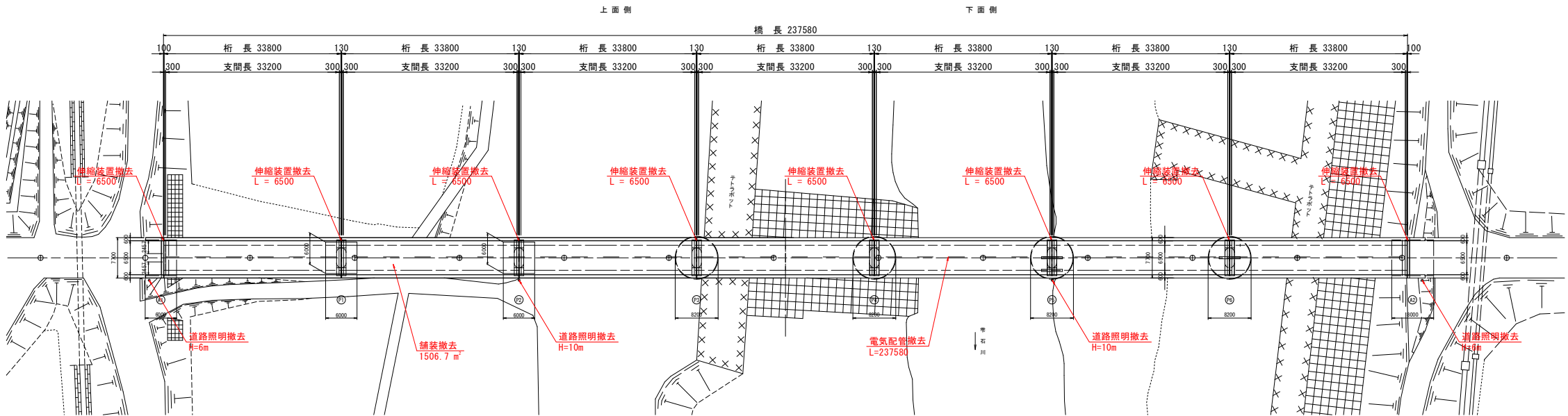


既設撤去図 (8/9)
橋面工

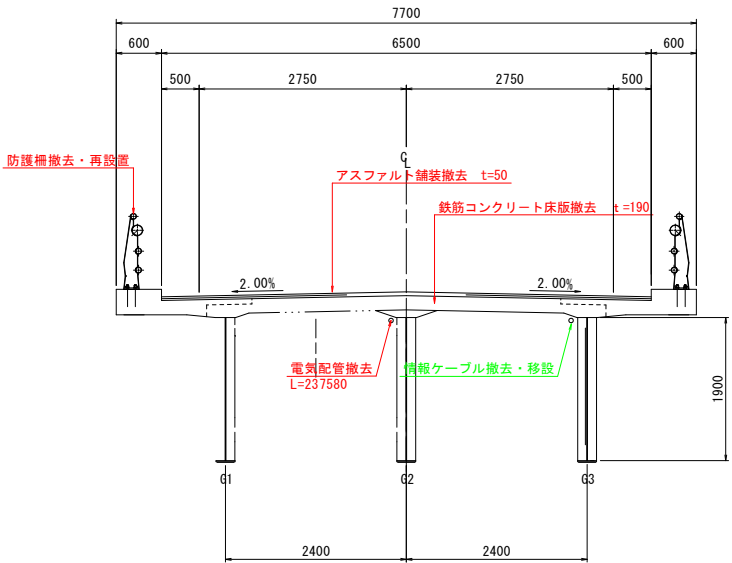
側面図 S=1:500



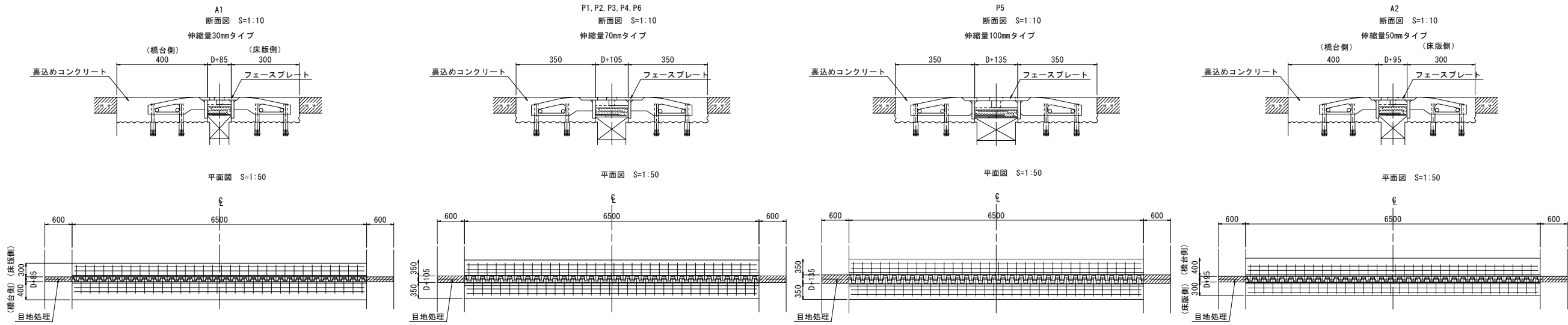
平面図 S=1:500



上部工断面図 S=1:50



既設伸縮装置詳細図

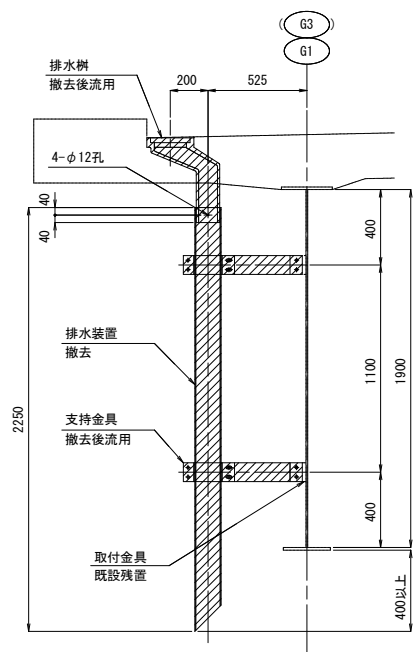


今回施工
別途施工

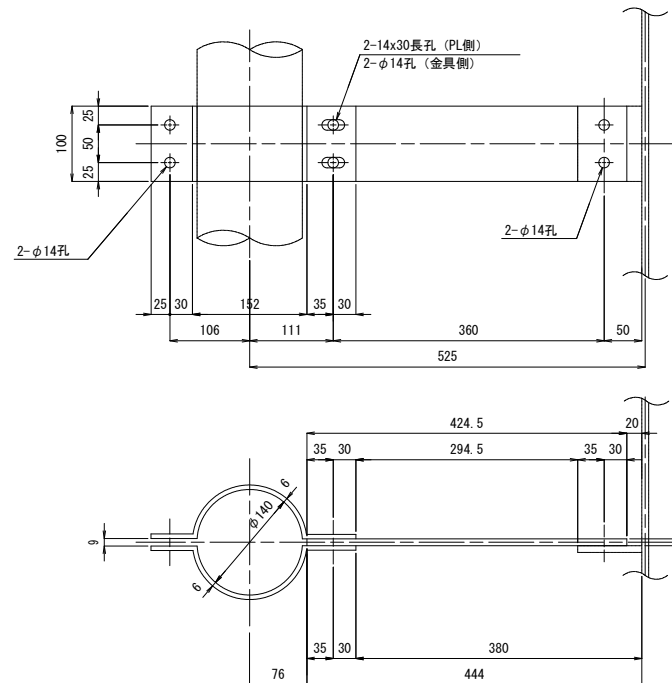
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 91	既設撤去図 (8/9)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

排水

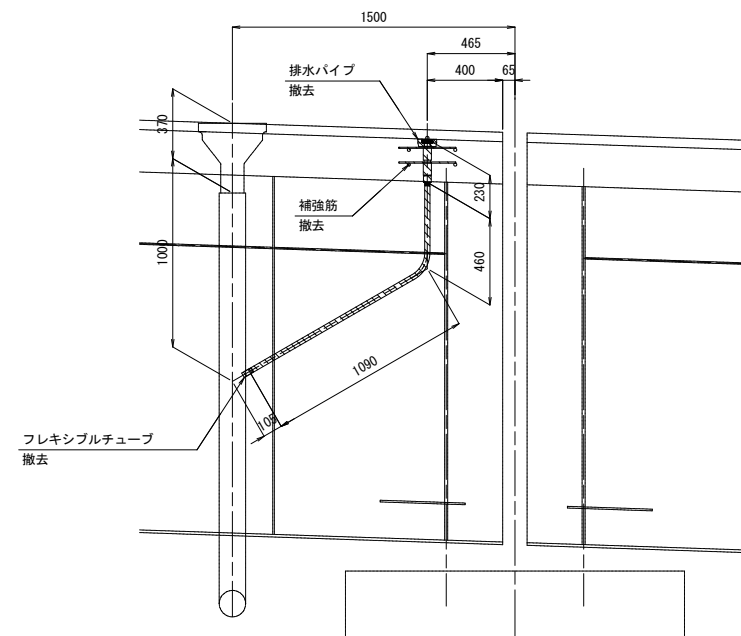
S=1 : 20



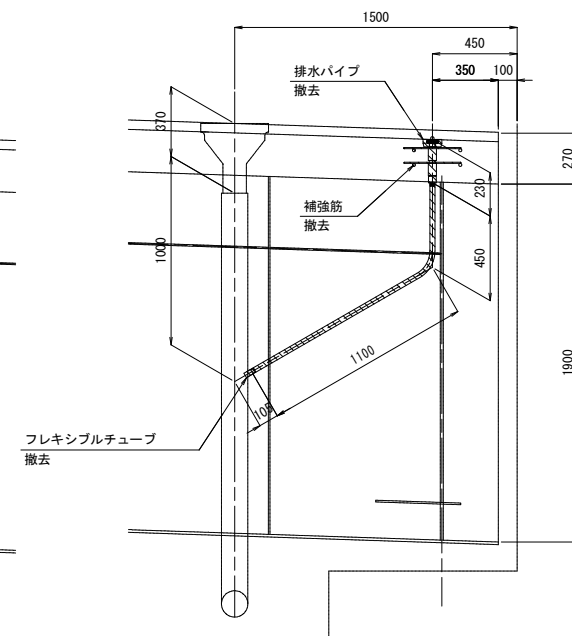
S=1 : 5



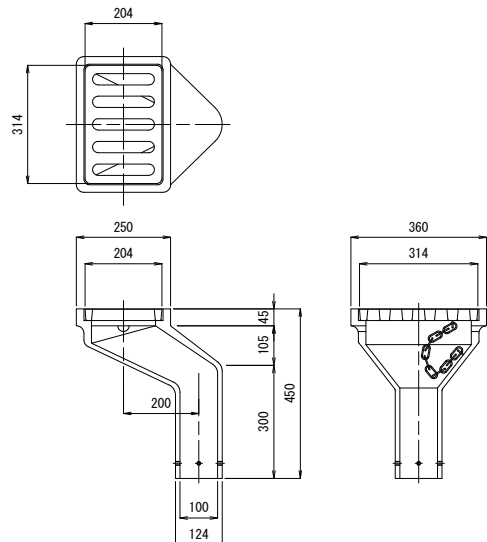
S=1 : 20



S=1:20

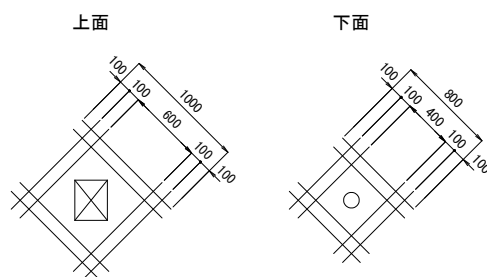


S=1:10

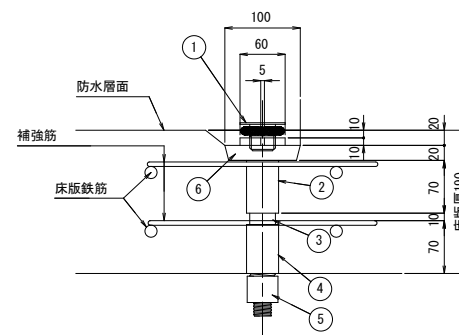


品 名	材 質	重量 (kg)
本 体	FC250	-
目 皿	FC250	-
チェーン	SS400	-
1組分合計		52kg

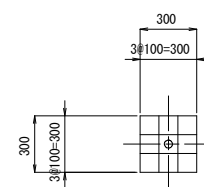
S=1 : 30



S=1 : 5

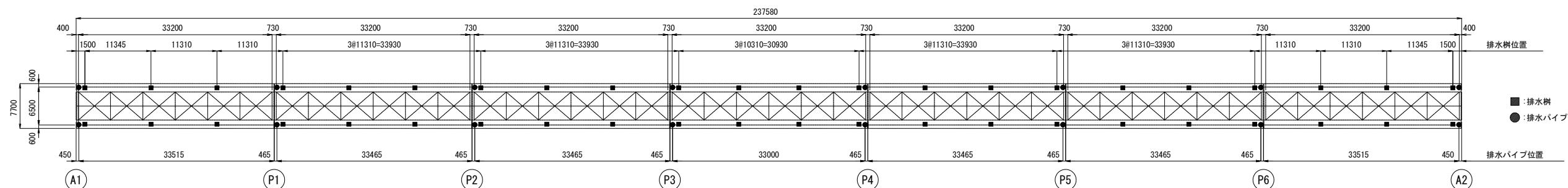


S=1 : 20



部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
②	φ42.7×70	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ)
③	φ34.0×90	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ)
④	φ42.7×65	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0×80	
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)

S=1 : 400



注記)

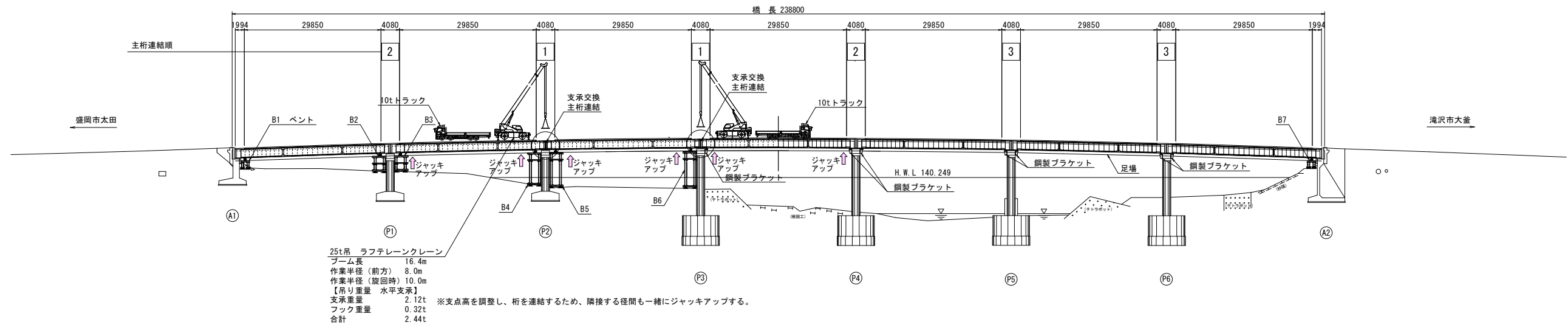
1. 特記なき材質は、全て SS400 を示す。
2. ※印は、部材は溶融亜鉛めっきを示す。

(HDZ55、ボルト類はHDZ35)

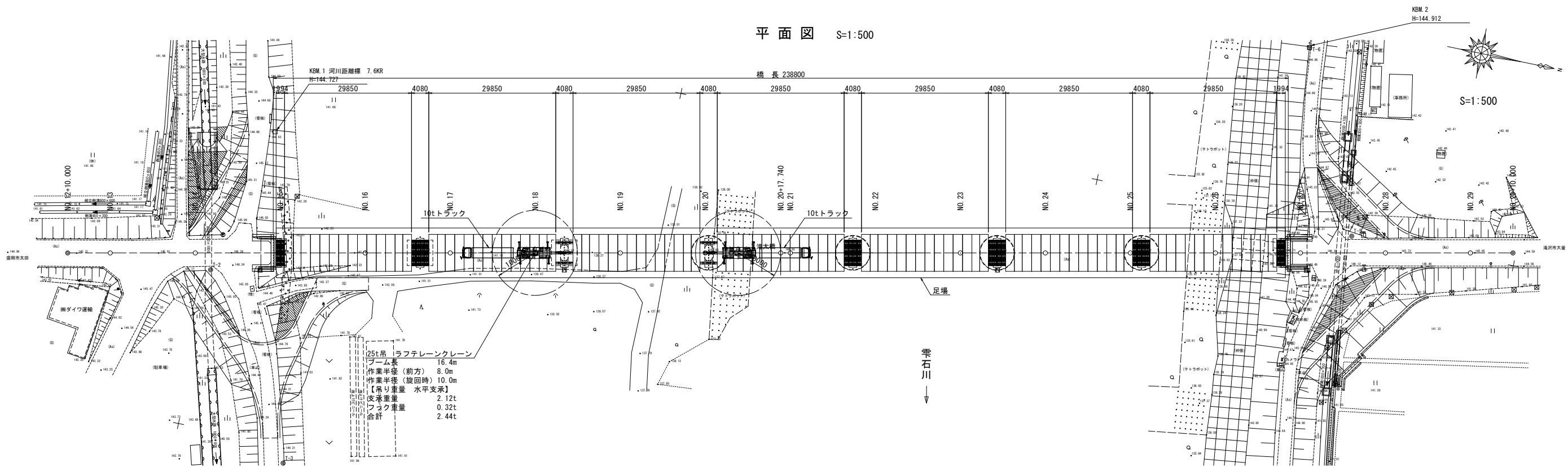
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及 滝沢市大釜塩の森地
全 179 枚 / 中 其 92	既設撤去図 (9/9)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝大橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

主桁連結部架設要領図

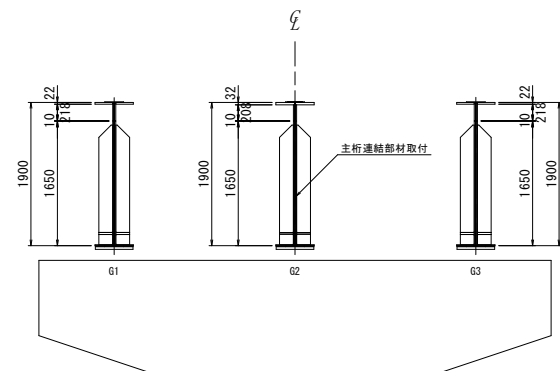
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



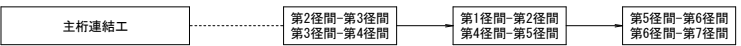
断面図 S=1:50



25tラフテレンクレーン (アウトリガー5.0m張出)
定格総荷重表 (旋回時)

ブーム長さ[m] 作業半径[m]	9.35	16.4	23.45
6.5	10.35	11.00	11.25
7.0		9.65	9.85
8.0		7.50	7.75
9.0		6.05	6.25
10.0		4.45	5.15
11.0		4.15	4.35
12.0		3.50	3.70
12.0		3.00	3.15
最大ブーム角	84°	84°	84°
最小ブーム角	0°	0°	0°

【主桁連結工の順番】



注記)
1. 支間部のコンクリートを打設した後に、
主桁連結を行うこと。

岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

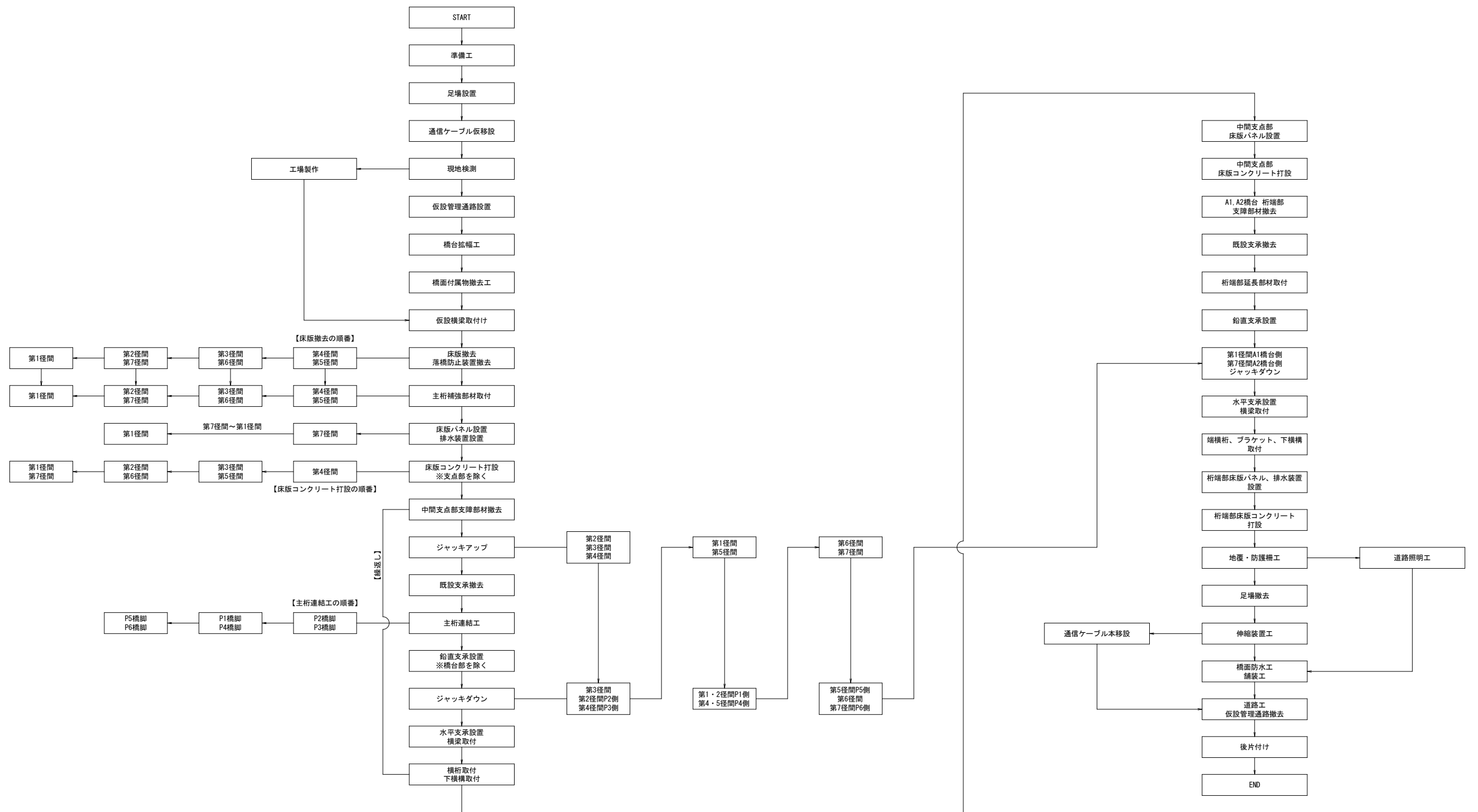
全 179 枚ノ中
其 93

令和 7 年度

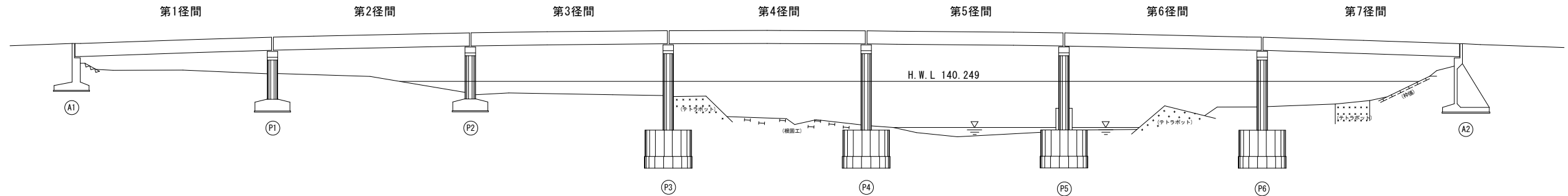
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺 図 示

施工フロー図

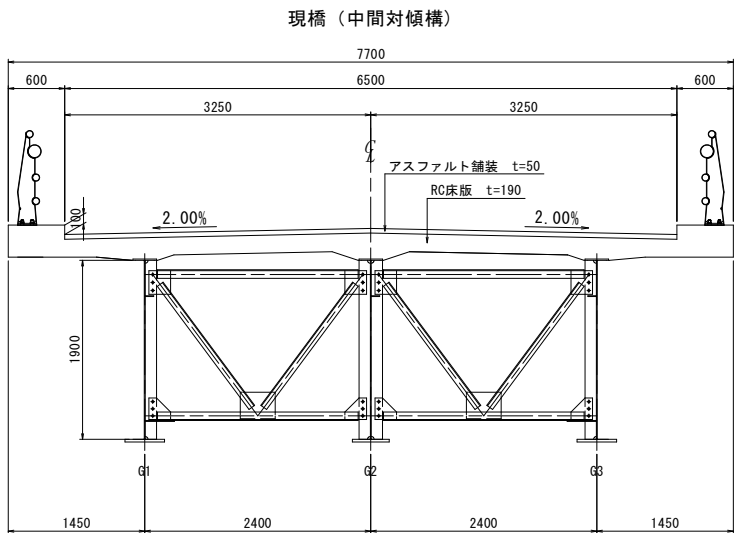


側面図 S=1:400

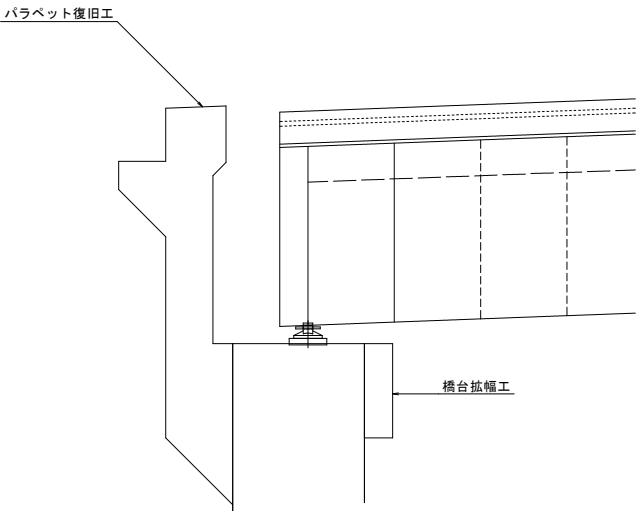


岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 94	施工フロー図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

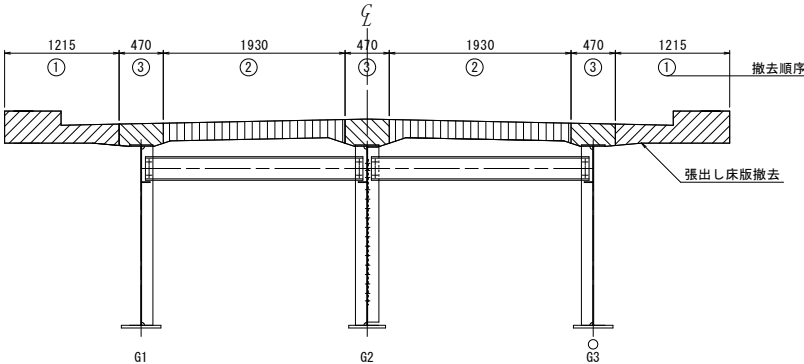
施工程序図 (1/4)



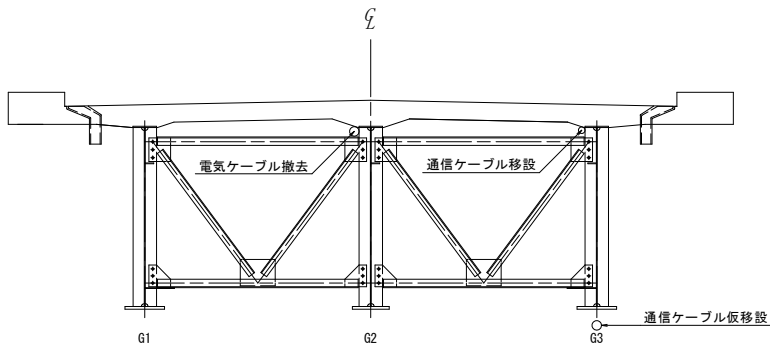
ステップ3
 パラペット復旧工
 橋台拡幅工
 埋戻し



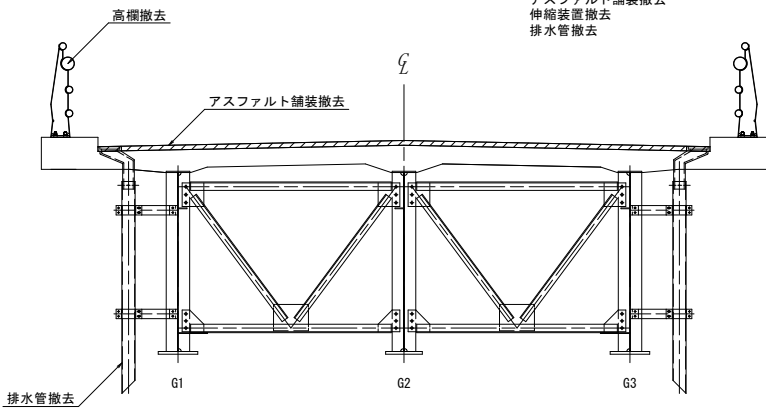
ステップ6
 床版ブロック撤去
 上フランジ処理工



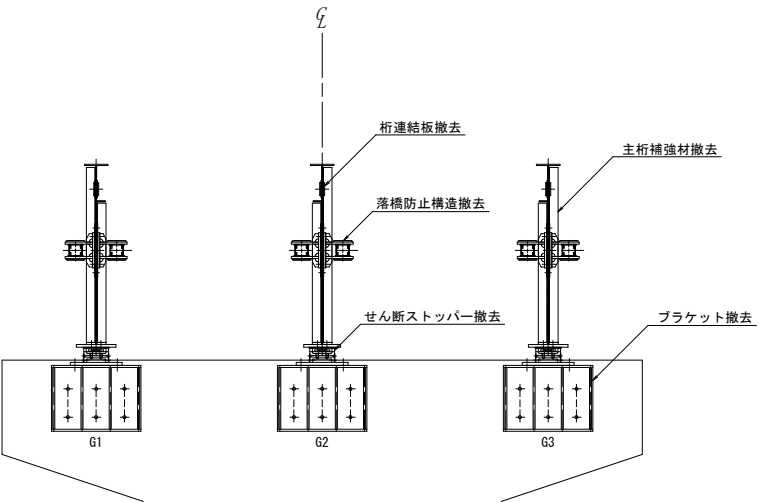
ステップ1
 情報管仮移設
 通信ケーブル仮移設



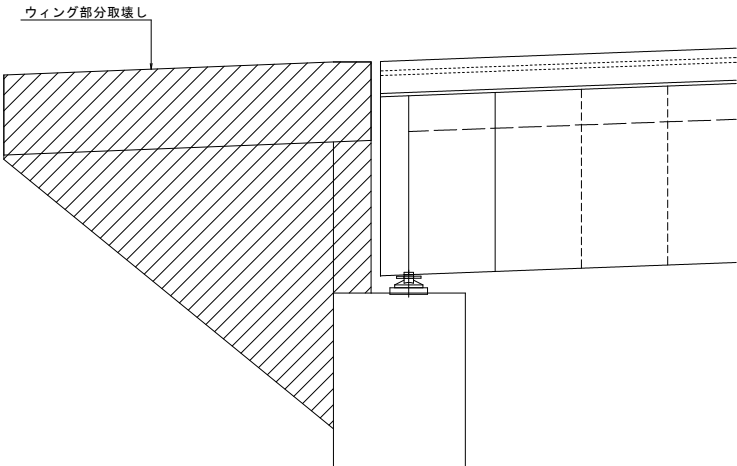
ステップ4
 橋面付属物撤去工



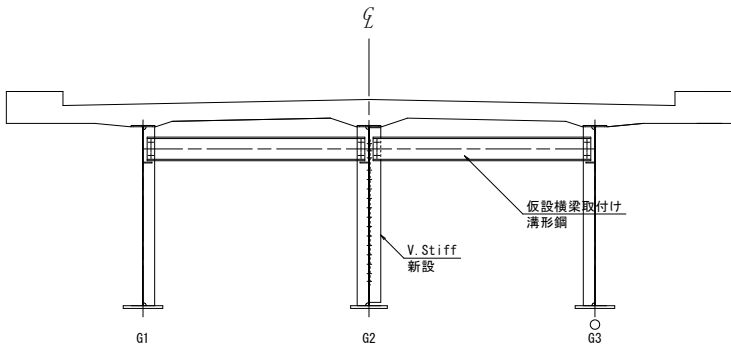
ステップ7
 落橋防止装置撤去



ステップ2
 パラペット背面掘削
 パラペット取壊し
 ウイング部分取壊し



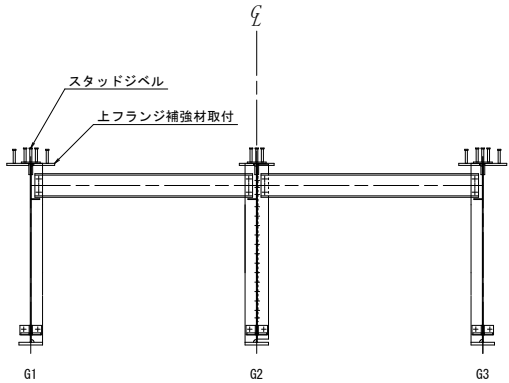
ステップ5
 仮設横梁取付け



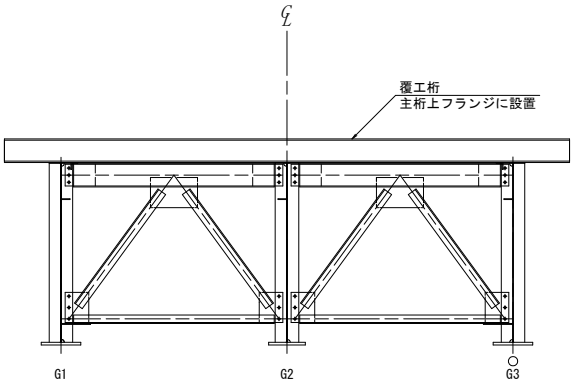
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 95	施工程序図 (1/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

施工ステップ図 (2/4)

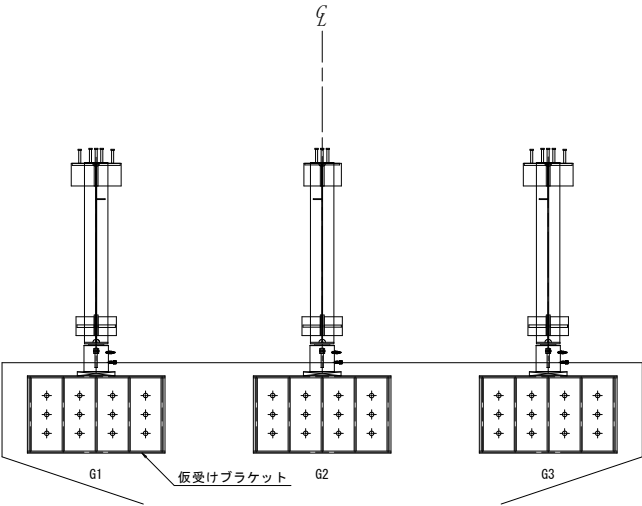
ステップ8
上フランジ補強材取付



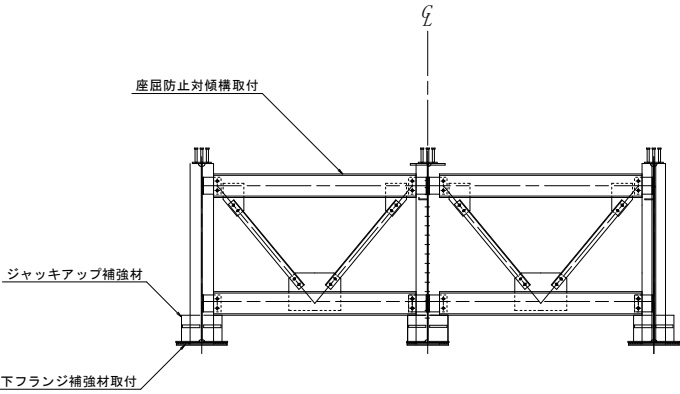
ステップ11
覆工桁取付
(支点部)



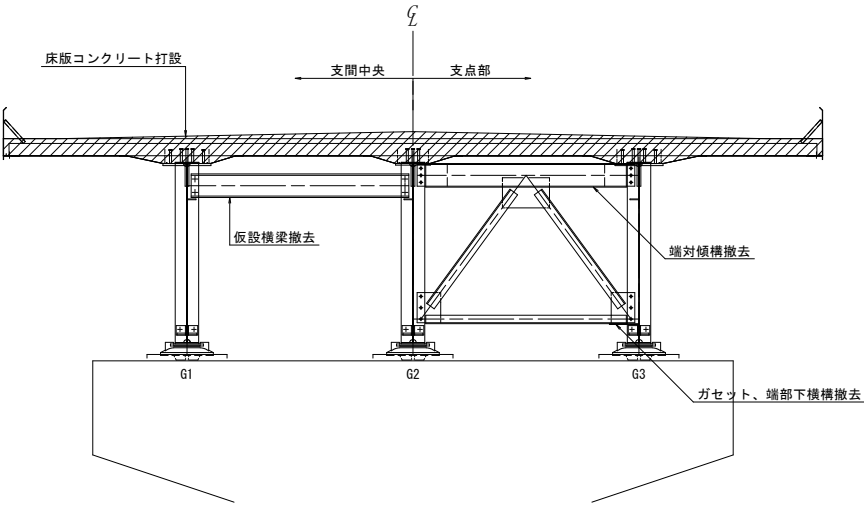
ステップ14
ジャッキアップ



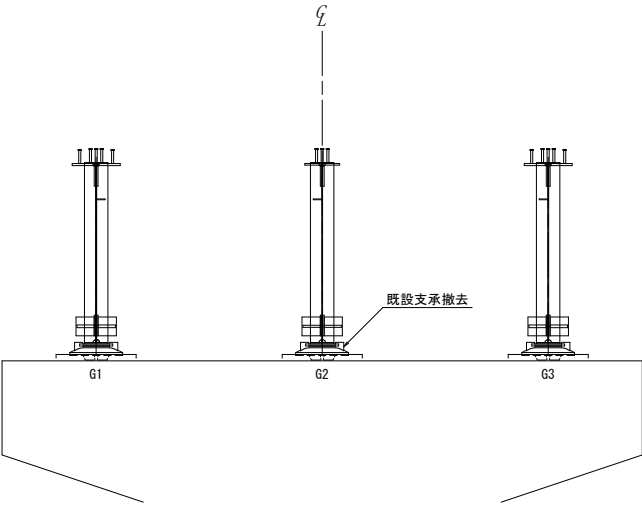
ステップ9
下フランジ補強材取付
支点部中間対傾構取付
ジャッキアップ補強取付



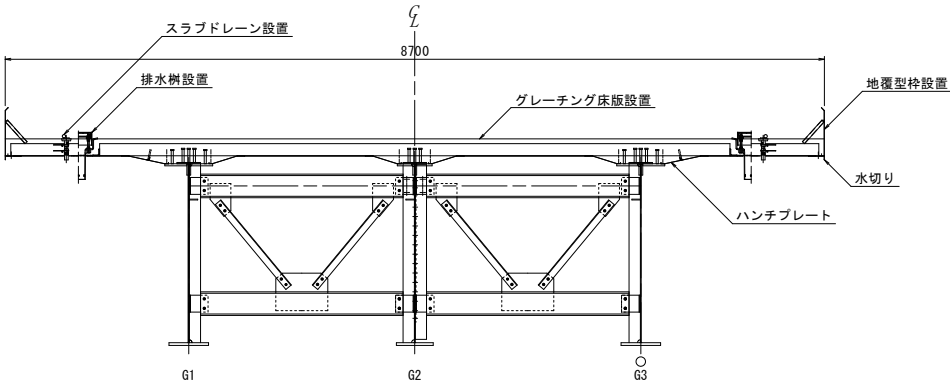
ステップ12
中間支点部支障部材撤去
床版コンクリート打設(※支点部を除く)



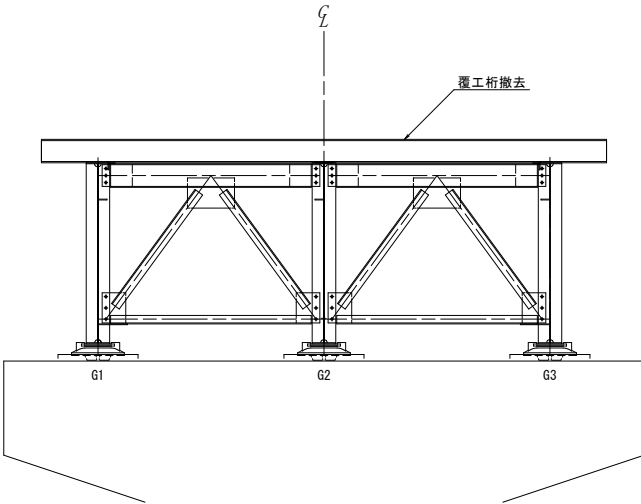
ステップ15
既設支承撤去



ステップ10
床版パネル設置
排水装置設置



ステップ13
覆工桁撤去
(支点部)

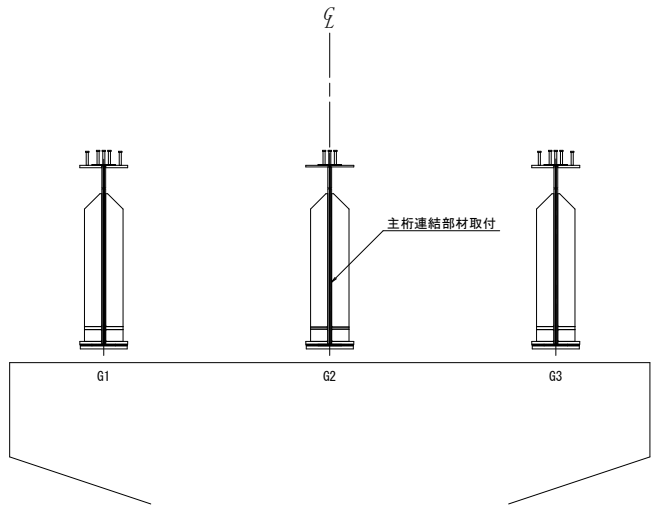


岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 96	施工ステップ図 (2/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

施工程序図 (3/4)

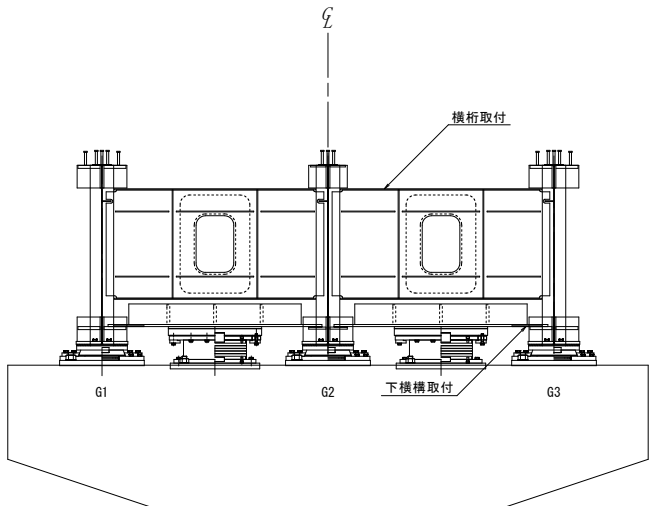
ステップ16

主桁連結工



ステップ19

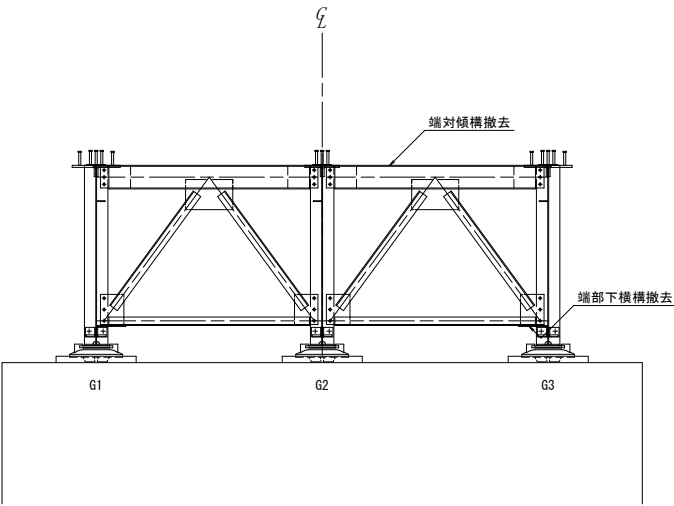
横桁取付
下横構取付



ステップ22

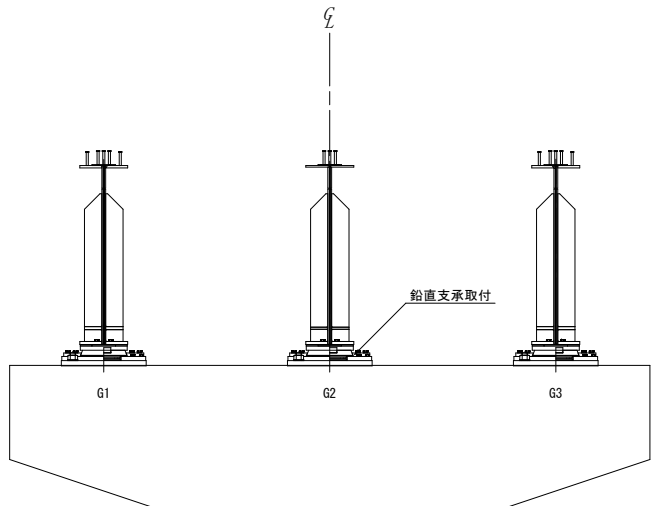
A1, A2橋台 桁端部
支障部材撤去

端対傾構撤去
端部下横構撤去



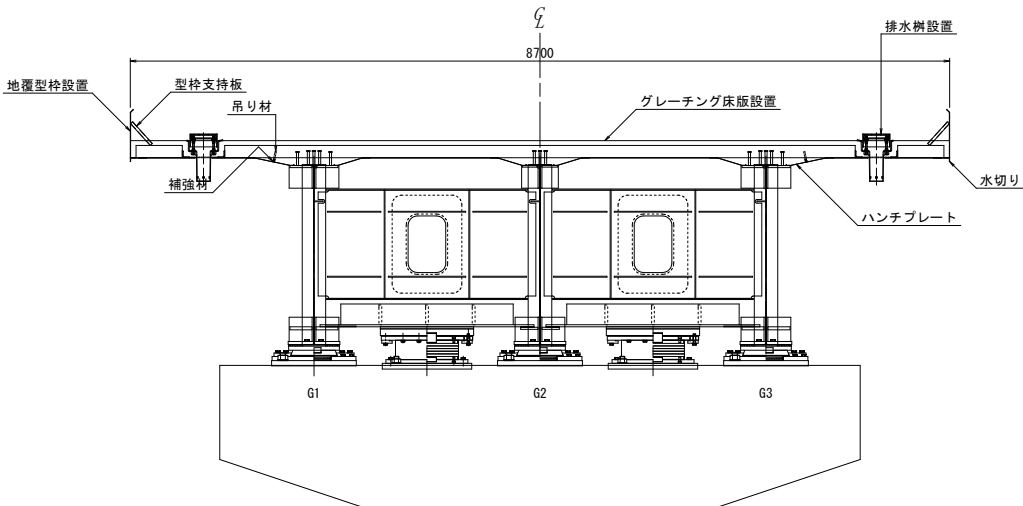
ステップ17

鉛直支承設置
※橋台部を除く



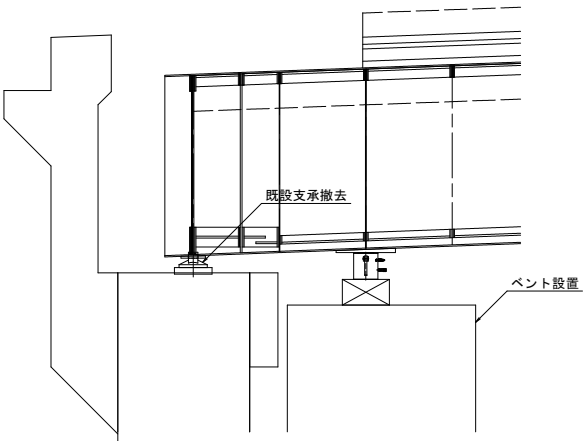
ステップ20

床版パネル設置
排水装置設置
※中間支点部



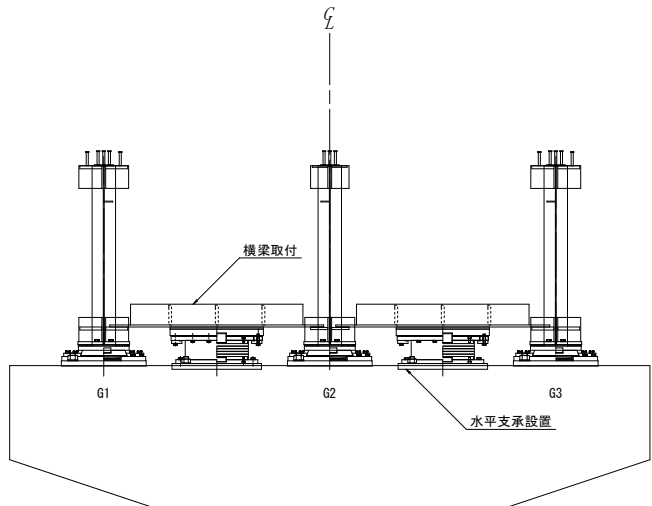
ステップ23

既設支承撤去



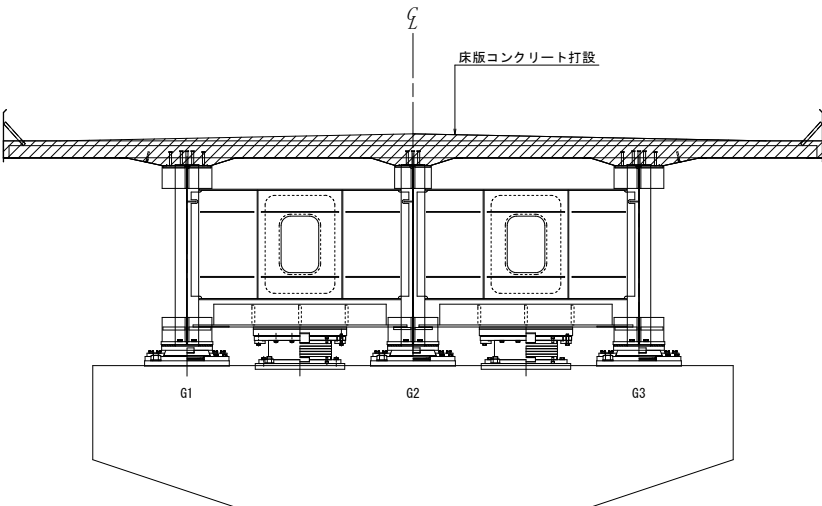
ステップ18

ジャッキダウン
水平支承設置
横梁取付



ステップ21

床版コンクリート打設
※中間支点部



岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 97

施工程序図
(3/4)

令和 7 年度

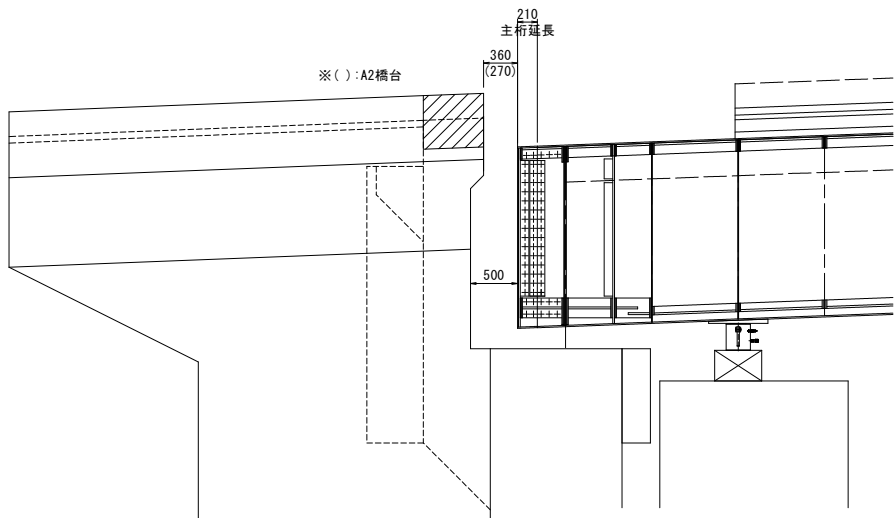
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺

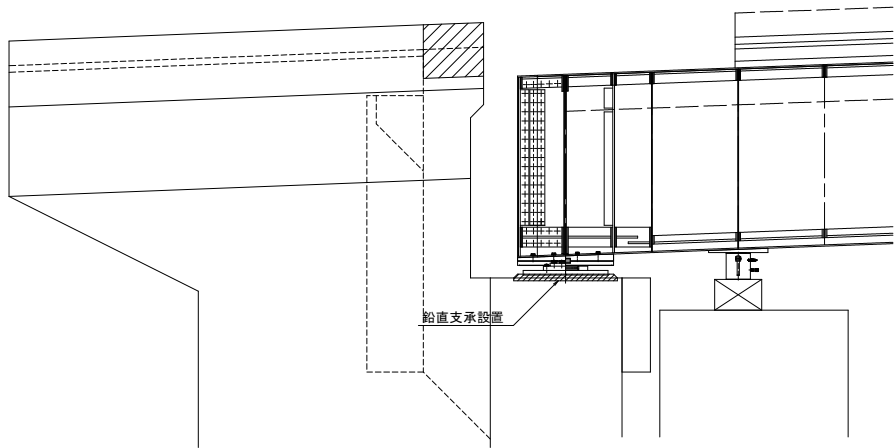
図 示

施工ステップ図 (4/4)

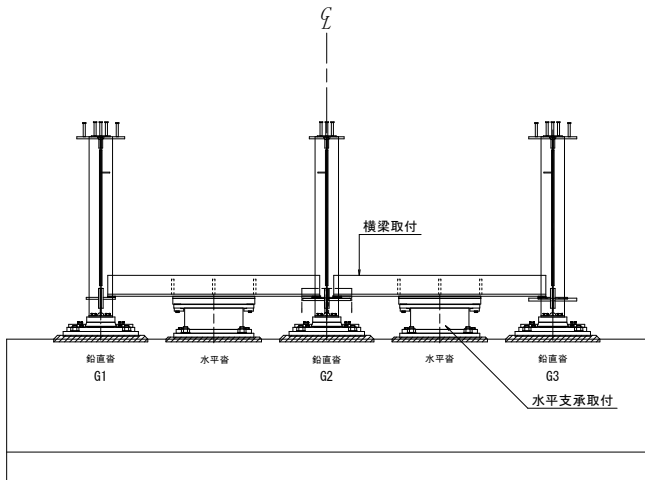
ステップ24
桁端部延長部材取付



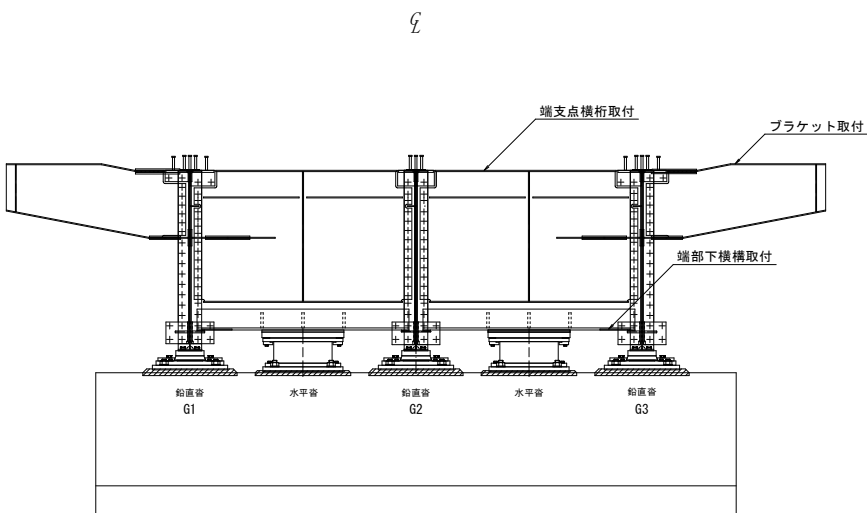
ステップ25
鉛直支承設置
ジャッキダウン
※第1径間・第7径間



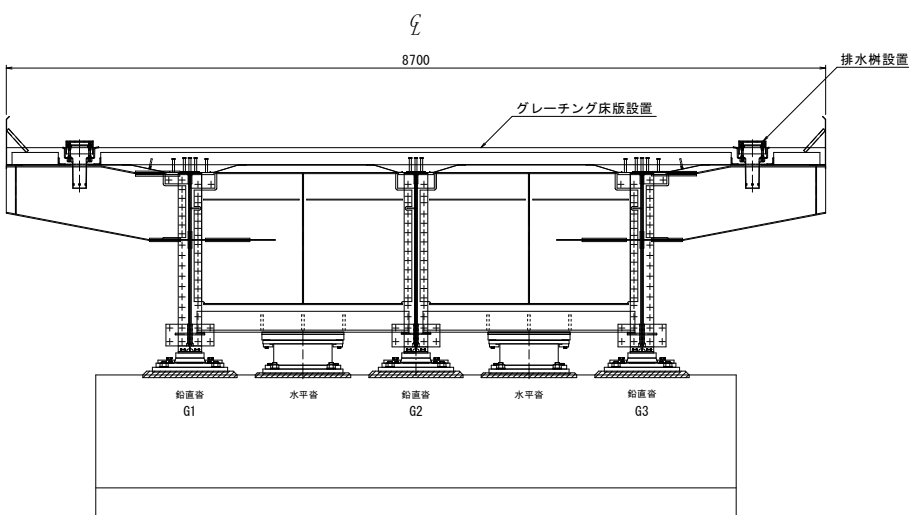
ステップ26
水平支承設置
横梁取付



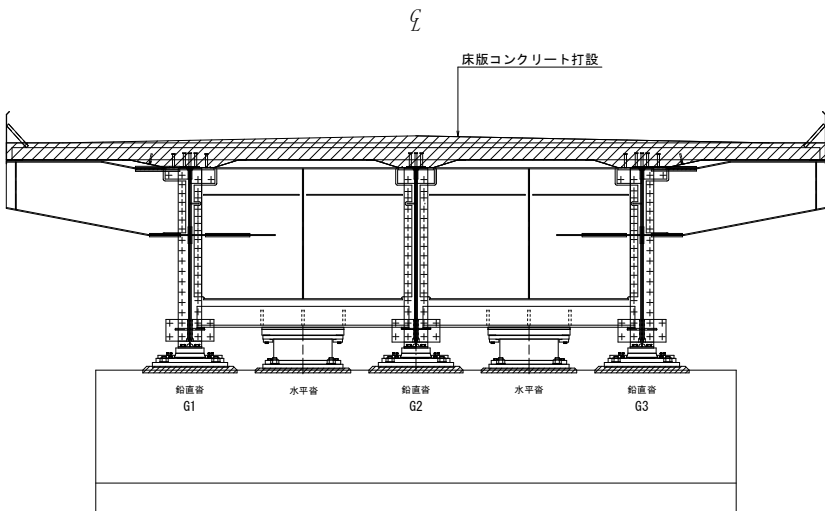
ステップ27
端支点横桁取付
端ブラケット取付
端部下横構取付



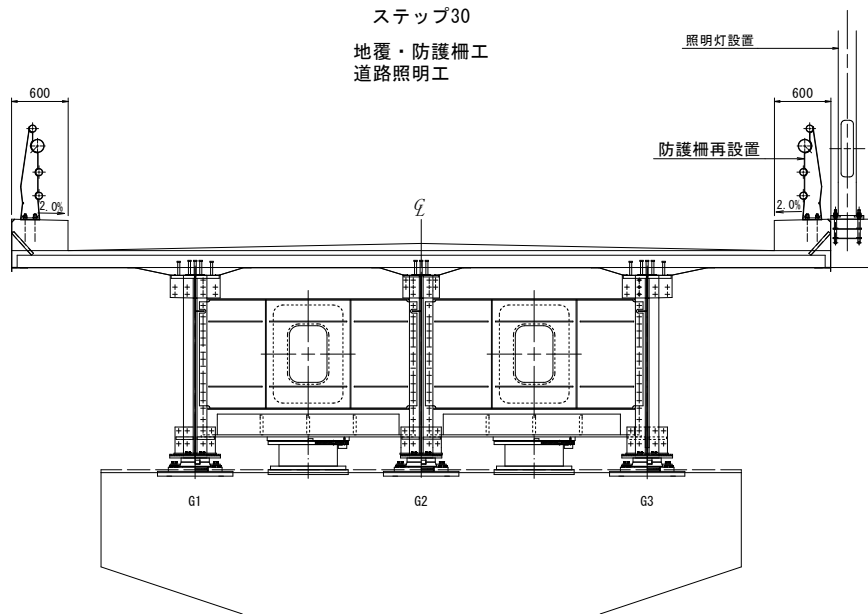
ステップ28
桁端部床版パネル設置
排水装置設置



ステップ29
桁端部床版コンクリート打設



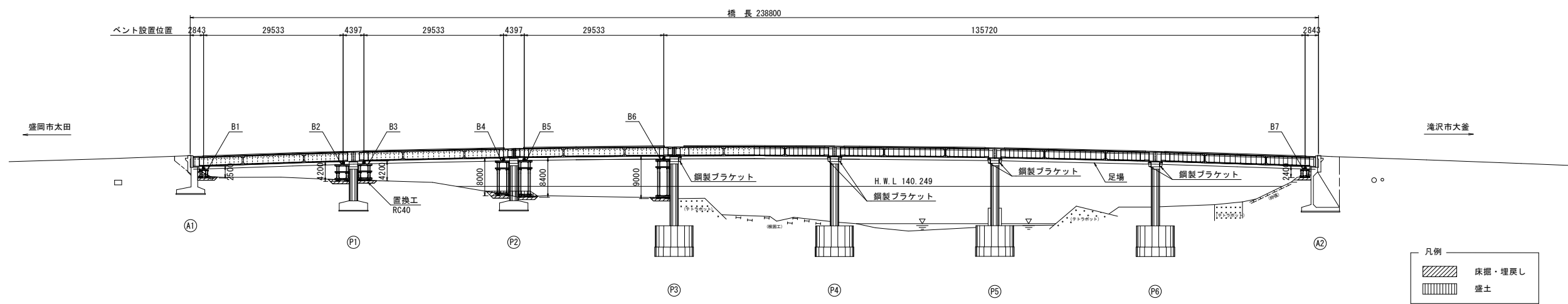
ステップ30
地覆・防護柵工
道路照明工



岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 98	施工ステップ図 (4/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

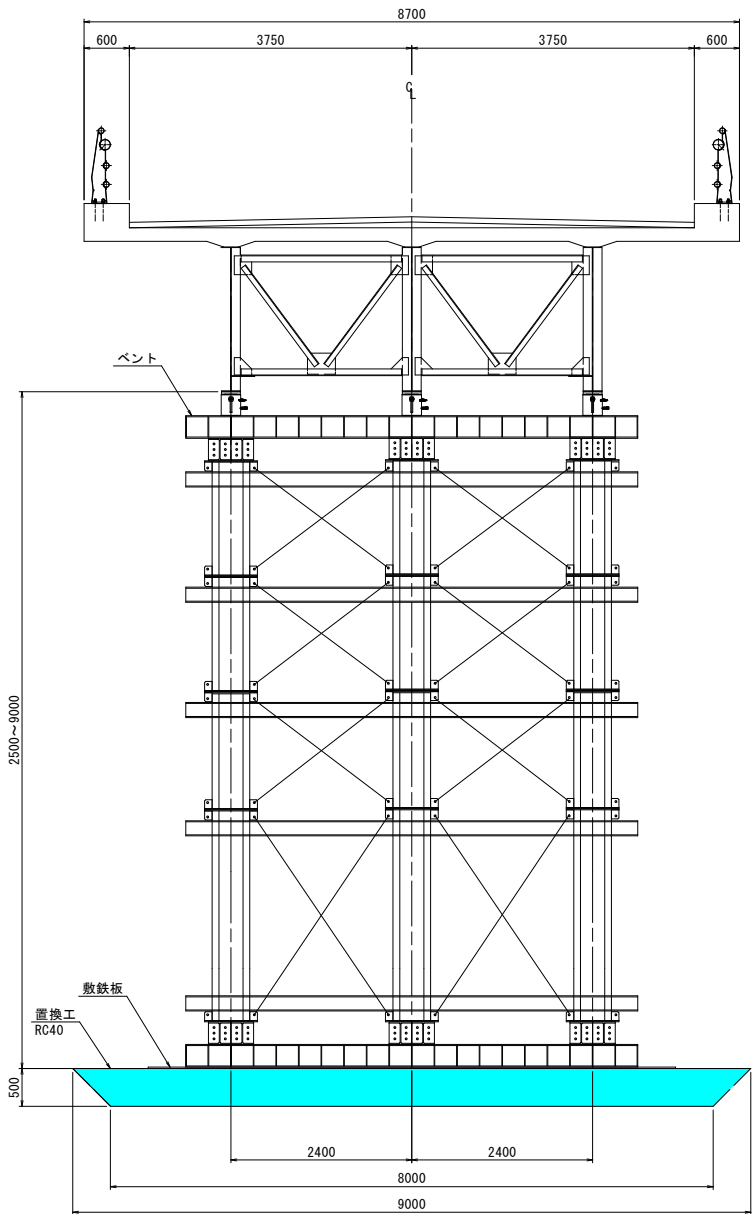
ベント図(参考図)

側面図 S=1:500

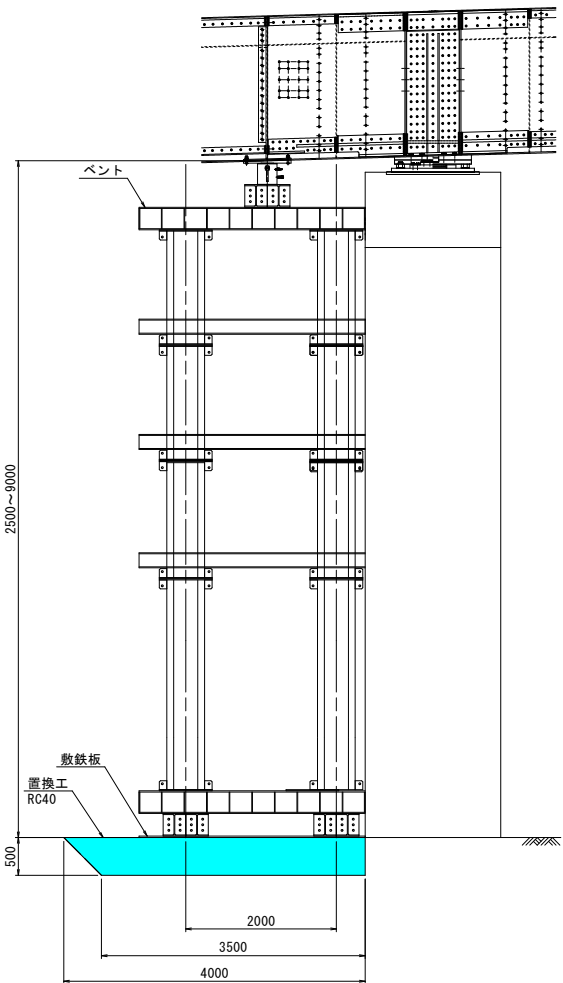


B1, B2, B3, B4, B5, B6

断面図 S=1:50

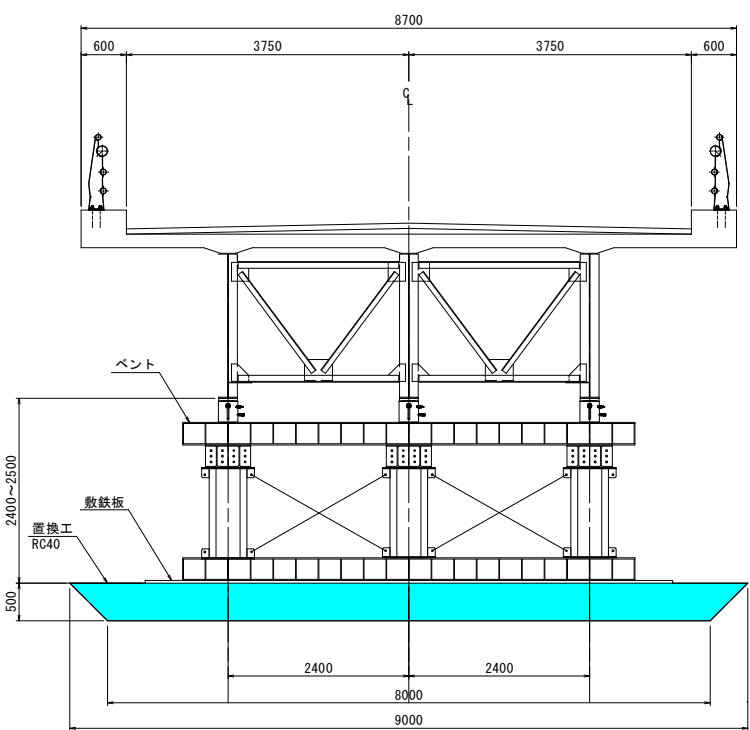


側面図 S=1:50

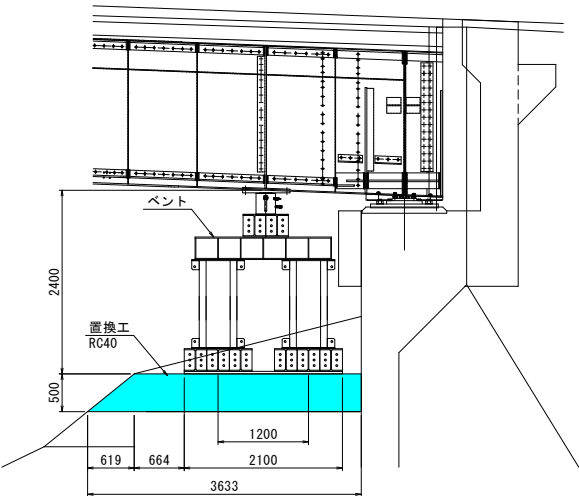


B7

断面図 S=1:50



側面図 S=1:50



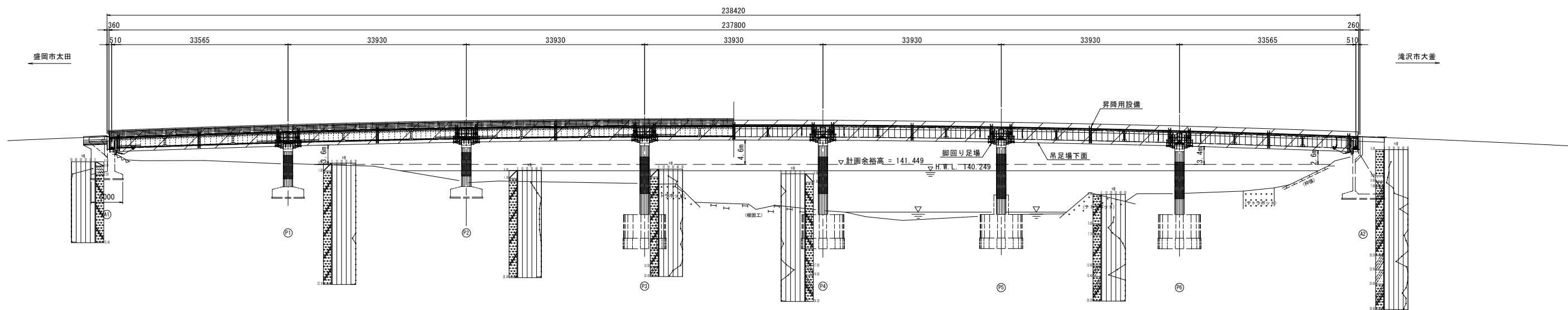
敷鉄板 N=5枚
1524x22x3048

注記)
1. ベント基礎は、現地の地盤強度を確認し、適宜、置換深さを変更すること。

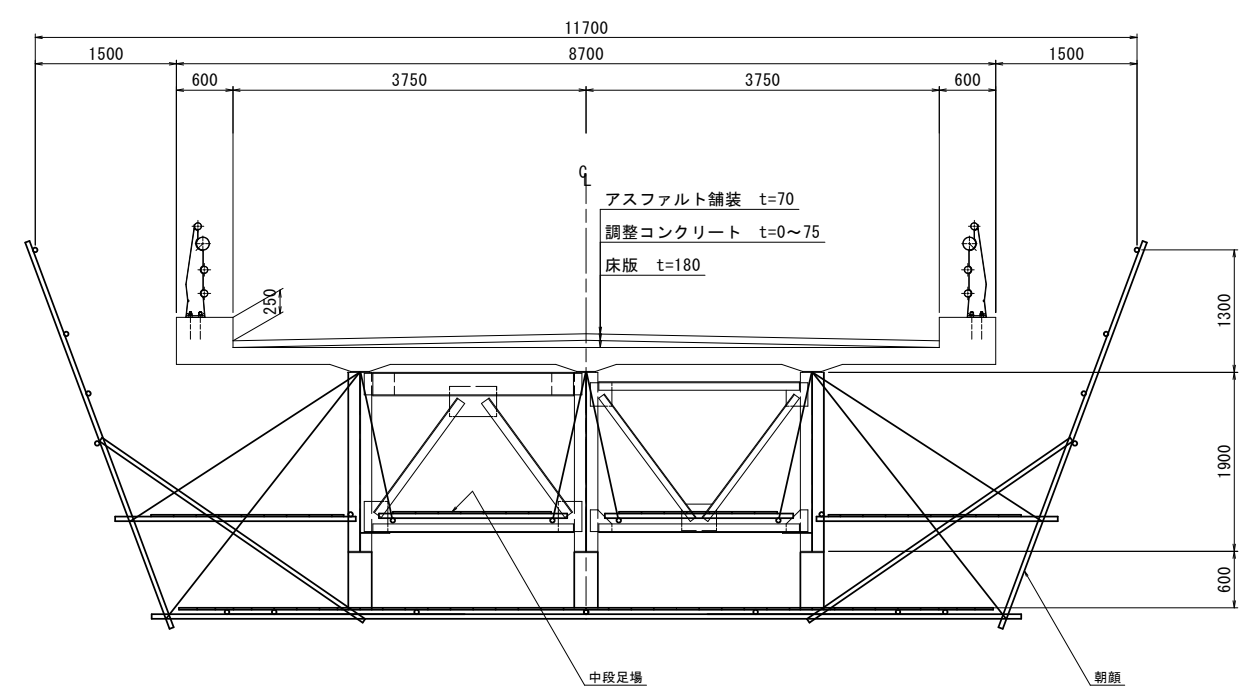
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 99	ベント図(参考図)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

足場工(参考図)

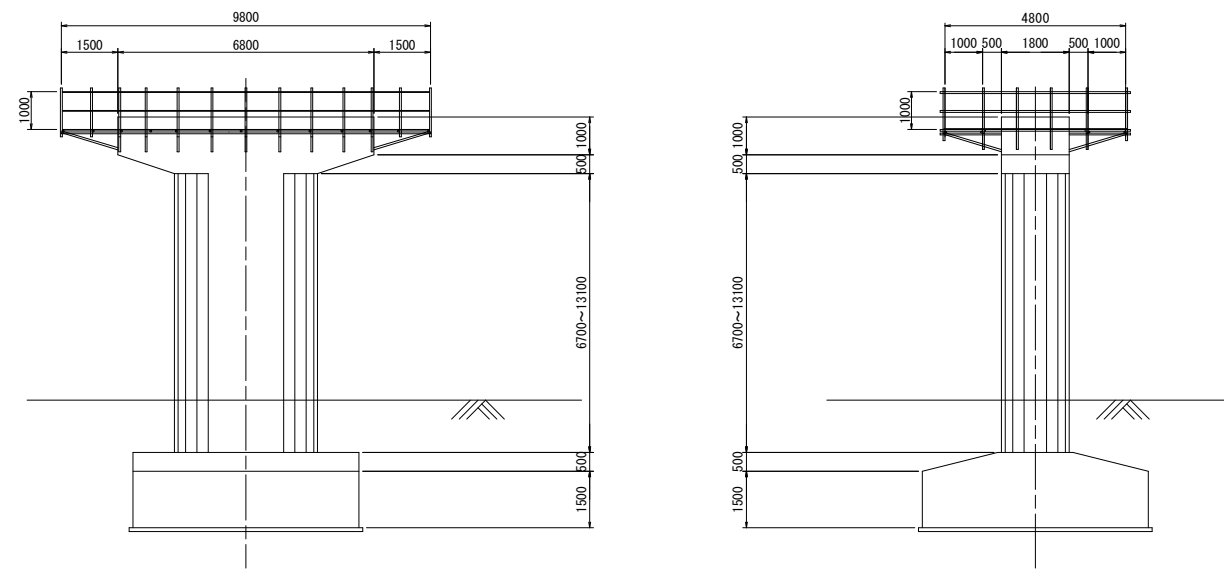
側面図 S=1:400



吊足場断面図 S=1:40



脚回り足場設置図 S=1:100



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 100	足場工(参考図)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

塗装区分図(1/5)

塗装仕様

一般外面の塗装仕様 C-5塗装系

塗装工程		塗料名	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製 鋼 工 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	プライマー	無機ジंकリッチプライマー	(160)	(15)	6ヶ月以内
橋 梁 製 作 工 場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	600	75	2日～10日
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160	－	1日～10日
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1日～10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日～10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日～10日

注)1：使用量はスプレーの場合を示す。
注)2：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注)3：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

一般外面の塗装仕様 C-5塗装系 増塗り部

塗装工程		塗料名	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製 鋼 工 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	プライマー	無機ジंकリッチプライマー	(160)	(15)	6ヶ月以内
橋 梁 製 作 工 場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	600	75	2日～10日
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160	－	1日～10日
	増塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1日～10日
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1日～10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日～10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日～10日

注)1：使用量はスプレーの場合を示す。
注)2：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注)3：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

高力ボルト連結部の塗装仕様 F-11（一般部塗装系C-5）

塗装工程		塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製 鋼 工 場	1次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	プライマー	無機ジंकリッチプライマー	スプレー	160	(15)	6ヶ月以内
製 工 場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	スプレー	600	75	1年以内
現 場	素地調整	動力工具処理 ISO St 3				4時間以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	160 (130)	－	1日～10日
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー (はけ・ローラー)	1100 (500x2)	300	1日～10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー)	170 (140)	30	1日～10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー (はけ・ローラー)	140 (120)	25	1日～10日

注)1：塗料使用量：スプレーとし、（＊＊＊）ははけ・ローラ塗りの場合を示す。
注)2：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注)3：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。
注)4：母材と添接板の接触面は、製作工場の無機ジंकリッチペイントまで塗布する。
注)5：超厚膜形エポキシ樹脂塗料を適用することで防食性の向上と工程短縮を図ることが出来るが、一般面と比べて仕上がり外観は劣る
注)6：防せい処理ボルトの場合は、添接板も含め高力ボルト頭部にミストコートから塗装する。
注)7：防せい処理ボルトを使用しない場合は、高力ボルト頭部に素地調整後、有機ジंकリッチペイント 240g/m2 x 2回（はけ塗り、塗装間隔は1日～10日）を塗布した後、添接板も含め、ミストコートから塗装する。

溶接部の塗装仕様 F-13（一般部塗装系C-5）

塗装工程		塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
現 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	防食下地	有機ジंकリッチペイント	スプレー (はけ・ローラー)	600 (300x2)	75	1日～10日
	下塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日～10日
	下塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日～10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー)	170 (140)	30	1日～10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー (はけ・ローラー)	140 (120)	25	1日～10日

注)1：塗料使用量：スプレーとし、（＊＊＊）ははけ・ローラ塗りの場合を示す。

高力ボルト接触面 仮設横梁（撤去部材）J

塗装工程		塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製 鋼 工 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	プライマー	無機ジंकリッチプライマー	スプレー	160	(15)	6ヶ月以内
製 工 場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	スプレー	600	75	4時間以内

注)1：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注)2：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

新設コンクリート接触面 E

塗装工程		塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製 鋼 工 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	プライマー	無機ジंकリッチプライマー	スプレー	160	(15)	6ヶ月以内
製 工 場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	スプレー	300	30	4時間以内

注)1：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注)2：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。
注)3：数量は、無機ジंकリッチペイントの膜厚を75μmとして計上する。

既設コンクリート接触面 E’

塗装工程		塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
現 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4時間以内
	防食下地	有機ジंकリッチペイント	スプレー	600	60	4時間以内

Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下地	有機ジंकリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

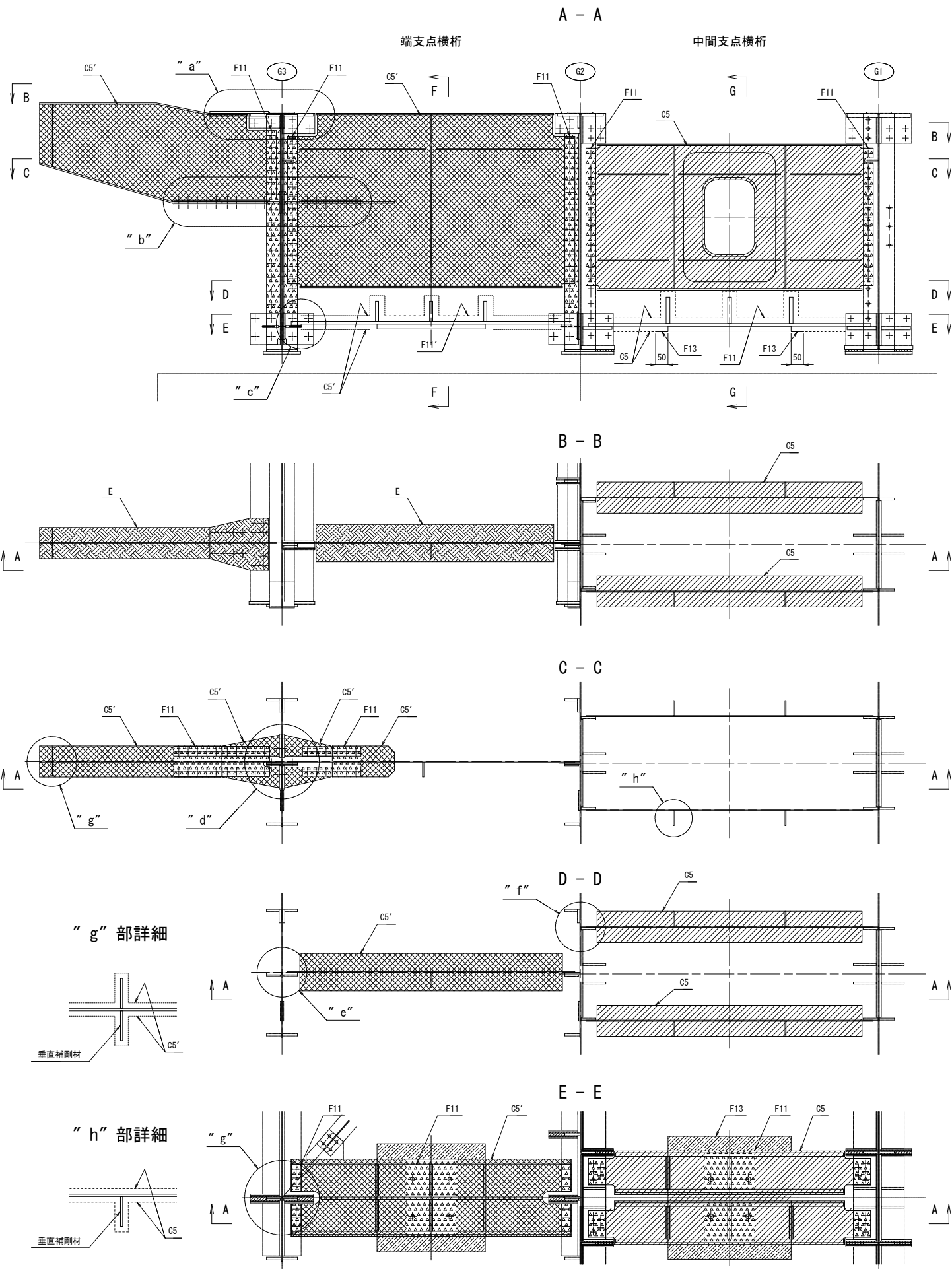
注)1：層状剝離さびの除去にあたっては、素地調整程度1種の前にハンマーや動力工具によるさび落としを事前に行うこと。
注)2：素地調整後には、付着塩分量が50mg/m2以下となっていること確認し、50mg/m2以下となっていない場合には、水洗いなどによって塩分除去を行うこと。

岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 101	塗装区分図(1/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

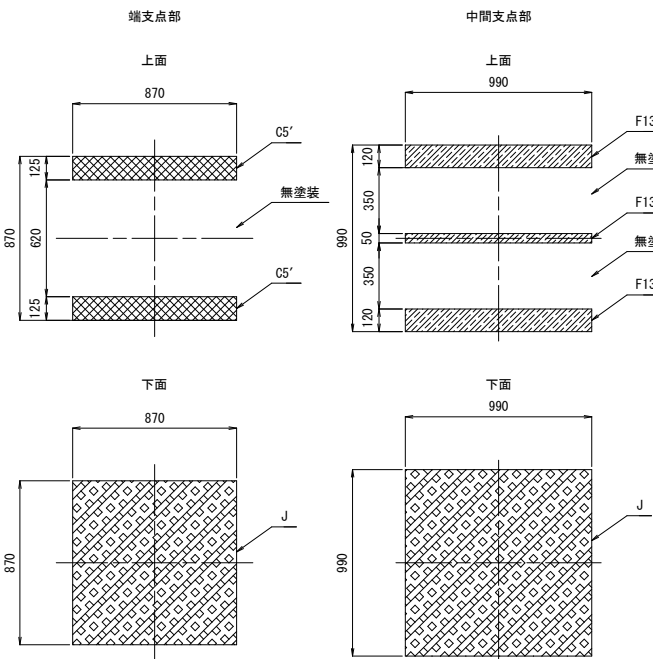
塗装区分図 (3/5)

S:1:20

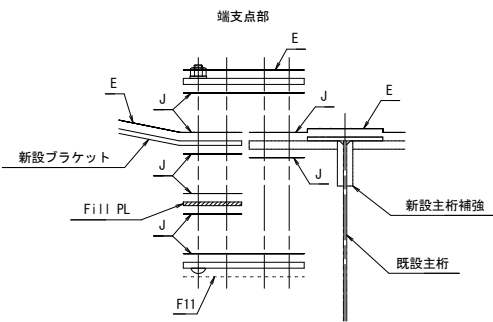
横桁



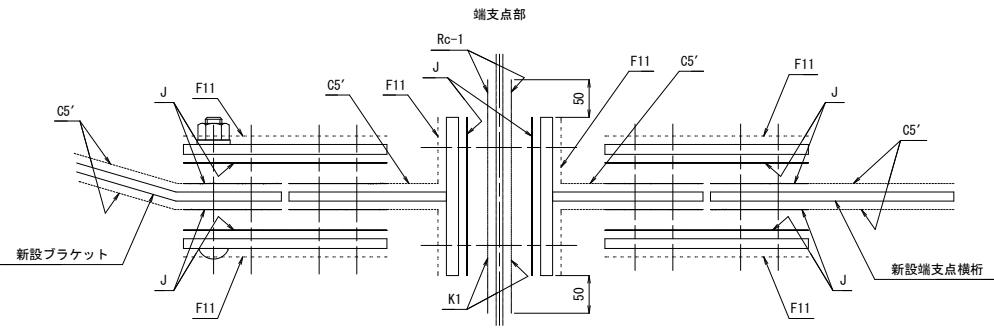
ソールプレート塗装詳細



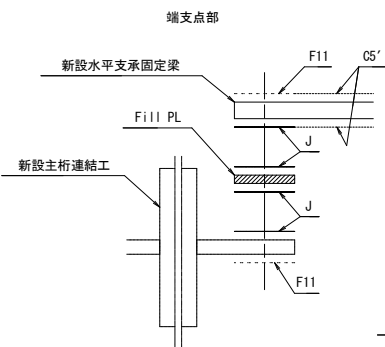
"a"部詳細



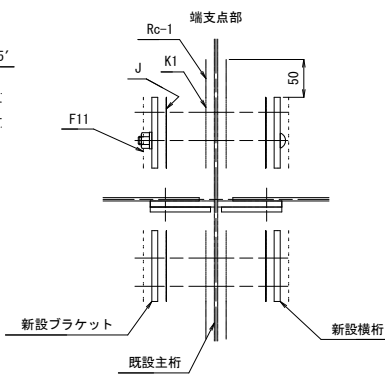
"b"部詳細



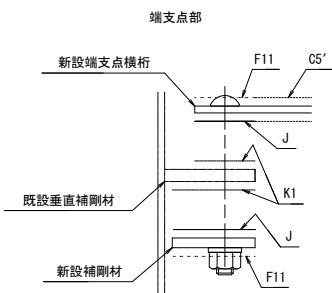
"c"部詳細



"d"部詳細

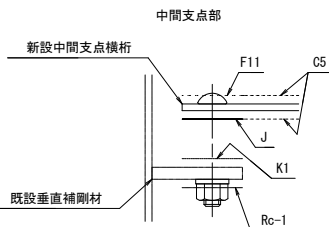


"e"部詳細



- 注記)
1. 図中に示す諸数値は全て参考値である。施工前には必ず現地計測を行い、計測結果に基づき監督員と協議の上、数値を決定すること。
 2. 既設桁の塗膜剥離は温湿化して行うこと。
 3. 高力ボルトは防錆処理ボルトを使用のこと。
 4. 素地調整は、プリストルプスター等のI種ケン相当とすること。

"f"部詳細



凡例

- 塗替塗装(外面)〈現場〉
1種ケン
- 新設塗装(外面)〈工場〉
新設塗装(外面・増塗)〈工場〉
新設塗装(外面・添接部)〈工場・現場〉
新設塗装(外面・溶接部)〈現場〉
ボルト接合部(接触面)・撤去部材〈工場〉
新設コンクリート接触面〈工場〉
既設コンクリート接触面〈現場〉
無塗装

- Rc-1 :
- K1 :
- C5 :
- C5' :
- F11 :
- F13 :
- J :
- E :
- E' :

岩手県県土整備部

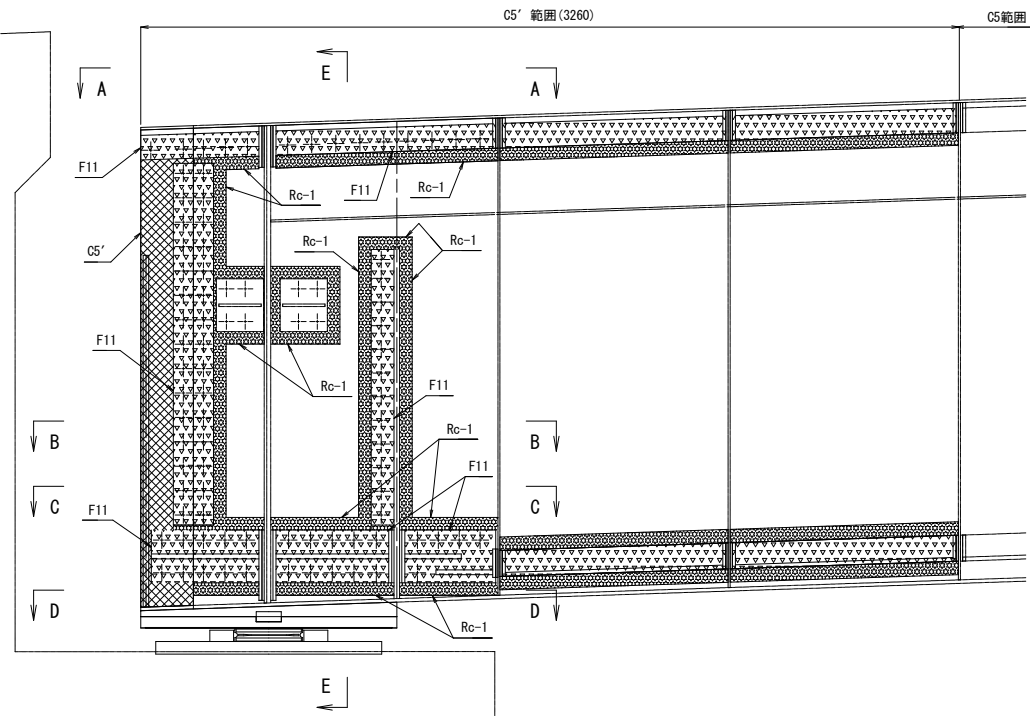
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜の森地内
全 179 枚ノ中 其 103	塗装区分図 (3/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

塗装区分図 (4/5)

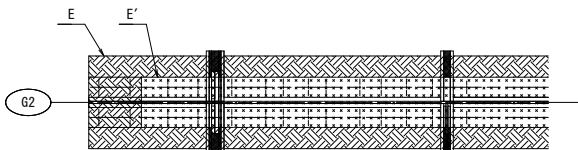
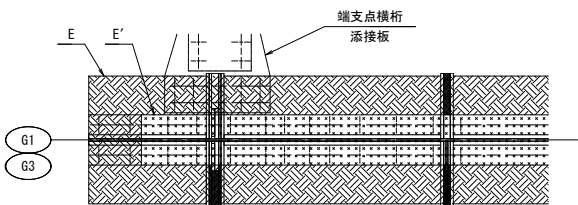
S=1:15

桁延長、ジャッキアップ補剛材

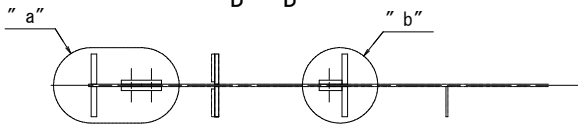
桁延長



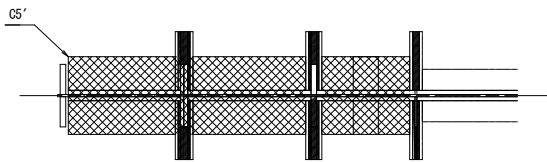
A - A



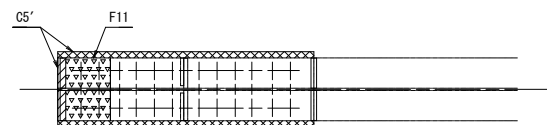
B - B



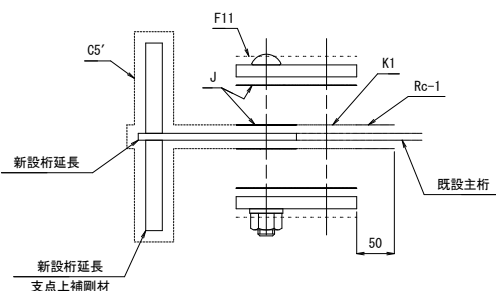
C - C



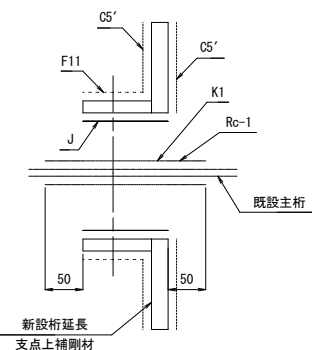
D - D



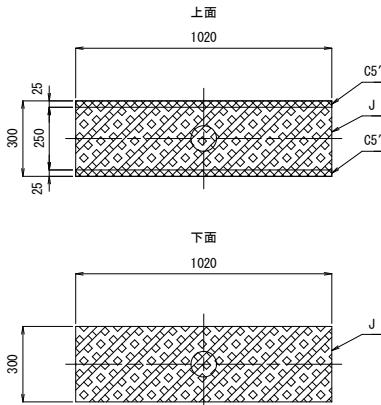
"a" 部詳細



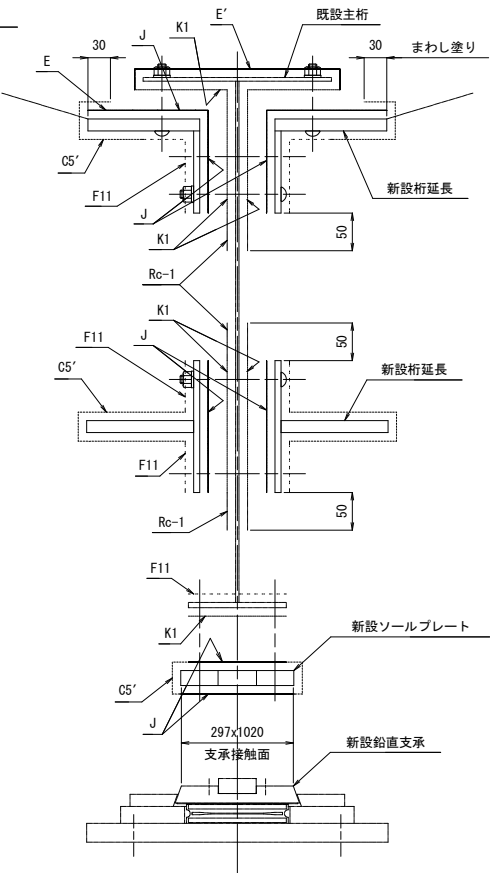
"b" 部詳細



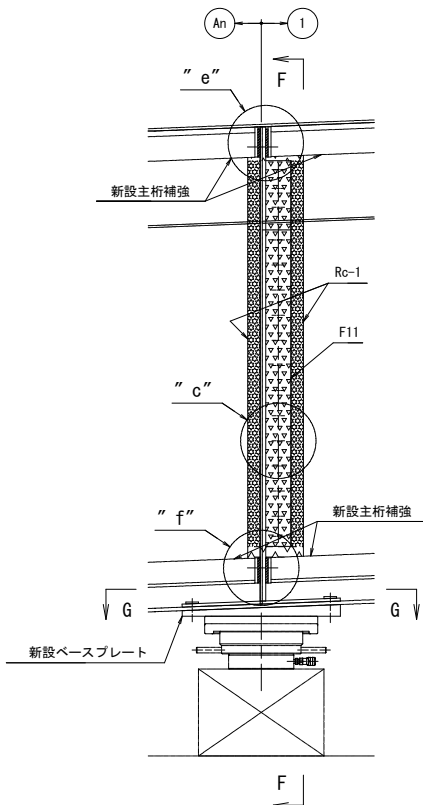
ソールプレート塗装詳細



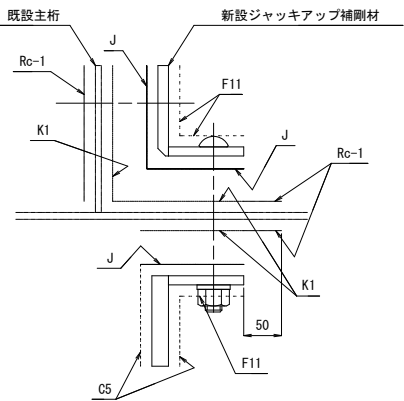
E - E



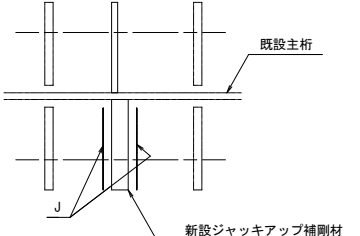
ジャッキアップ補剛材



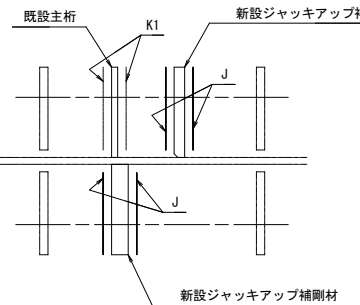
"c" 部詳細



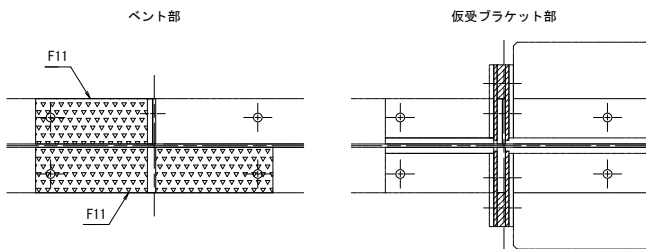
"e" 部詳細



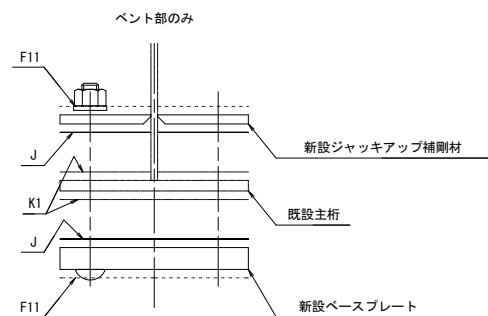
"f" 部詳細



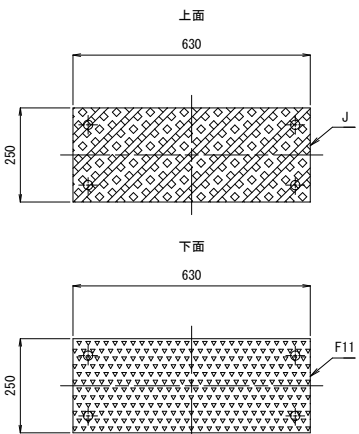
G - G



"d" 部詳細



ベースプレート詳細



- 注記)
1. 図中に示す諸数値は全て参考値である。施工前には必ず現地計測を行い、計測結果に基づき監督員と協議の上、数値を決定すること。
 2. 既設桁の塗膜剥離は湿潤化して行うこと。
 3. 高力ボルトは防錆処理ボルトを使用のこと。
 4. 素地調整は、プリストルプスター等のI種ケレン相当とすること。

凡例

塗替塗装 (外面) <現場>
1種ケレン

新設塗装 (外面) <工場>
新設塗装 (外面・増塗) <工場>
新設塗装 (外面・添接部) <工場・現場>
新設塗装 (外面・溶接部) <現場>
ボルト接合部 (接触面)・撤去部材 <工場>
新設コンクリート接触面 <工場>
既設コンクリート接触面 <現場>
無塗装

Rc-1 :
K1 :
C5 :
C5' :
F11 :
F13 :
J :
E :
E' :
 :

岩手県県土整備部

主要地方道 盛岡環状線
盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 104

令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

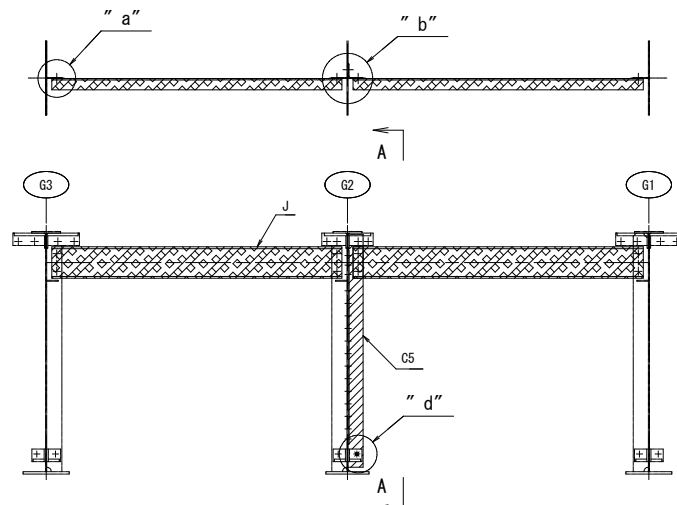
縮 尺 図 示

塗装区分図 (5/5)

S=1:30

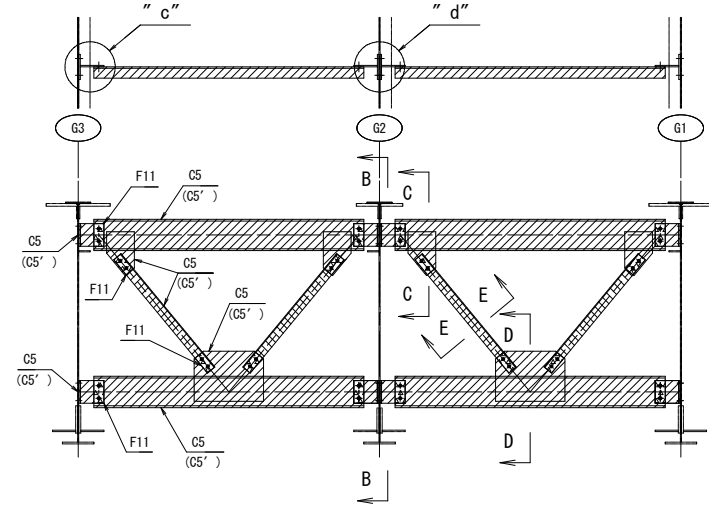
仮設横梁、支点部中間対傾構、下横構

仮設横梁

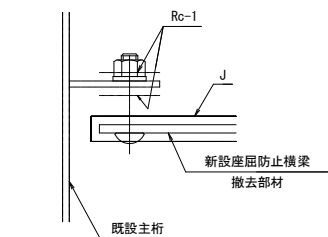


支点部中間対傾構

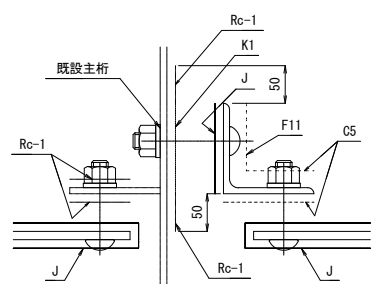
中間部(端部)



"a" 部詳細

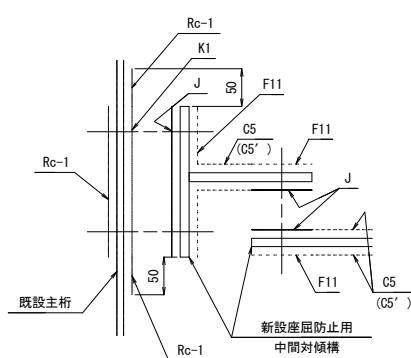


"b" 部詳細



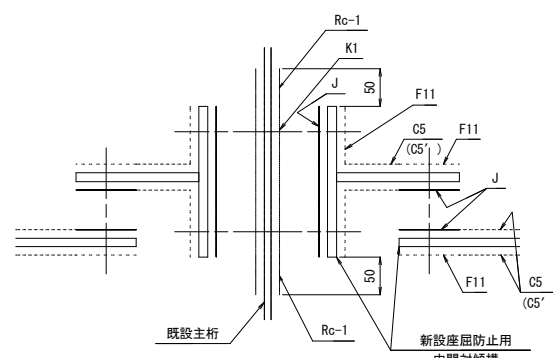
"c" 部詳細

中間部(端部)

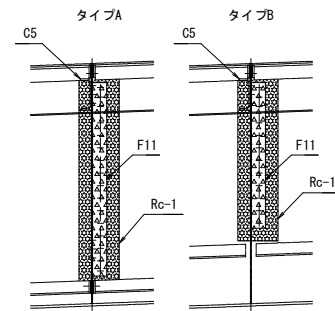


"d" 部詳細

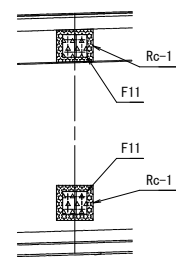
中間部(端部)



A - A

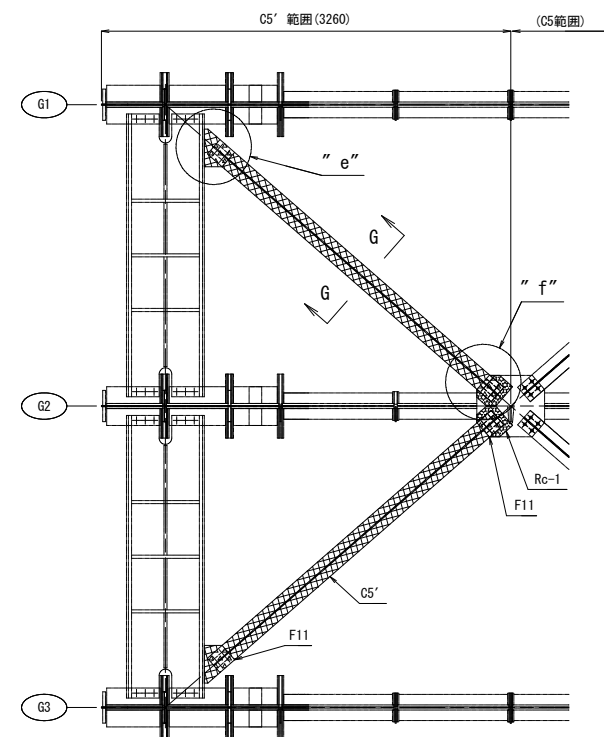


B - B



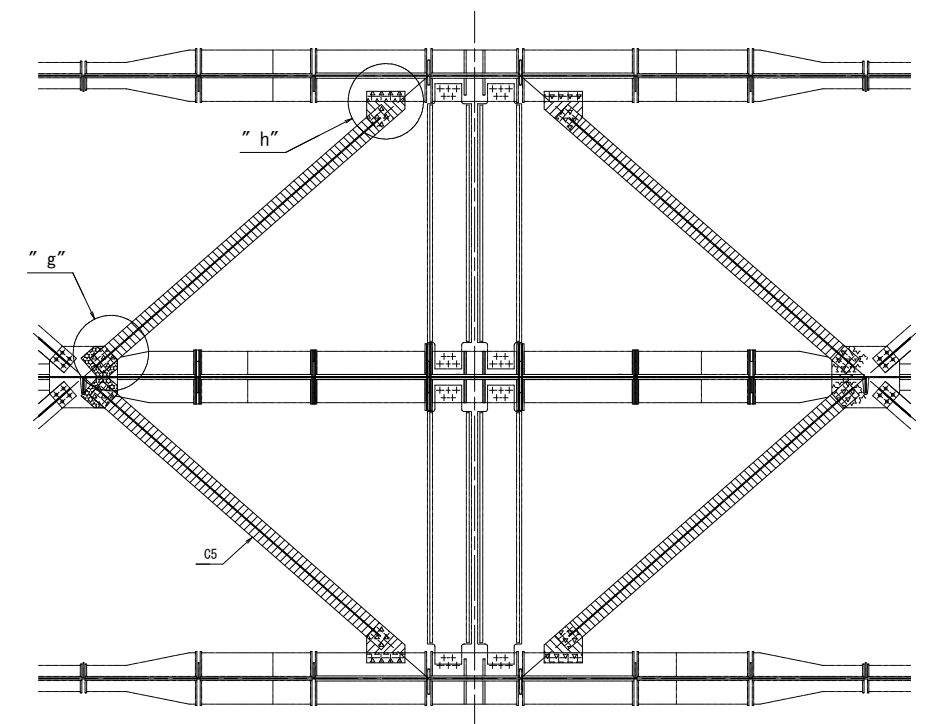
下横構

A1・A2橋台

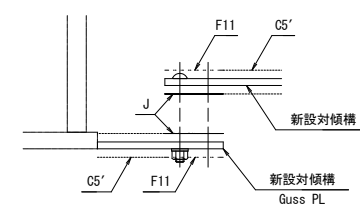


下横構

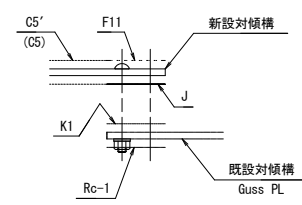
P1～P6橋脚



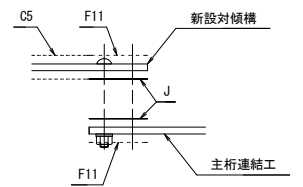
"e" 部詳細



"f" 部詳細("g" 部詳細)

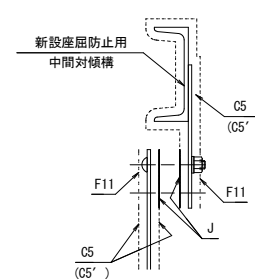


"h" 部詳細



C - C, D - D

中間部(端部)



注記)

1. 図中に示す諸数値は全て参考値である。施工前には必ず現地計測を行い、計測結果に基づき監督員と協議の上、数値を決定すること。
2. 既設桁の塗膜剥離は湿潤化して行うこと。
3. 高力ボルトは防錆処理ボルトを使用すること。
4. 素地調整は、プリストルプスター等のI種ケレン相当とすること。

凡例

塗替塗装(外面)〈現場〉
1種ケレン

新設塗装(外面)〈工場〉
新設塗装(外面・増塗)〈工場〉
新設塗装(外面・添接部)〈工場・現場〉
新設塗装(外面・溶接部)〈現場〉
ボルト接合部(接触面)・撤去部材〈工場〉
新設コンクリート接触面〈工場〉
既設コンクリート接触面〈現場〉
無塗装

Rc-1 : 
K1 : 
C5 : 
C5' : 
F11 : 
F13 : 
J : 
E : 
E' : 
 : 

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 105	塗装区分図 (5/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台

S=1:20



S=1 : 20



S=1:10



S=1 : 10



S=1:10



S=1:10



S=1 : 10

記号	
----	--

[illegible]

S=1 : 10



—



1. 施工において図面相当品とする。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ()内寸法は、勾配なり寸法を示す。
4. 後打ちコンクリートの強度は24N/mm 以上とすること。

岩手県県土整備部

主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
----------------	--------------------------

枚ノ中	伸縮性墨図 (1/2)
-----	-------------

具 106	件 106
-------	-------

令和 7 年度

主要地方道盛岡環狀線滝太橋橋梁補修工事

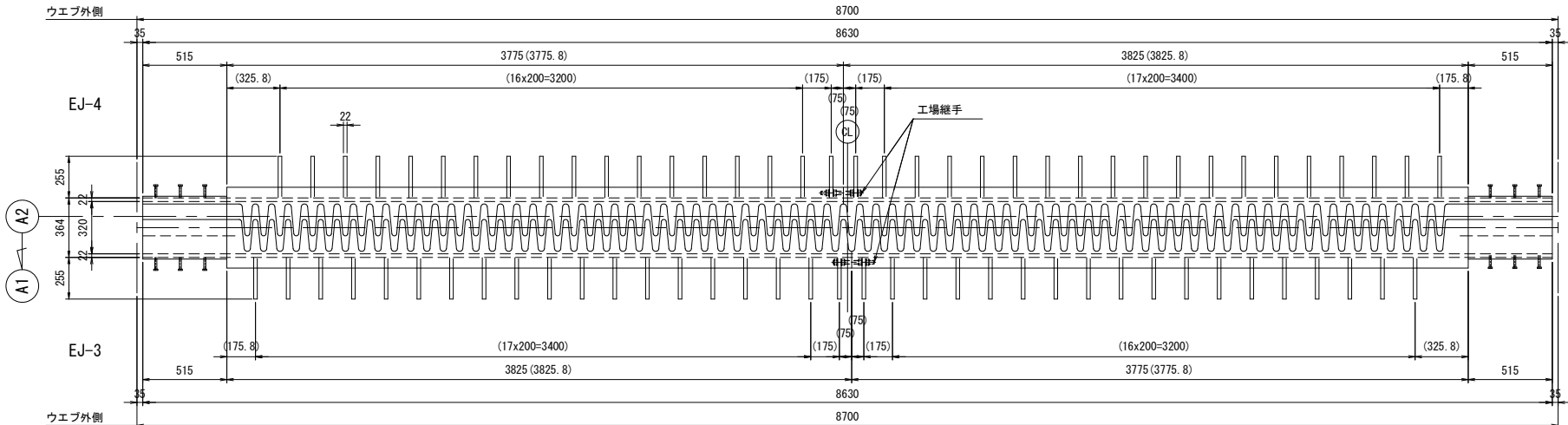
☐ 德	☐ 日
---	---

湘	八	因	小
---	---	---	---

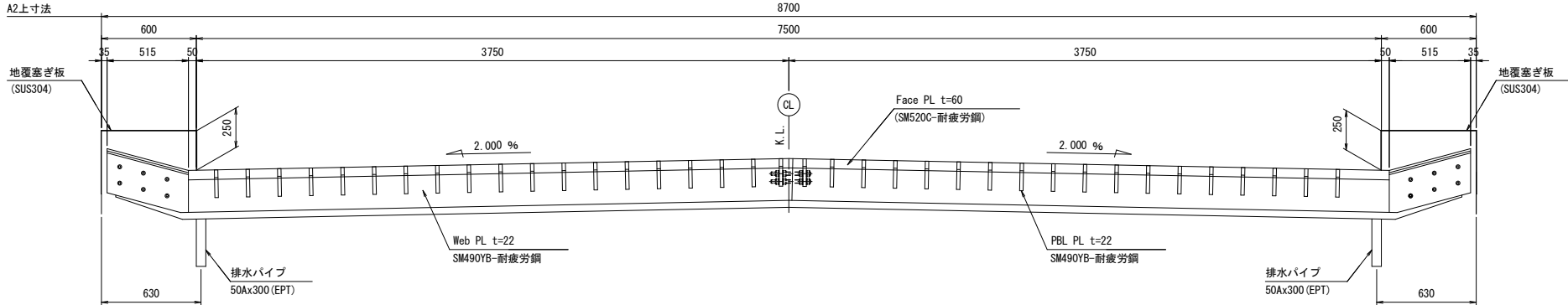
伸縮装置図 (2/2)

A2橋台

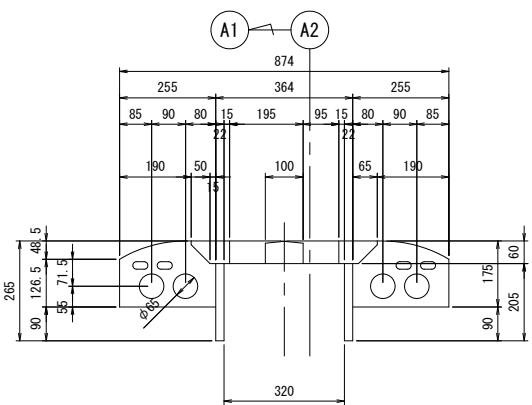
平面図 S=1:20



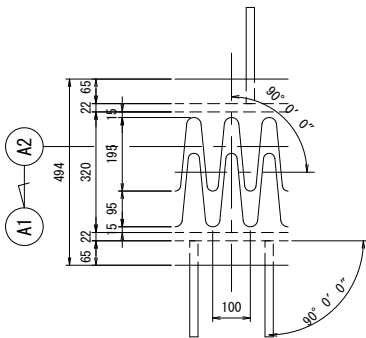
断面図 S=1:20



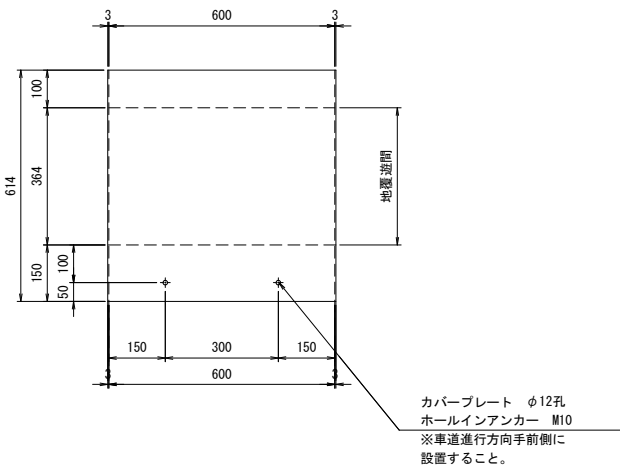
断面図 S=1:10



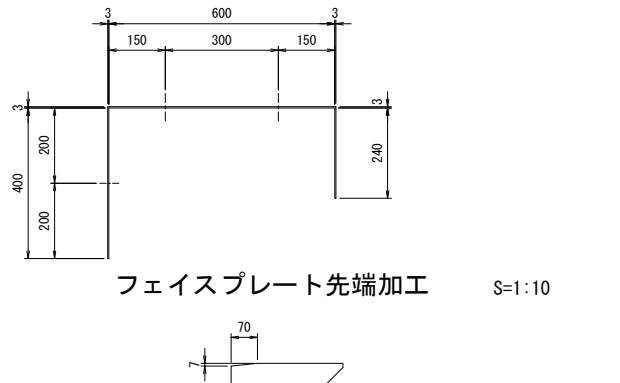
フェイスプレート詳細図 S=1:10



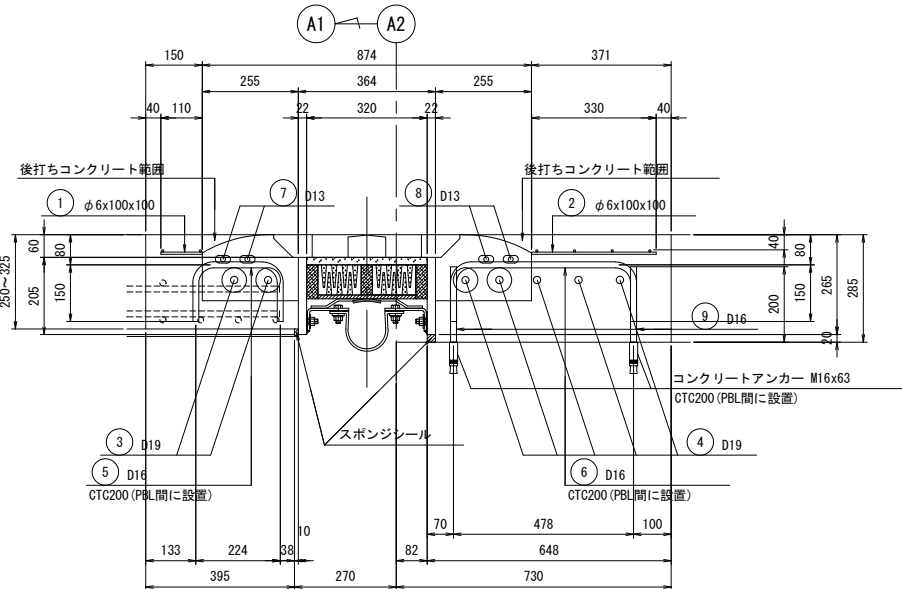
地覆部蓋板詳細図 S=1:10



フェイスプレート先端加工 S=1:10



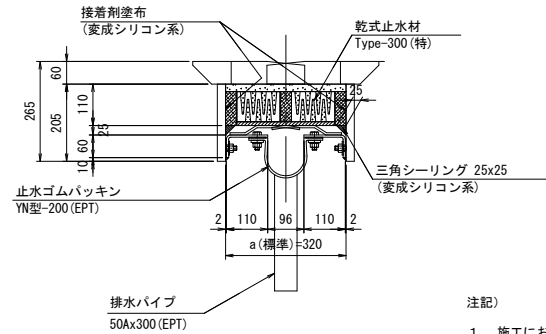
配筋図 S=1:10



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
①	φ6x100x100	110x7510	—	4.44	—	4	—
②	φ6x100x100	330x7510	—	4.44	—	11	—
③	D19	7710	2	2.25	17.35	35	—
④	D19	7710	5	2.25	17.35	87	—
⑤	D16	530	37	1.56	0.83	31	┌
⑥	D16	780	37	1.56	1.22	45	┌
⑦	D13	7710	2	0.995	7.67	15	—
⑧	D13	7710	2	0.995	7.67	15	—
⑨	D16	200	74	1.56	0.31	23	└
							D19 122 kg (SD345)
							D16 99 kg (SD345)
							D13 30 kg (SD345)
							φ6x100x100 15 kg (SR235相当)
							合計 266 kg

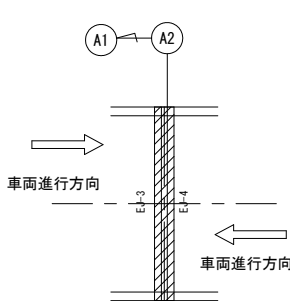
非排水断面図 S=1:10



注記)

1. 施工において図面相当品とする。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ()内寸法は、勾配なり寸法を示す。
4. 後打ちコンクリートの強度は24N/mm 以上とすること。

配置図



岩手県県土整備部

主要地方道 盛岡環状線 盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中 其 107 伸縮装置図 (2/2)

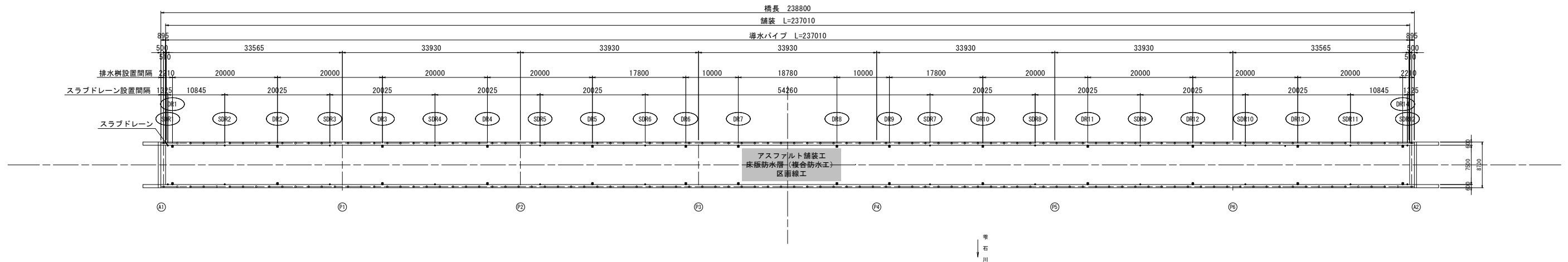
令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

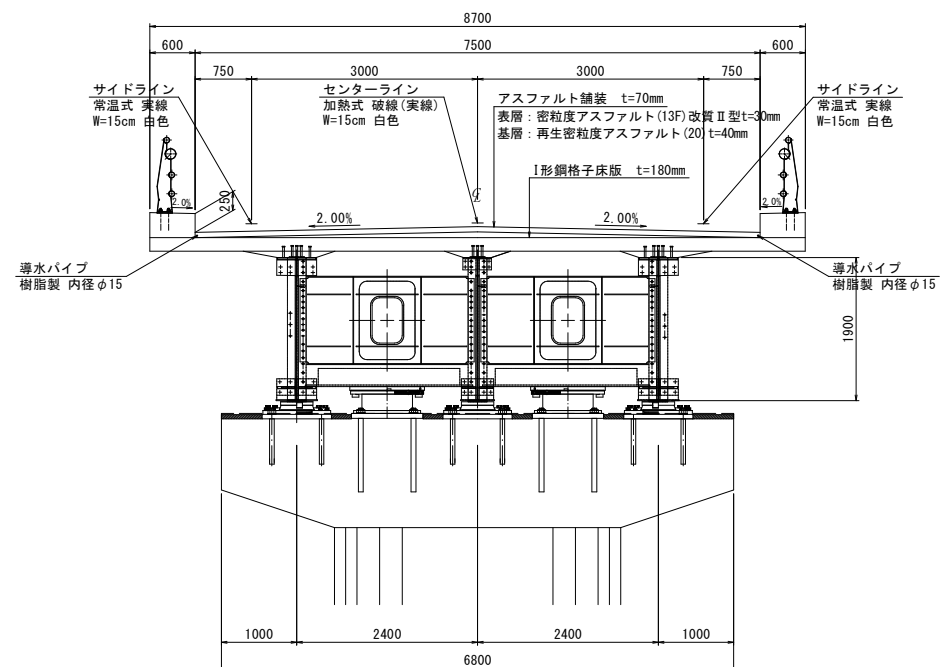
縮 尺 図 示

橋面舗装工・床版防水工詳細図

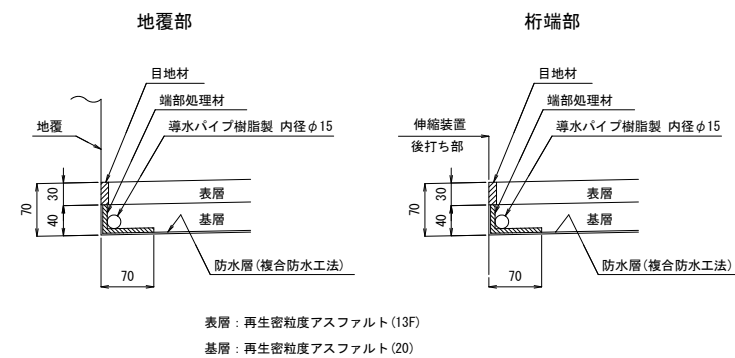
平面图 S=1 : 400



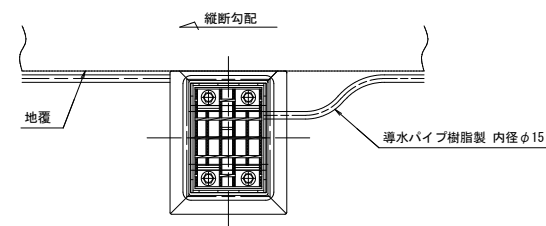
断面図 S=1 : 50



防水層端部詳細 S=1:5



排水柵導水管処置詳細 S=1:10

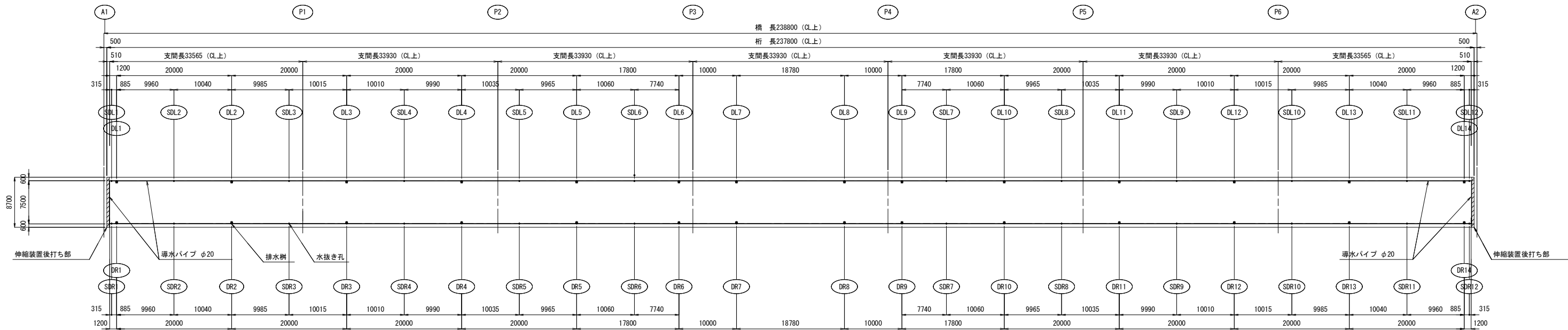


排水樹設置部については、導水パイプを排水樹側面の水抜き用孔に接続する。

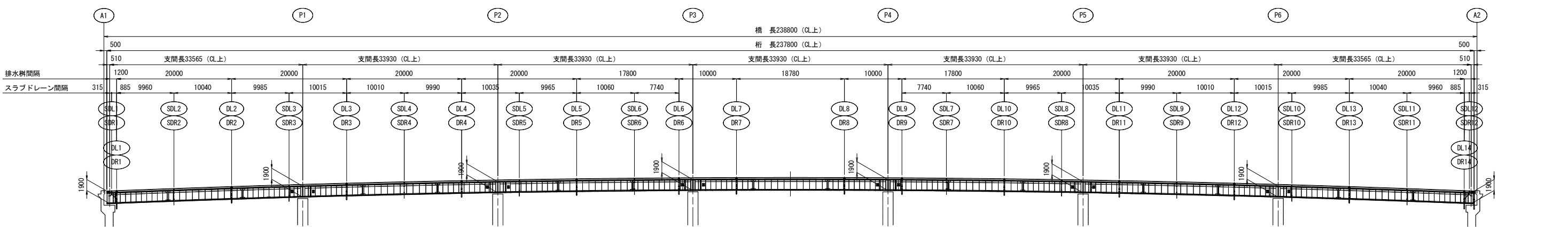
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚 / 中 其 108	橋面舗装工・ 床版防水工詳細図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

排水装置詳細図(1/4) S=1:350

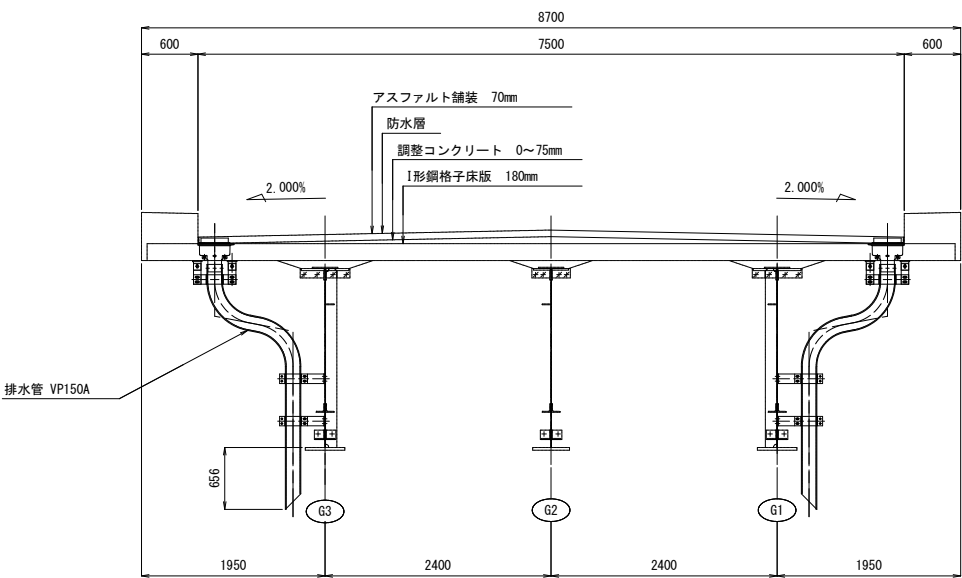
平面図



側面図



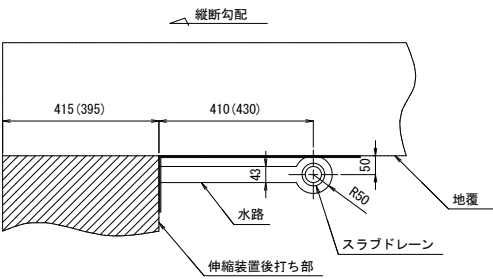
断面図 S=1:40



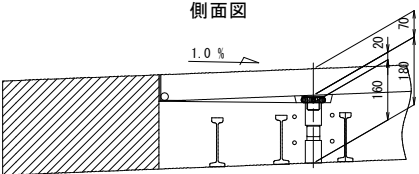
床版端部水路詳細 S=1:10

A1 (A2)

平面図



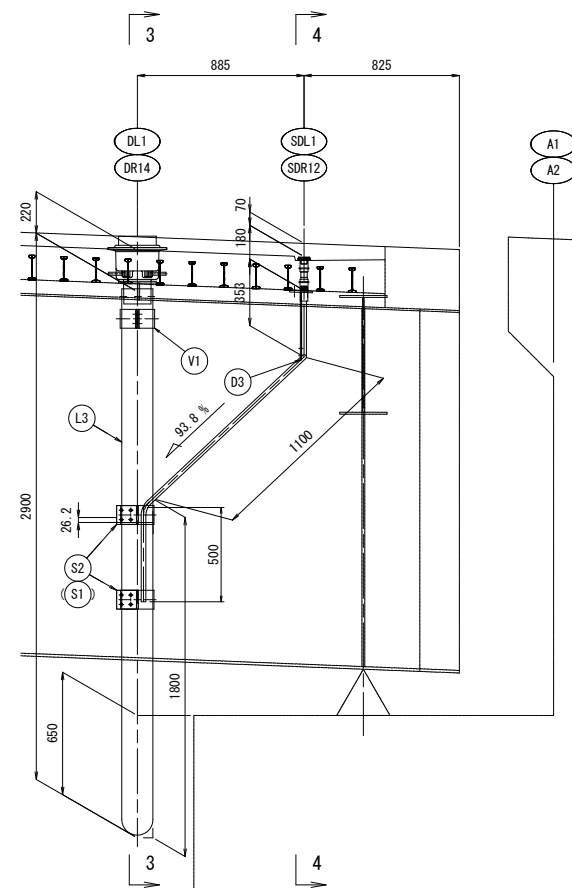
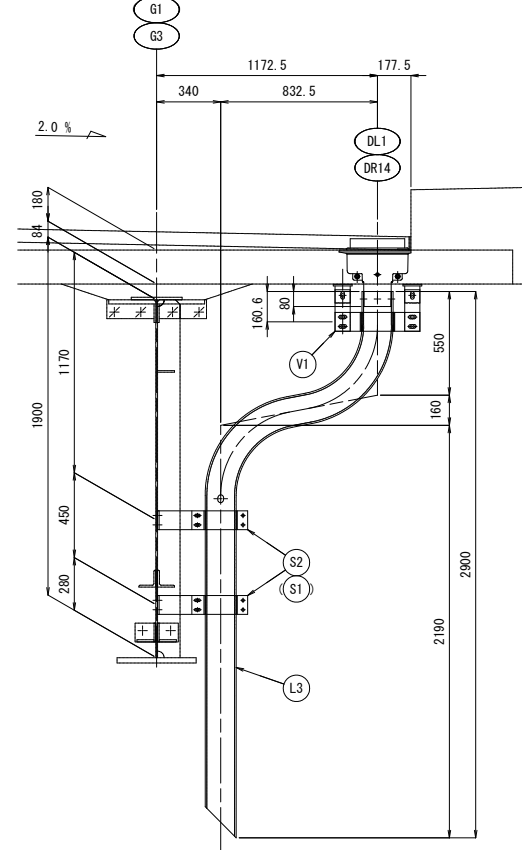
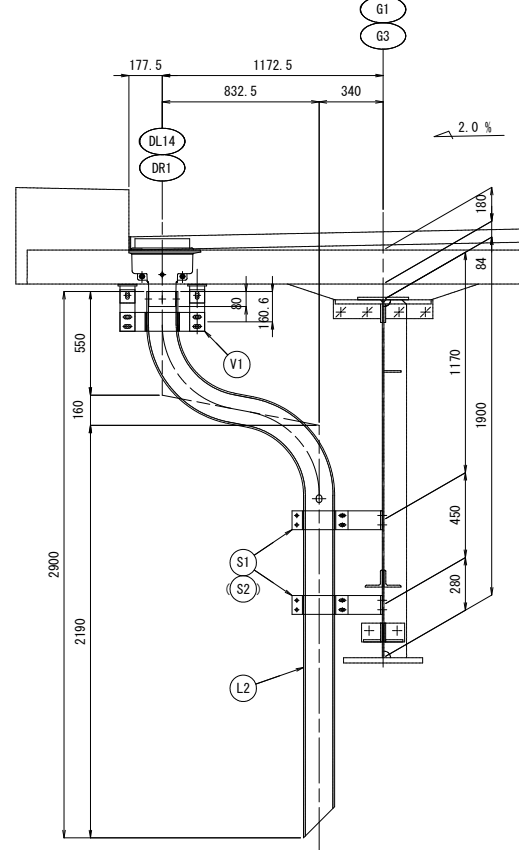
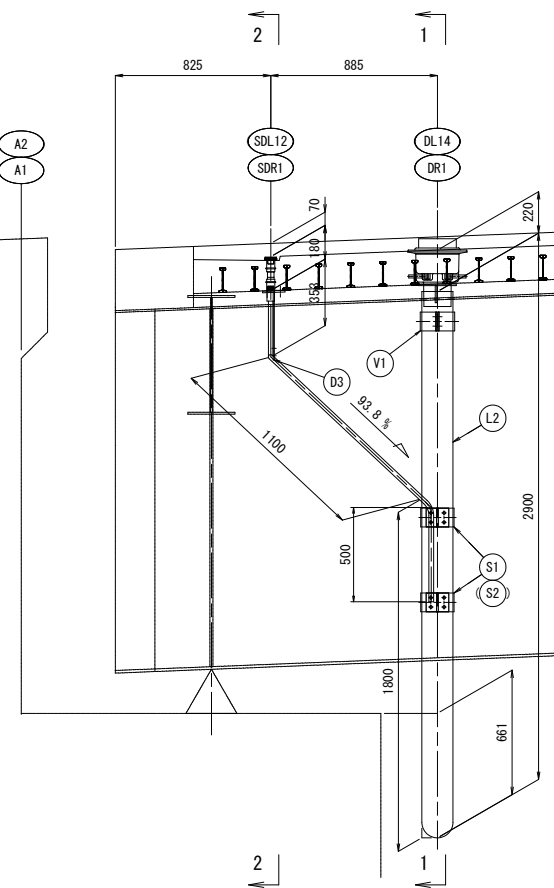
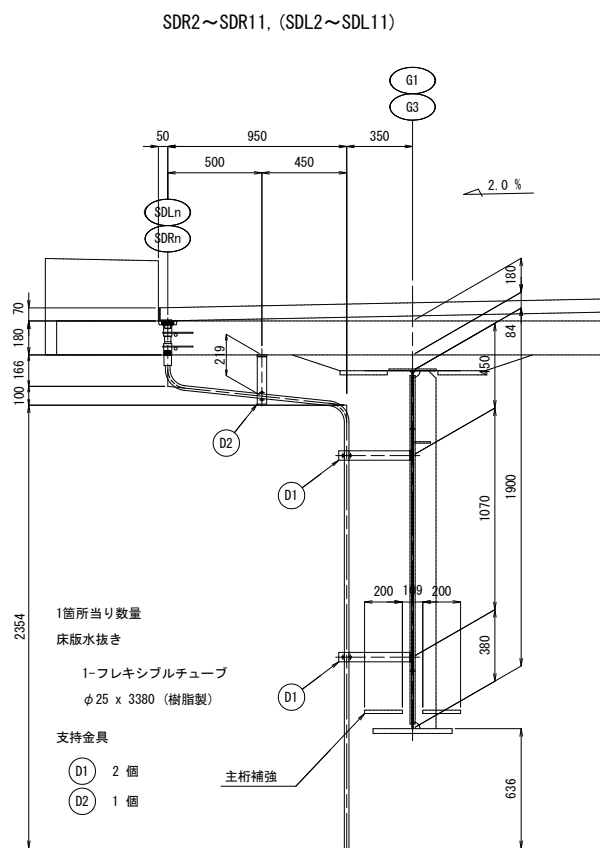
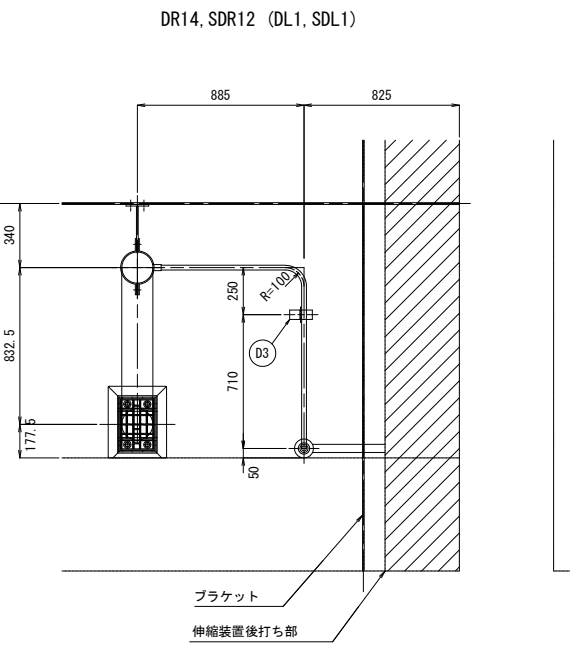
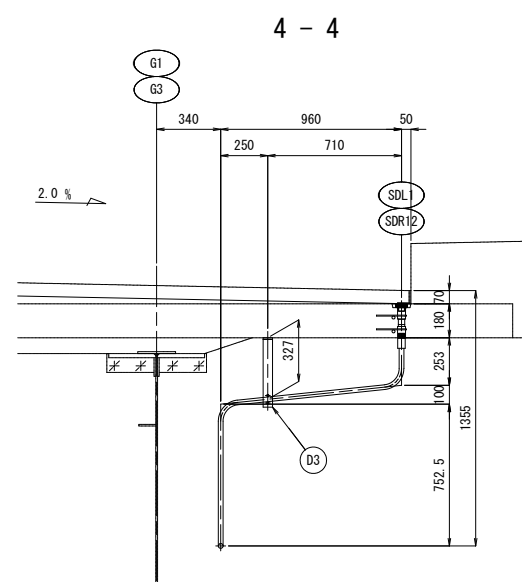
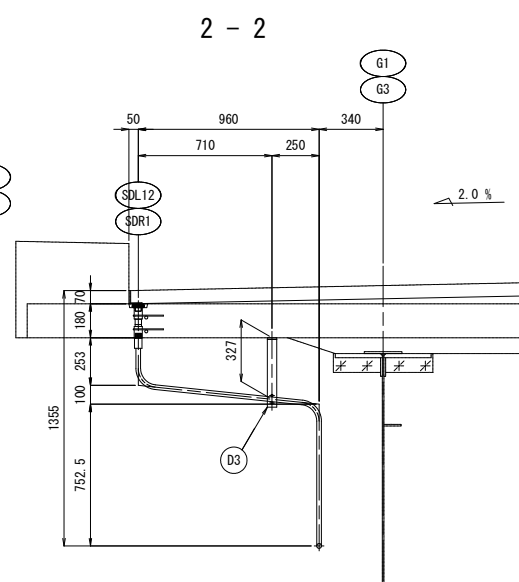
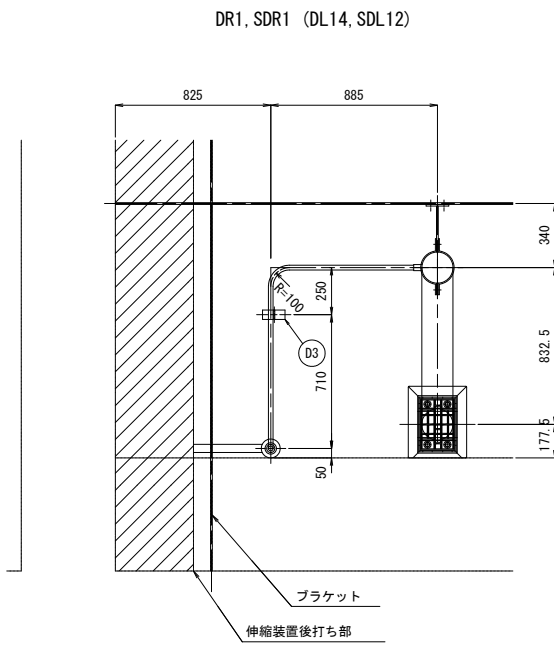
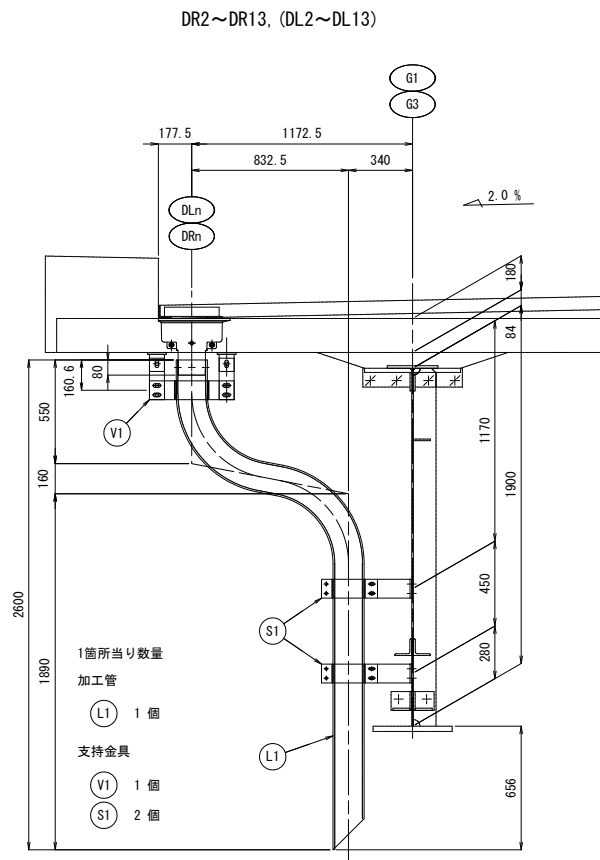
側面図



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 109	排水装置詳細図 (1/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

排水装置詳細図(2/4)

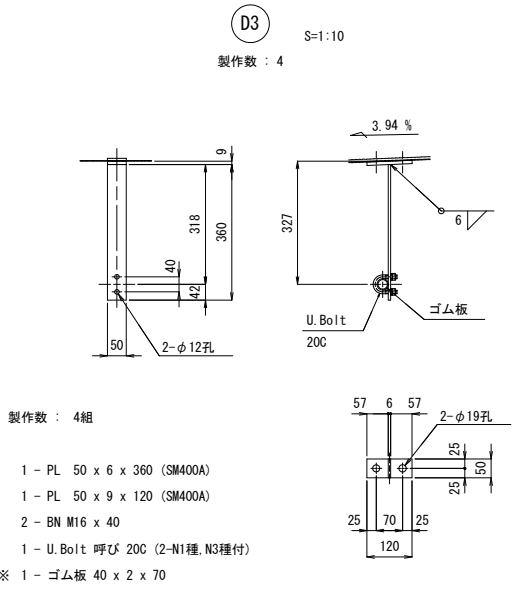
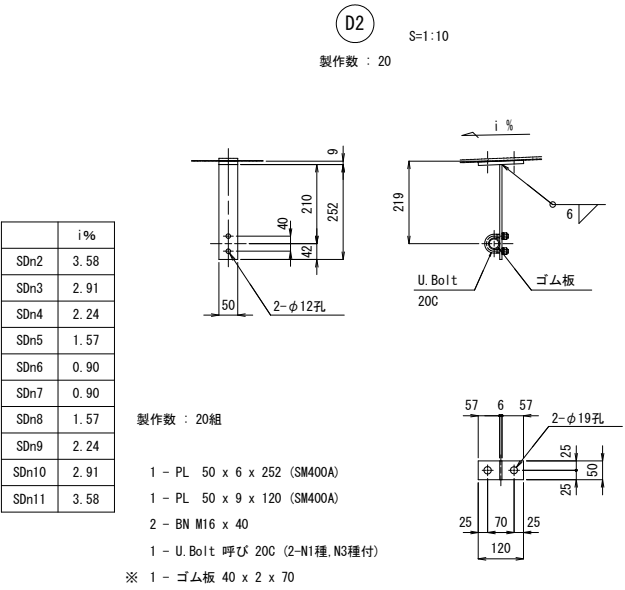
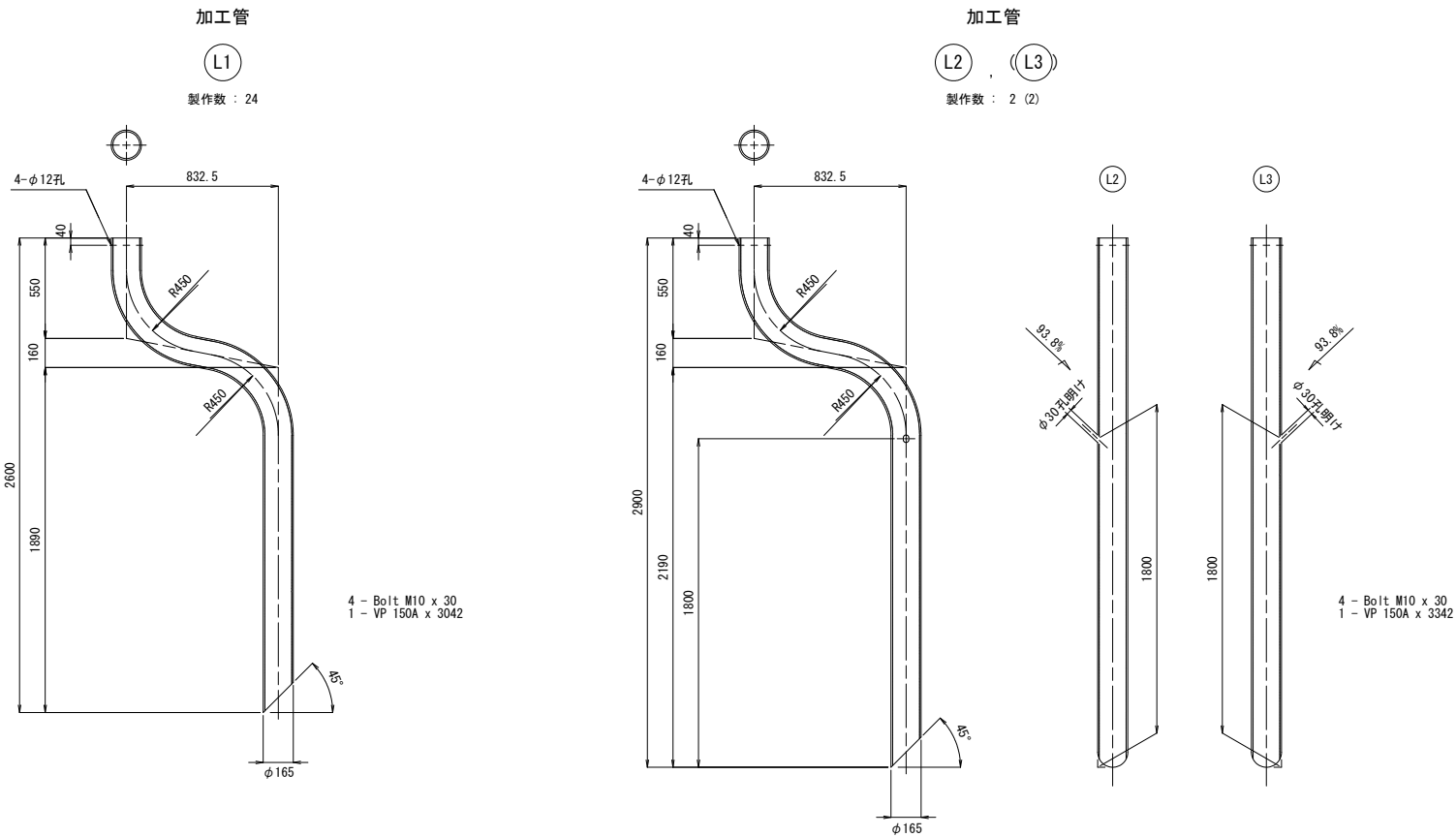
S=1:20



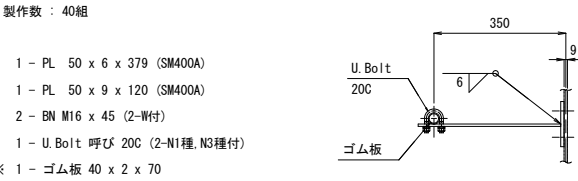
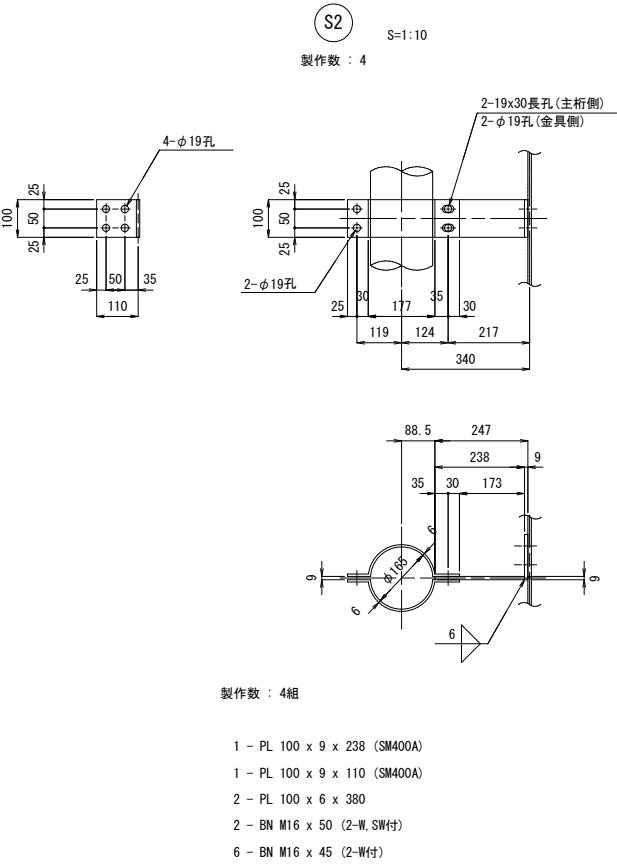
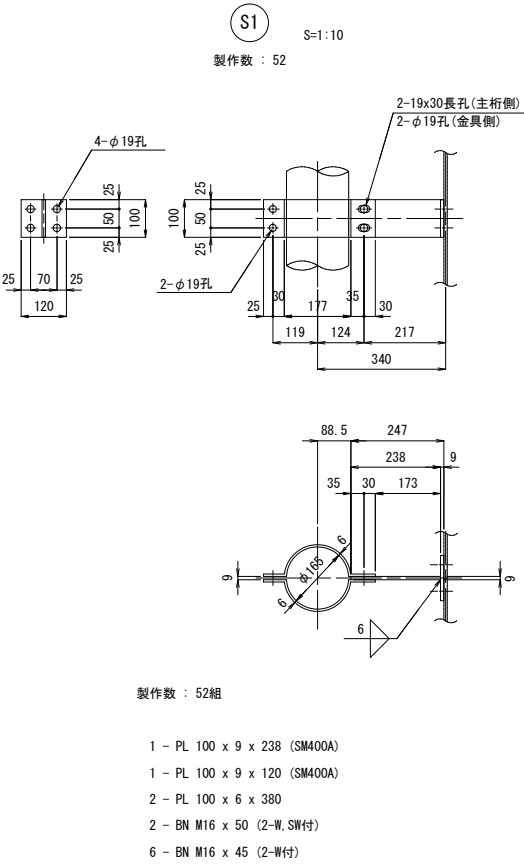
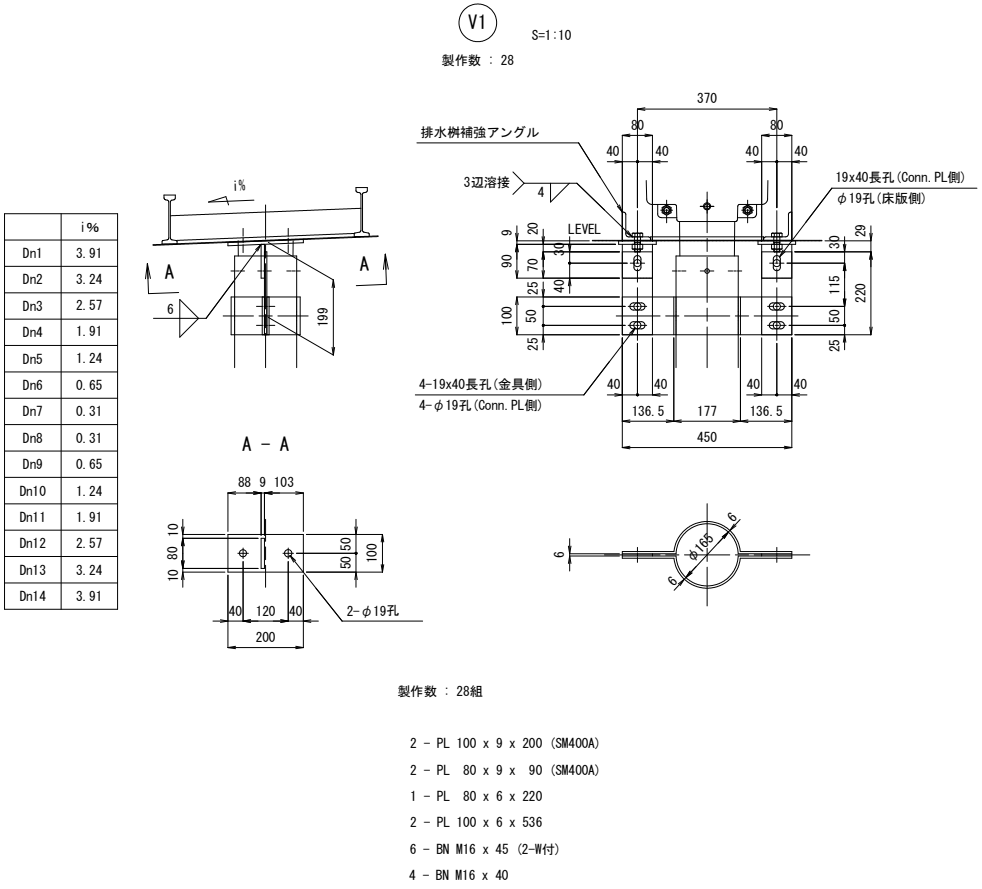
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 110	排水装置詳細図 (2/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

排水装置詳細図(3/4)

排水管詳細 (VP管) S=1:20



支持金具詳細



注記)

1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。

2. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛メッキ処理とする。

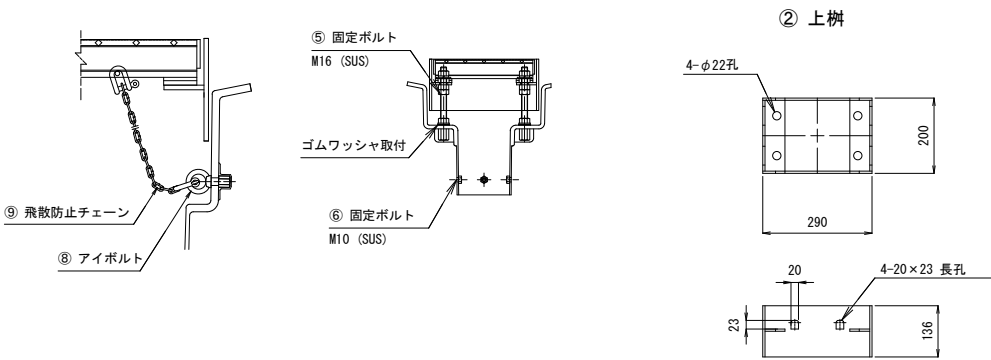
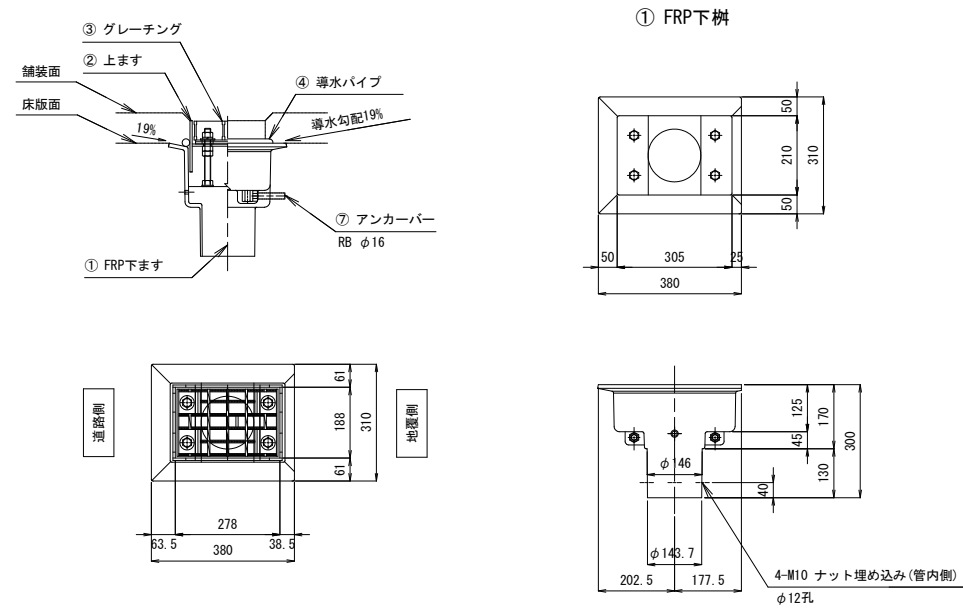
垂鉛付着量は JIS H8641 HDZT77 とする。

ただし、板厚3.2mm以上6mm未満の部材は HDZT63、
ボルト・ナット、および板厚3.2mm未満の部材は
HDZT49 とする。

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 111	排水装置詳細図 (3/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

排水装置詳細図(4/4)

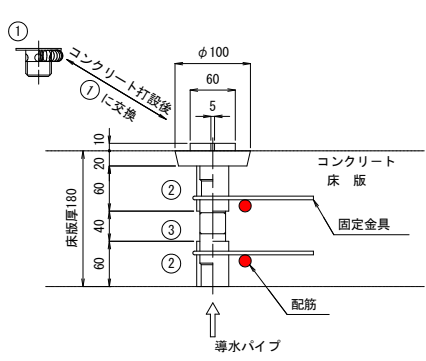
FRP排水樹 S=1:10



番号	部 品 名 称	材 質	寸 法	数 量	重 量	備 考
①	FRP下樹	FRP	310×380×300	1	4.4	内面ゲルコート
②	上樹	SS400	200×290×136	1	7.1	溶融亜鉛めっき (HDZ177)
③	グレーチング	SS400	178×268×60.5	1	4.4	溶融亜鉛めっき (HDZ177) BPN値40程度
④	排水用導水管	-	φ20	1	-	
⑤	固定ボルト	SUS304	M16×180	4	1.8	寸切りボルト、ナット・ワッシャ・ゴムワッシャを含む
⑥	固定ボルト	SUS304	M10×25	4	0.1	六角ボルト、ワッシャを含む
⑦	アンカーバー	SS400	φ16×85	4	0.5	
⑧	アイボルト	-	M8	1	-	
⑨	飛散防止チェーン	-	φ5	1	-	2-シャックル含む
合 計 重 量					18.3	

※接続する排水管 (VP150) の差込長は100mmまでとする

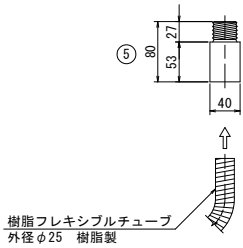
スラブドレーン S=1:5



部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品	① φ34.0x35	鋼管 (垂鉛メッキ仕上) キャップ付 (φ60xt2.3)
本体構成部品	② φ42.7x60	鋼管 (垂鉛メッキ仕上)
本体構成部品	③ φ34.0x90	鋼管 (垂鉛メッキ仕上)
固 定 金 具	φ5 棒材	普通鉄線
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)
SDキャップ	φ100x45	樹脂製

※主材は、STKM-13A-SH、面処理は、HDZ-35を施す。

導水パイプ S=1:5



部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品	⑤ 40.0x80	樹脂製
樹脂フレキシブルチューブ	外径 φ25	樹脂製

岩 手 県 県 土 整 備 部

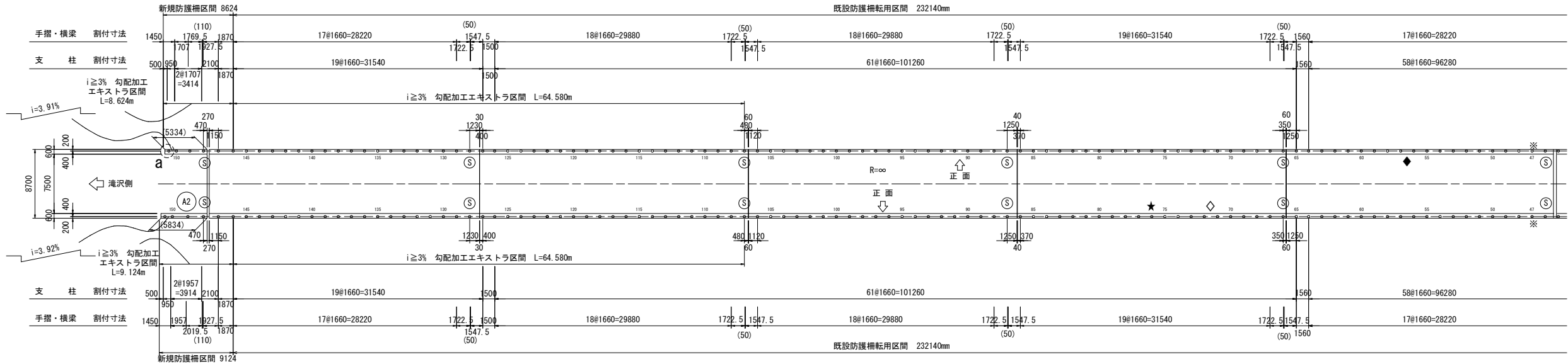
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 112	排水装置詳細図 (4/4)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

防護柵図(1/2)

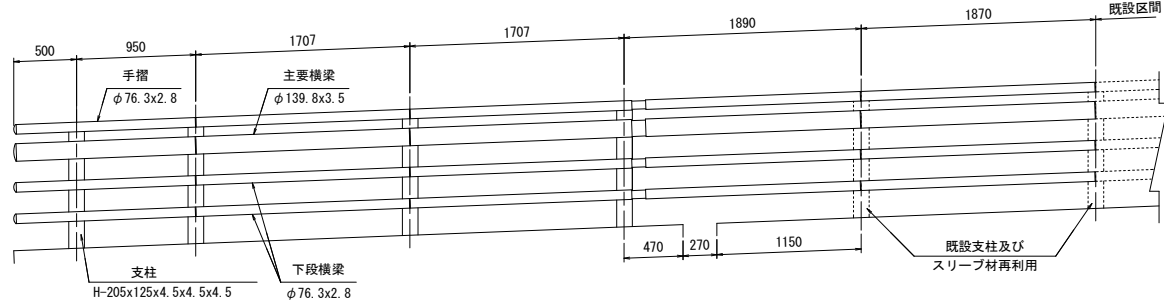
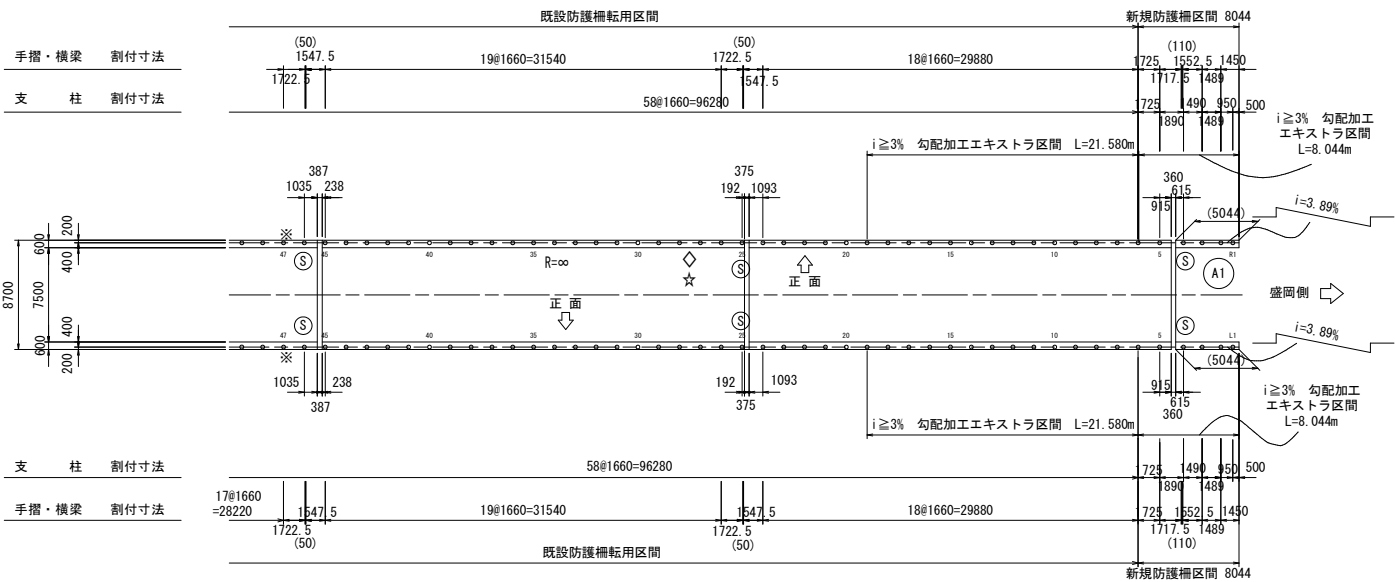
歩行者自転車用柵兼用車両用防護柵

割付図 S=1:300

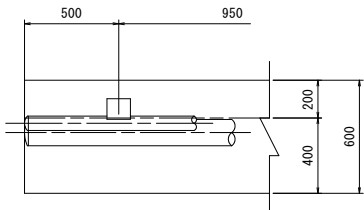
- 注) ・ 防護柵長は全てアンカー中心実長で示す。
・ ㊟印は、伸縮部を示す。
・ ★印は、支柱交換部を示す。
・ ☆印は、主要横梁交換部を示す。
・ ◆印は、下段横梁（上側）交換部を示す。
・ ◇印は、下段横梁（下側）交換部を示す。



正面展開図 S=1:30



a部 端末詳細図 S=1:20



- 注記)
1. 防護柵は、既設の防護柵を転用するものとする。
2. 変形や破損している部材は新規部材に取替えを行うものとする。
3. 橋台部の防護柵は、新規部材を使用する。

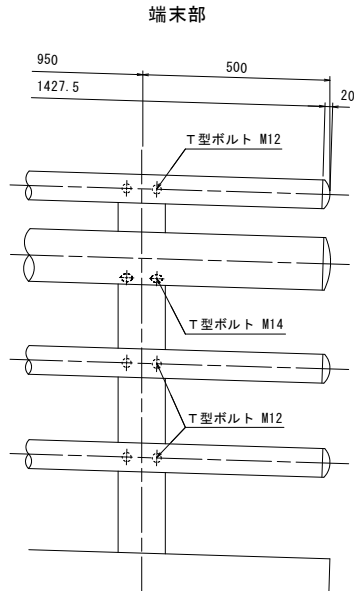
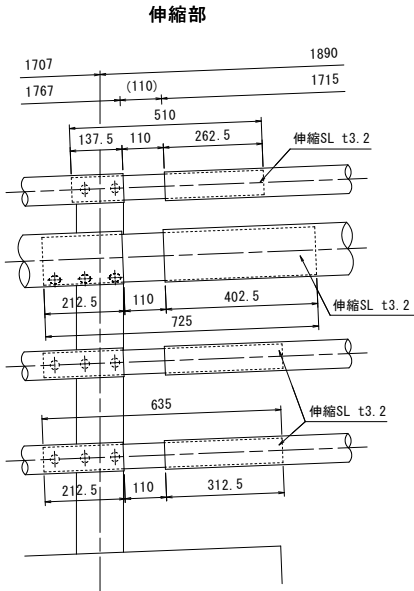
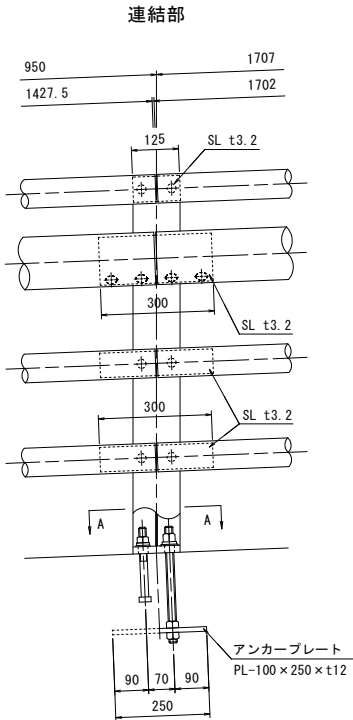
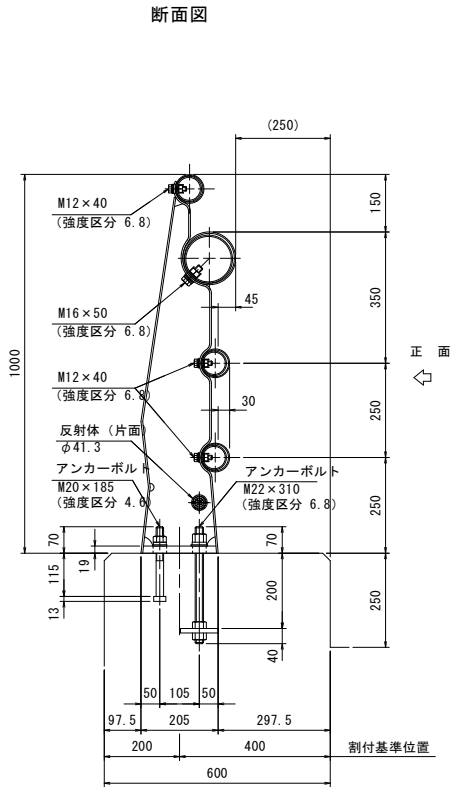
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 113	防護柵図 (1/2)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

防護柵図(2/2)

支柱図 S=1:10

S-B-410F

*SLは、スリーブを示す。



部材数量表（ウイング部）

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H-205x125x4.5x4.5x4.5	本	16	16.72	267.52	SS400
主要横梁	φ139.8x3.5	m	33.836	11.80	399.26	STK400
下段横梁	φ76.3x2.8	m	67.672	5.08	343.77	STK400
手摺	φ76.3x2.8	m	33.836	5.08	202.37	STK400
主要横梁 スリーブ	φ127.0x3.2x300	個	8	3.08	24.64	STKM-13A
下段横梁 スリーブ	φ65.0x3.2x300	〃	16	1.50	24.00	〃
手摺 スリーブ	φ67.0x3.2x125	〃	8	0.63	5.04	〃
主要横梁 伸縮スリーブ	φ127.0x3.2x725	〃	4	7.19	28.76	〃
下段横梁 伸縮スリーブ	φ65.0x3.2x635	〃	8	3.13	25.04	〃
手摺 伸縮スリーブ	φ67.0x3.2x510	〃	4	2.57	10.28	〃
取付ボルト	M16x50	セット	44	0.12	5.28	強度区分 6.8
〃	M12x40	〃	72	0.06	4.32	〃
T型ボルト	M14	〃	8	0.09	0.72	強度区分 4.6
〃	M12	〃	24	0.07	1.68	〃
アンカーボルト	M22x310	セット	32	1.22	39.04	強度区分 6.8
〃	M20x185	〃	32	0.61	19.52	強度区分 4.6
アンカープレート	PL-100x250xt12	枚	16	2.35	37.60	SS400
(33.836m 当り)				合計質量	1433.84 kg	

部材数量表（本橋部）

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H-205x125x4.5x4.5x4.5	本	1	16.72	16.72	SS400
主要横梁	φ139.8x3.5x1655	本	1	11.53	11.53	STK400
下段横梁	φ76.3x2.8x1655	本	3	8.41	25.23	STK400
				合計質量	53.48 kg	

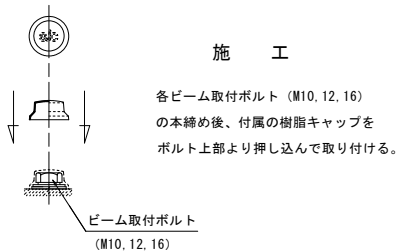
アンカーボルト数量表（橋梁部）

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
アンカーボルト	M22x310	セット	604	1.22	736.88	
〃	M20x185	〃	604	0.61	368.44	
アンカープレート	PL-100x250xt12	枚	302	2.35	709.70	
				合計質量	1815.02 kg	

特記仕様

- * 支柱、主要横梁、下段横梁、手摺は、溶融亜鉛めっき (HDZT49) + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * スリーブは、亜鉛めっき (Z27) + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * 取付ボルト類は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- * 反射体はスワレフレックス (ベース: 黒、反射体: 白) とする。

ボルトキャップ取付詳細図



エキストラ加工数量

勾配加工 (i ≥ 3%)	8.624+9.124+8.044x2=33.836m
R曲げ加工 R ≤ 10m	
R曲げ加工 R > 10m	
突き合わせ溶接加工	
橋名板取付用裏板	

岩手県県土整備部

主要地方道 盛岡環状線 盛岡市上太田中瀬及び滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中 其 114 防護柵図(2/2)

令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

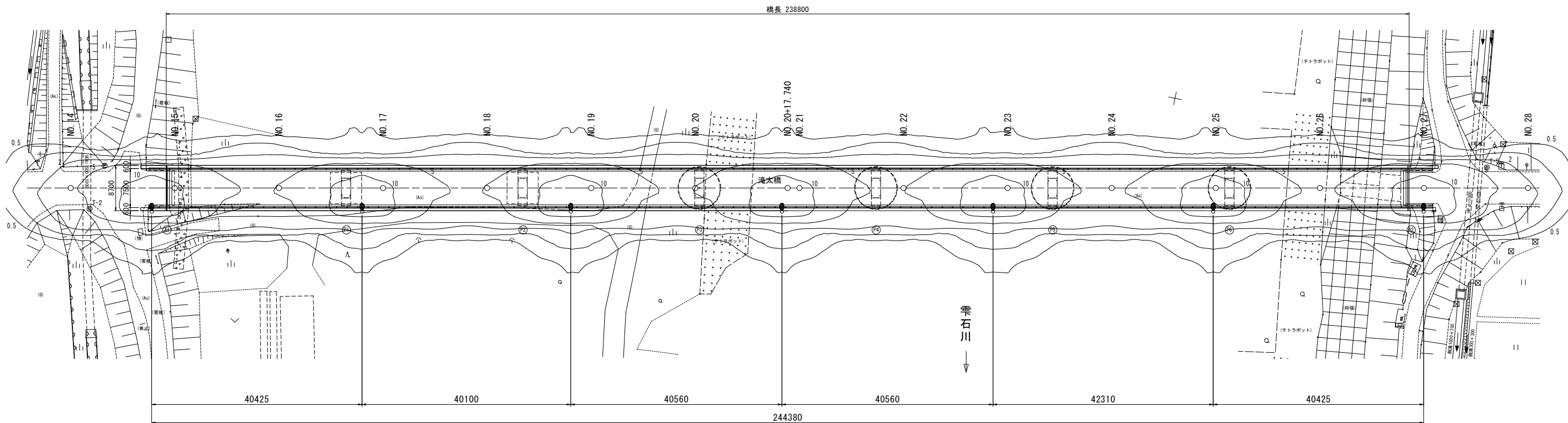
縮 尺

図 示

照度分布図

S=1:400

(照明配置)



凡 例

照明器具形式	E77283ASAJ9/K05L
光 源	LED
光 束 (lm)	5800
保 守 率	0.7
灯 高 (m)	10.0
器具取付角度	10°
出 幅 (m)	—
数 量 (基)	7

照度及び計算範囲

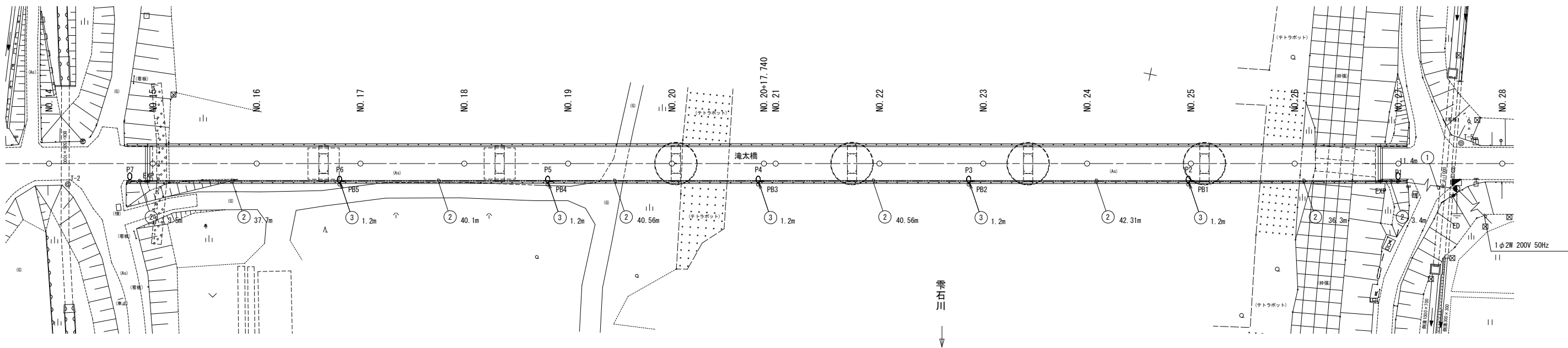
	1スパン
平均照度 (lx)	7.5
平均路面輝度 (cd/m ²)m2	0.50

(注記)

- 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。 単位: (lx)
- 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。
- 平均照度換算係数: 15 (lx/cd/m2) (アスファルト)

岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 115	照度分布図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

配管配線図 S=1:400

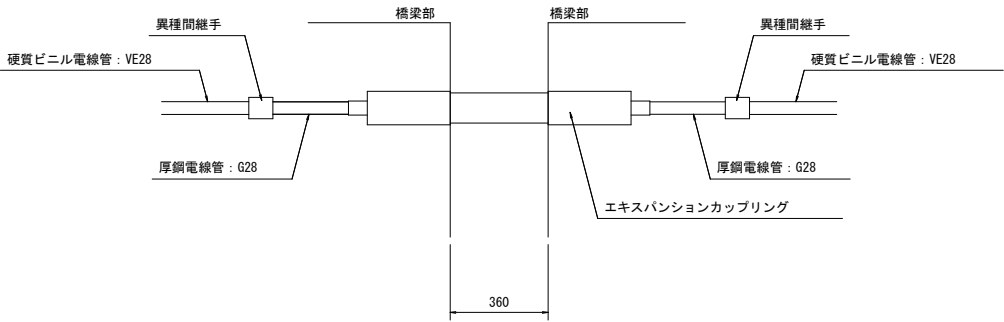


EXP部参考図 S=1/N

凡例	記号	摘 要	数量	備 考
	●	引込柱	1基	
	■	屋外共架式分電盤	1面	
	●	照明柱 H=10m E77283ASAJ9/K05L	7基	
	□	プルボックス	5個	
	≡≡≡	エキスパンションカップリング	2箇所	
	—	架空配線	—	
	—	コンクリート埋設配管配線	—	

注記1：接地は引込柱で一括してD種接地工事を施す。
注記2：照明柱への配線は、PBで分岐処理とする。

ケーブル表	番号	ケーブルサイズ	配管サイズ
	引込	VVR5. 5sq-2C	—
	①	DV2. 6mm-3R	—
	②	CV3. 5sq-2C	VE28
		IV3. 5sq	
	③	CV3. 5sq-2C	VE28 (分岐部)
		IV3. 5sq	

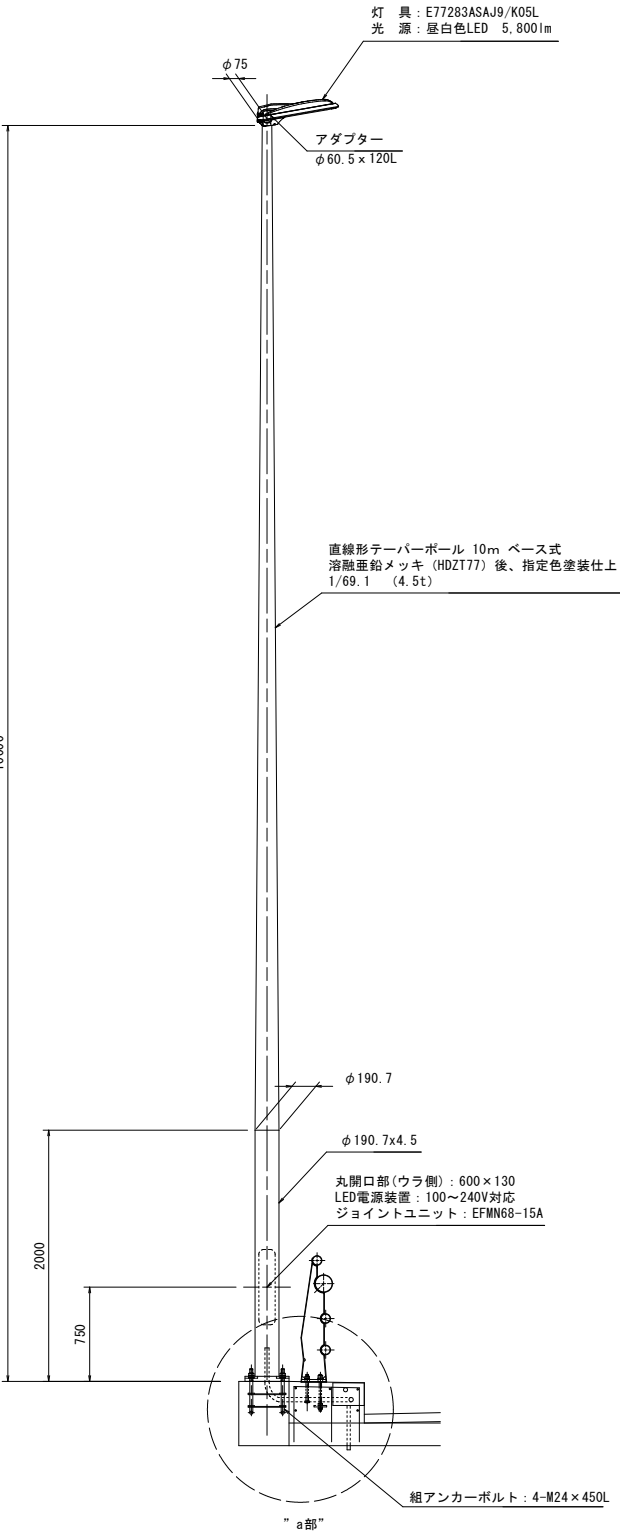


岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 116	配管配線図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

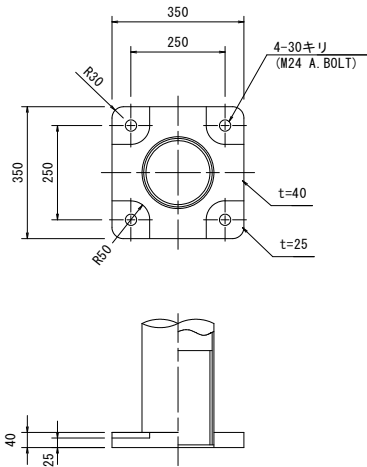
道路照明詳細図(1/2)

制作数：6
P2～7

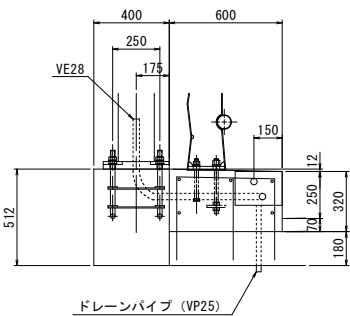
照明柱姿図 S=1:30
橋 梁 部



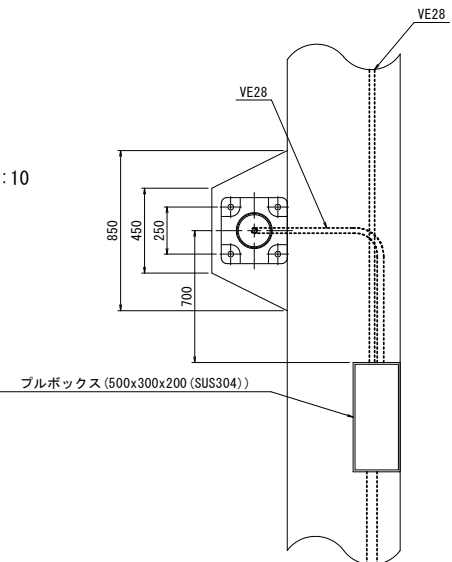
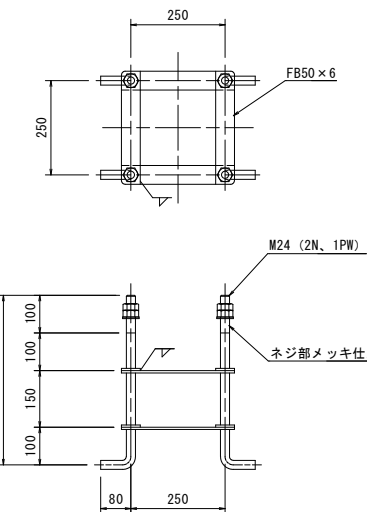
ベースプレート詳細図 S=1:10



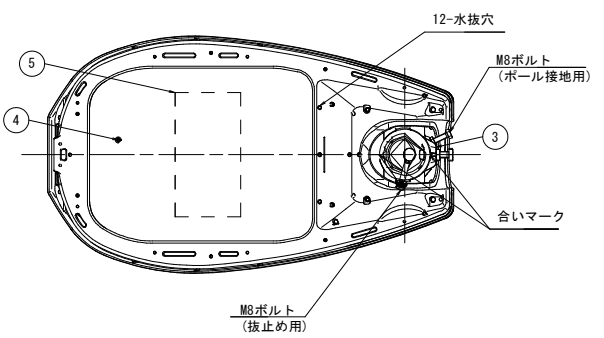
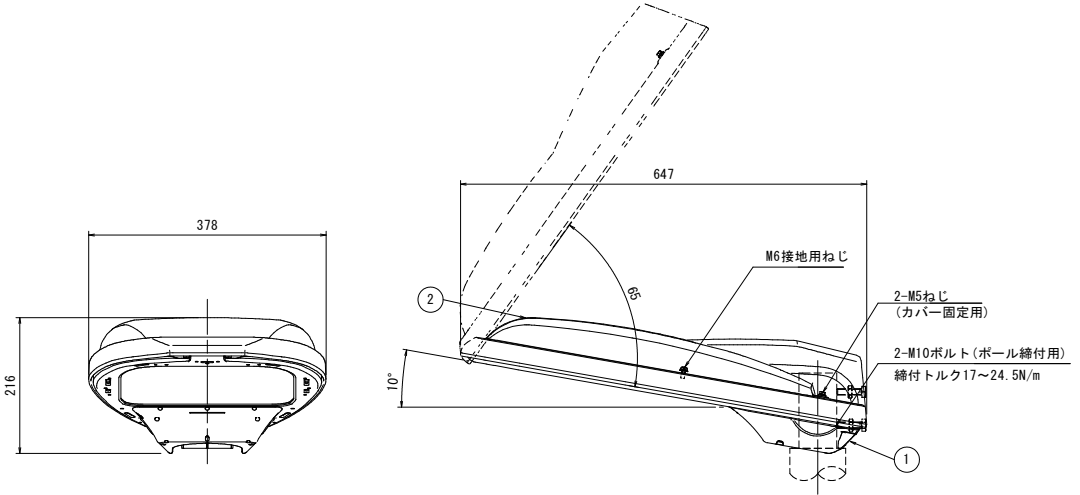
a部詳細 S=1:20



アンカーボルト詳細図 S=1:10

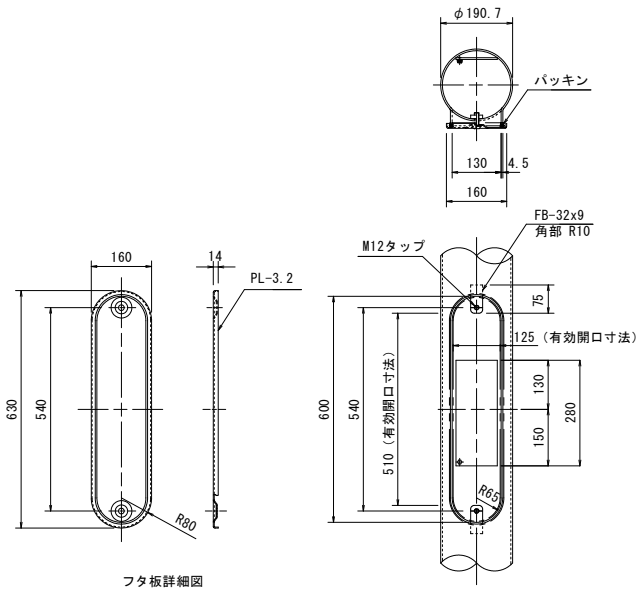


照明器具詳細図 S=1:6



部番	部 品 名	材質・材厚	数	備 考
1	本体	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
2	カバー	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
3	クランプ	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
4	前面ガラス	強化ガラスL4	1	透明
5	LEDユニット	組立品	1	

開口部詳細図 S=1:10
(溶接レス一体構造)



フタ板詳細図

- 注記
- ボールの表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H8641 HDZT77) とする。
 - 溶融亜鉛めっき後、指定色塗装とする。
 - 開口部は、ユニバーサルタイプ (溶接レス一体構造) とする。
 - 基部のJSSC疲労強度等級は、C等級以上に相当する。

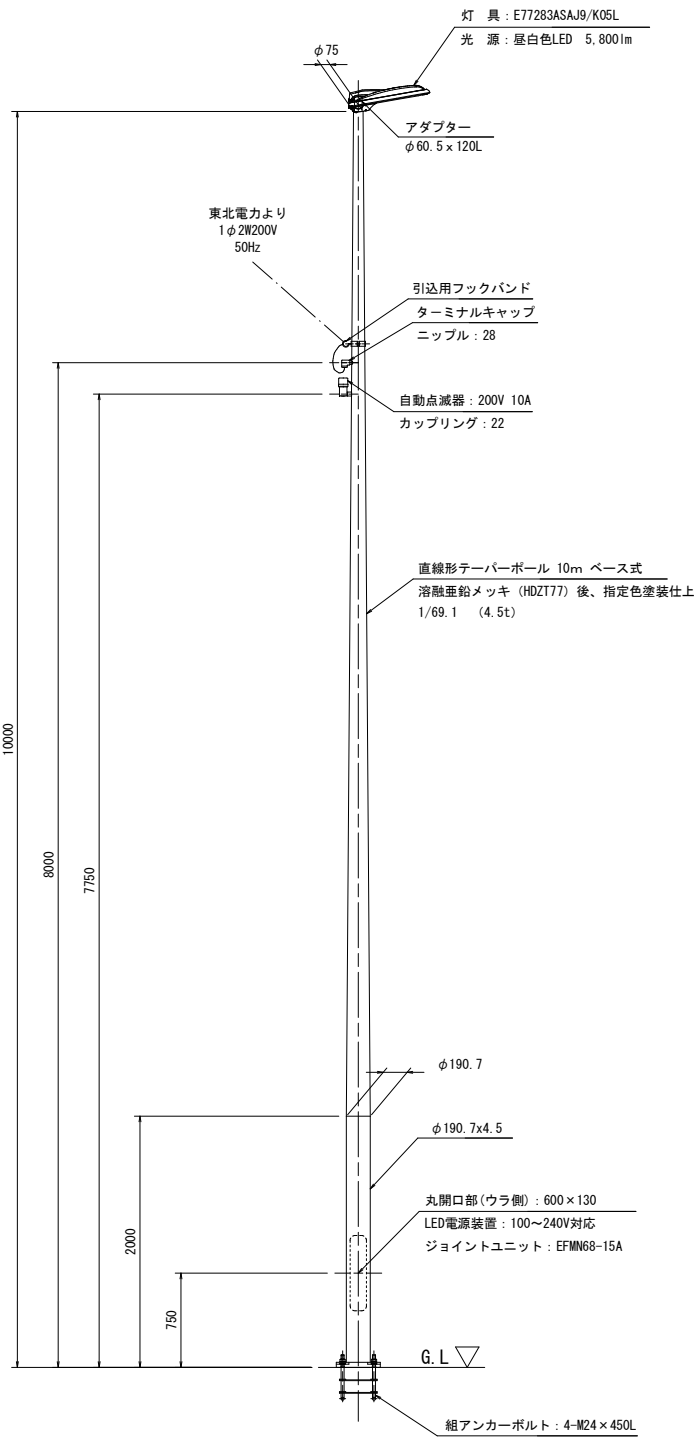
岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 117	道路照明詳細図 (1/2)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

道路照明詳細図 (2/2)

制作数：1
P1

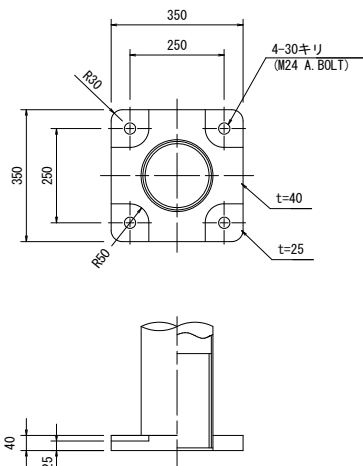
照明柱姿図
橋 梁 部

S=1:30



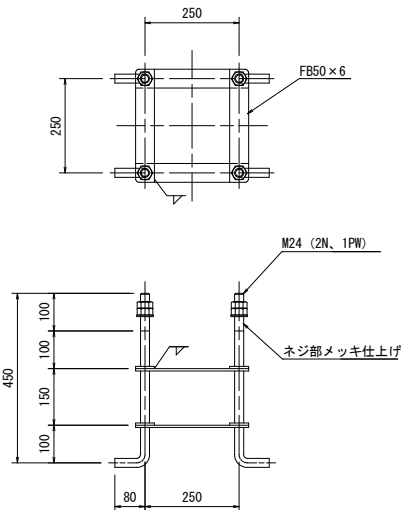
ベースプレート詳細図

S=1:10



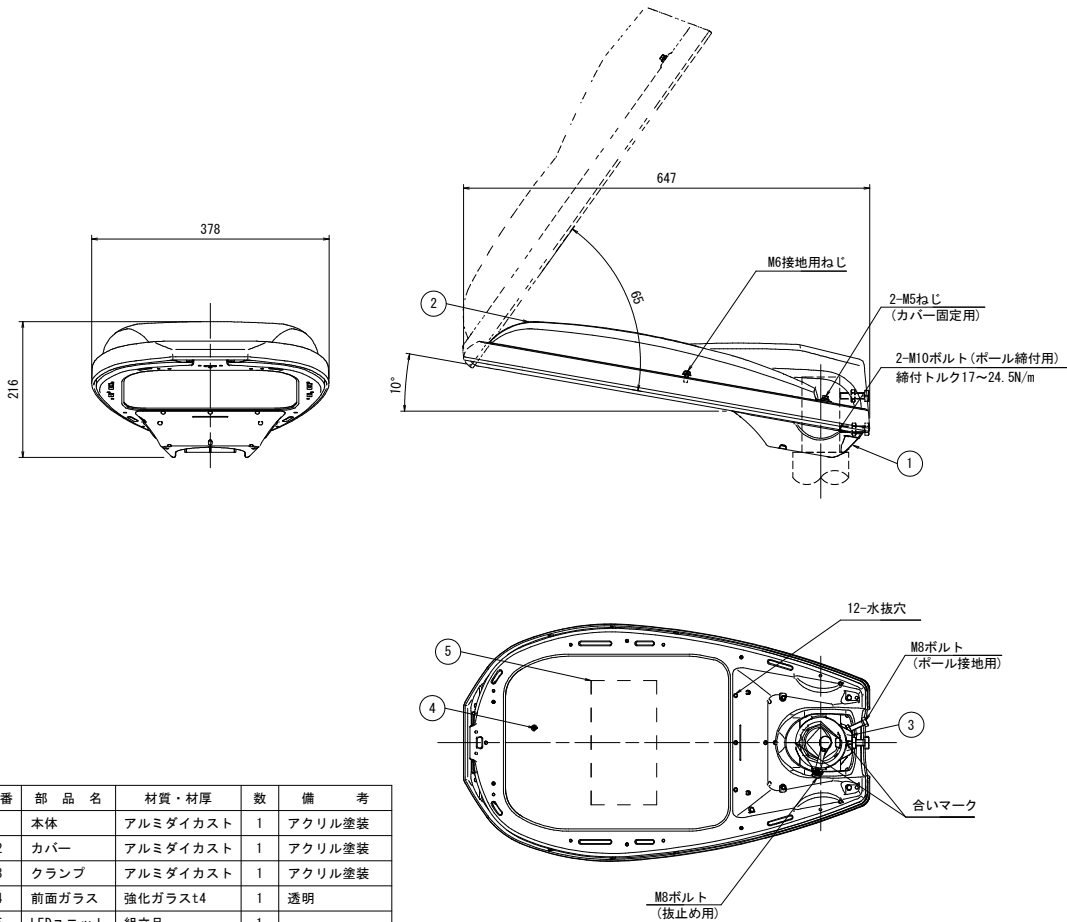
アンカーボルト詳細図

S=1:10



照明器具詳細図

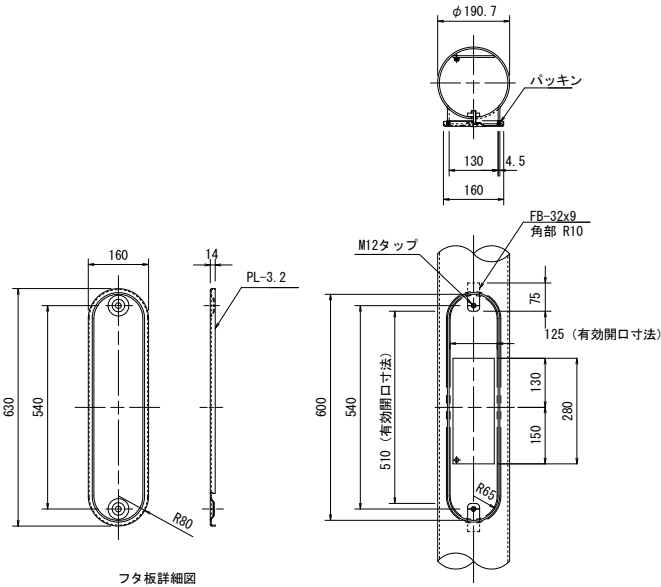
S=1:6



開口部詳細図

S=1:10

(溶接レス一体構造)



- 注記
1. ポールの表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H8641 HDZT77) とする。
 2. 溶融亜鉛めっき後、指定色塗装とする。
 3. 開口部は、ユニバーサルタイプ (溶接レス一体構造) とする。
 4. 基部のJSSC疲労強度等級は、C等級以上に相当する。

岩 手 県 県 土 整 備 部

主要地方道 盛岡環状線 盛岡市上太田中瀬及び滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中 其 118 道路照明詳細図 (2/2)

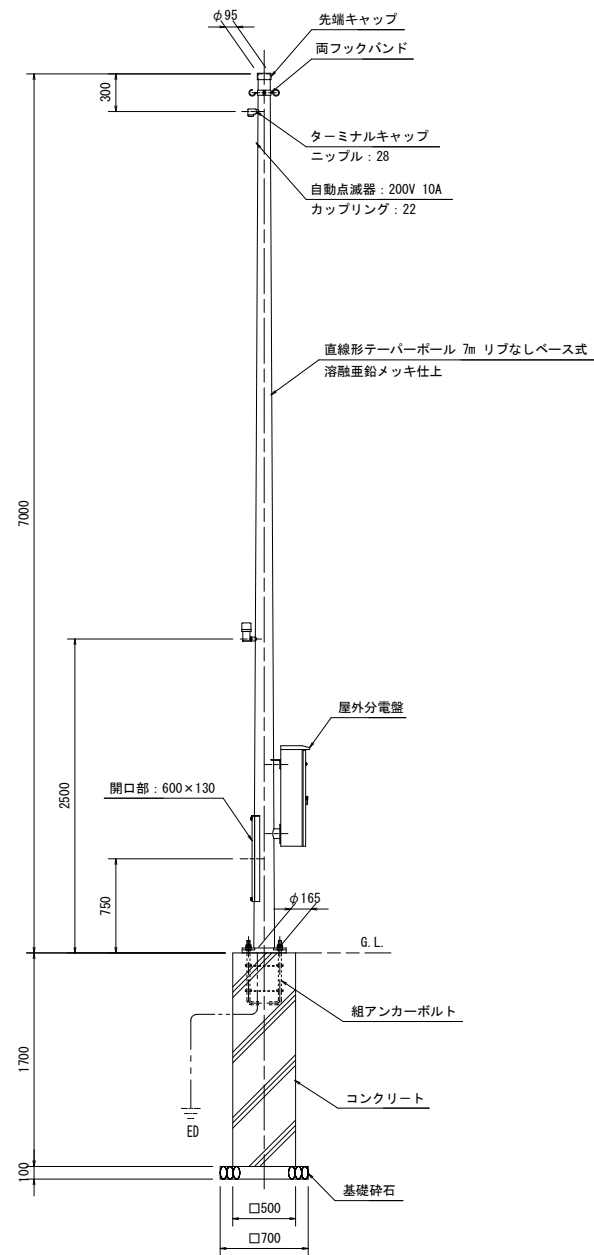
令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

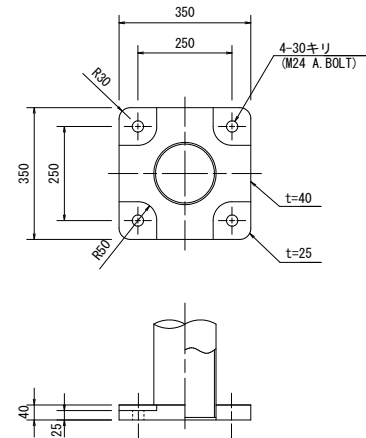
縮 尺 図 示

照明機器構造図

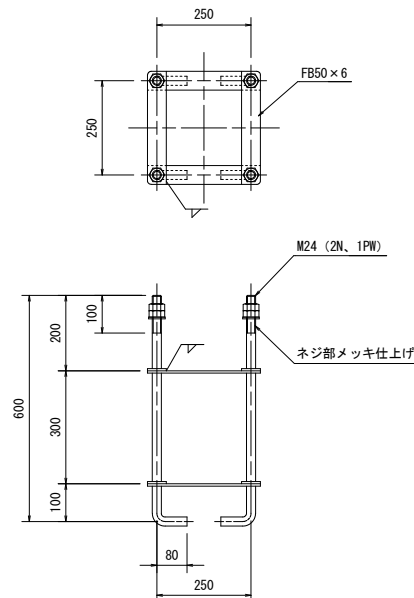
引込柱参考姿図 S=1:30



ベースプレート参考図 S=1:10



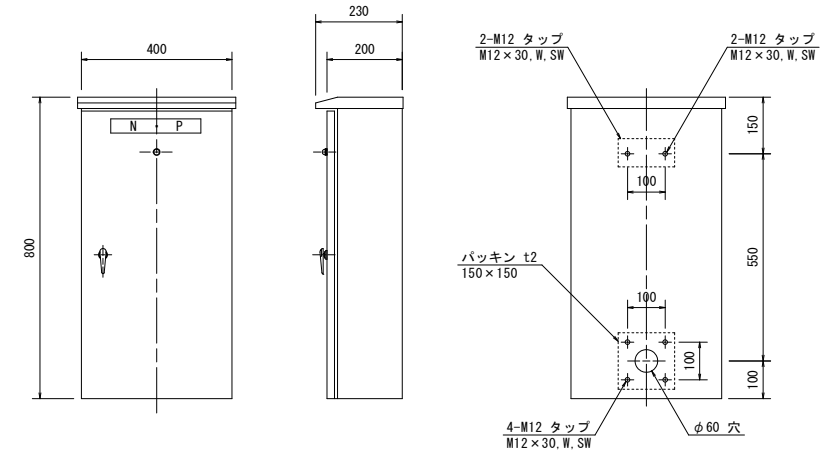
組アンカーボルト参考図 S=1:10



- 注記
1. ボールの表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H8641 HDZT77) とする。
 2. 引込柱は、既設の引込柱を利用すること。
 3. 引込柱から分電盤へのケーブルの引き込み及び、分電盤の固定方法は、現場にて詳細を確認し調整すること。

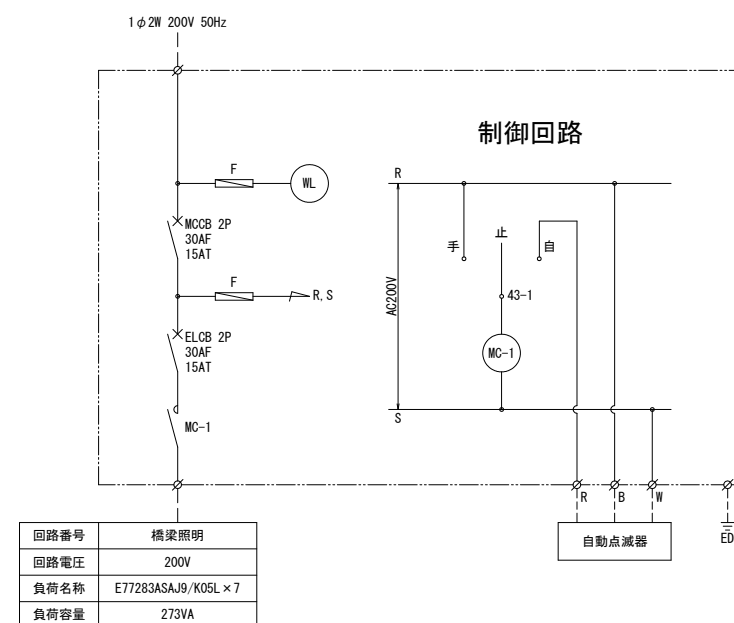
※架線延長が不明な事から、施工時には電柱位置を確認して頂き基礎の確認して下さい。

屋外分電盤参考図 S=1:10



- 注 記
1. 本体は、銅製、屋外共架式とする。
 2. 板厚は、箱体、扉共、 $t \geq 2.3$ 以上とする。
 3. 仕上げは、亜鉛溶射仕上げとする。
 4. 外形寸法は参考値とする。

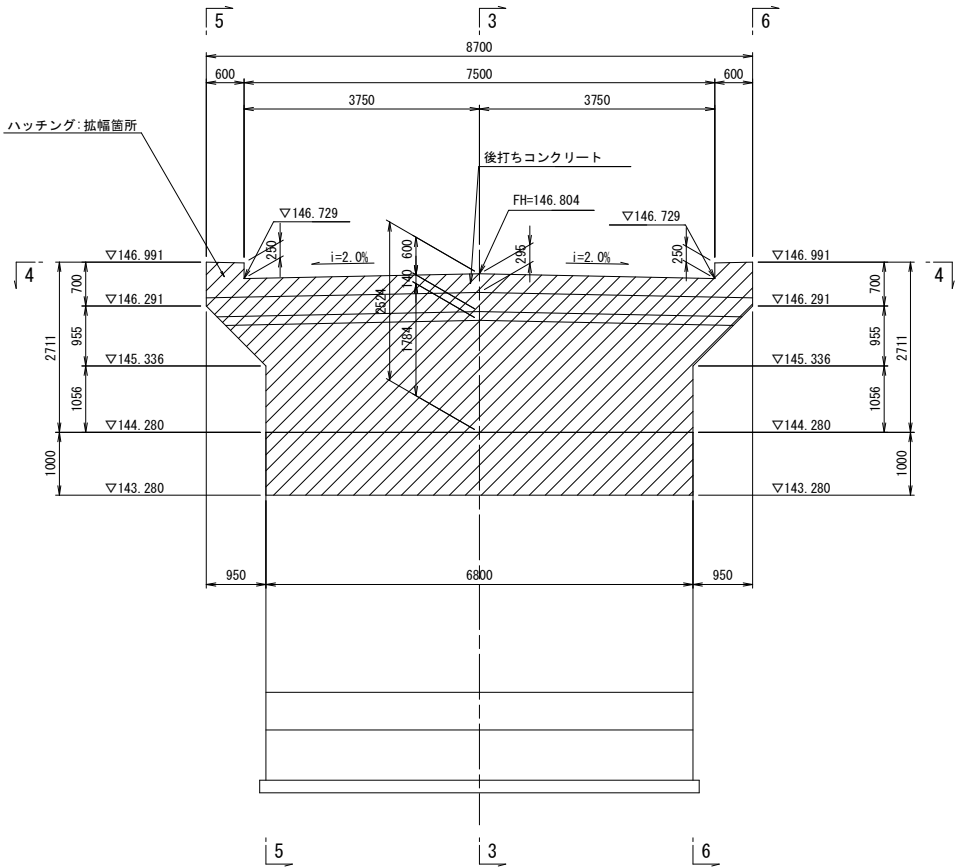
分電盤参考單線結線図



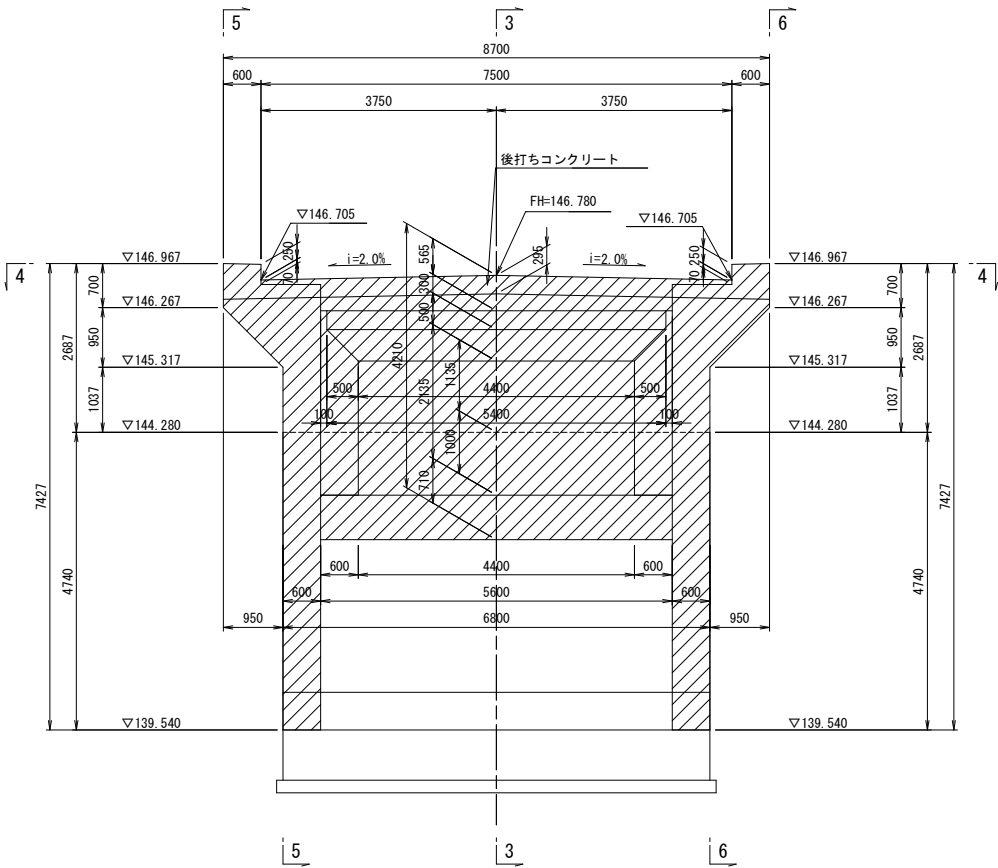
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚 / 中 其 119	照明機器構造図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台構造図(1/3)

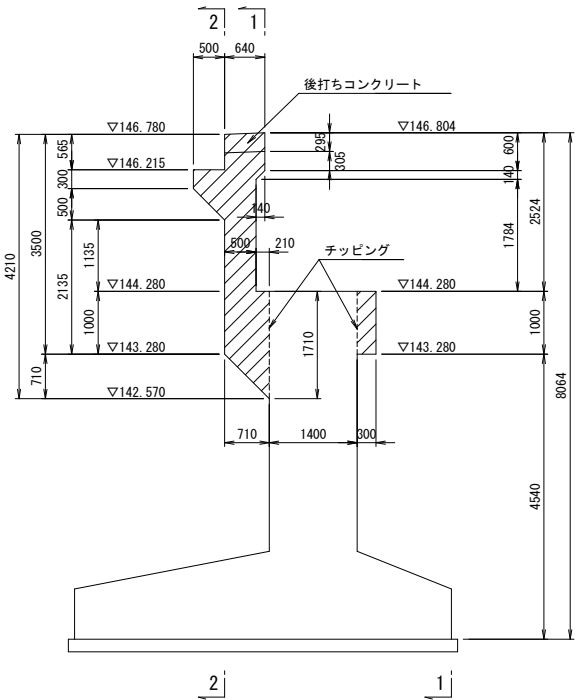
正面図
1 - 1



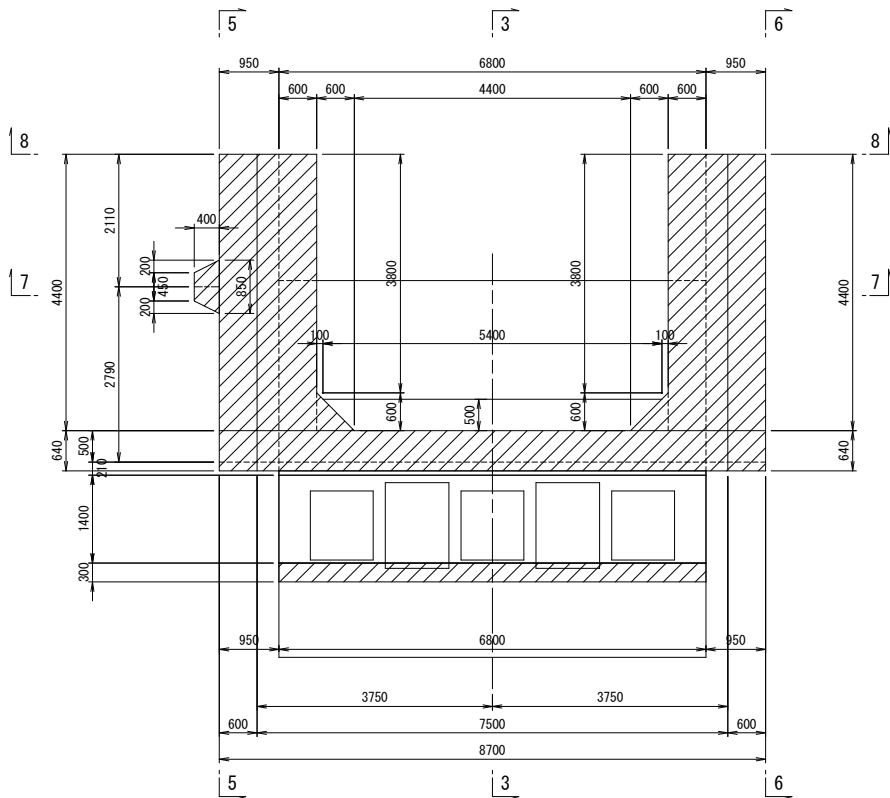
背面図
2 - 2



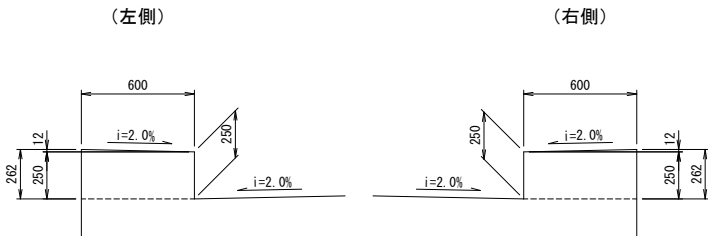
断面図
3 - 3



平面図
4 - 4



地覆天端詳細図
S=1:20



【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 120

A1橋台構造図(1/3)

令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺

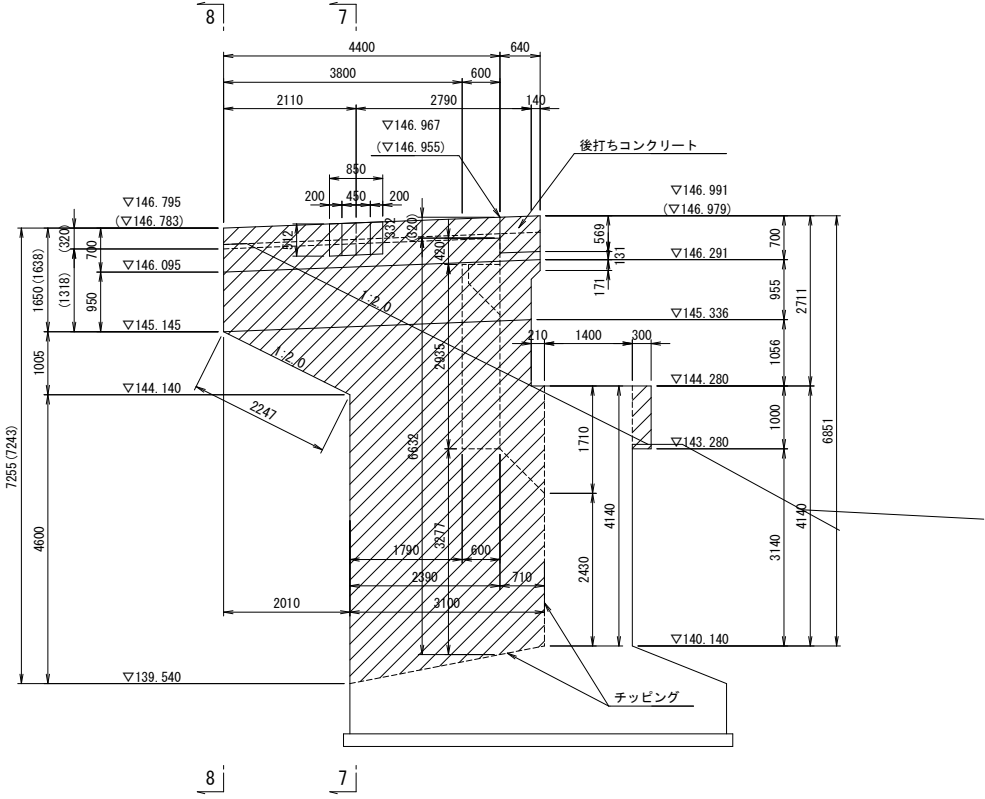
図 示

- 【特記事項】
- ・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
 - ・翼壁施工時に防護柵アンカーを配置しておくこと。
 - ・なお、アンカー取付け位置は「防護柵詳細図」を参照のこと。
 - ・コンクリートを打設する際に、既設コンクリート面に接する箇所はチッピングを行うこと。

A1橋台構造図(2/3)

右側面図
5 - 5

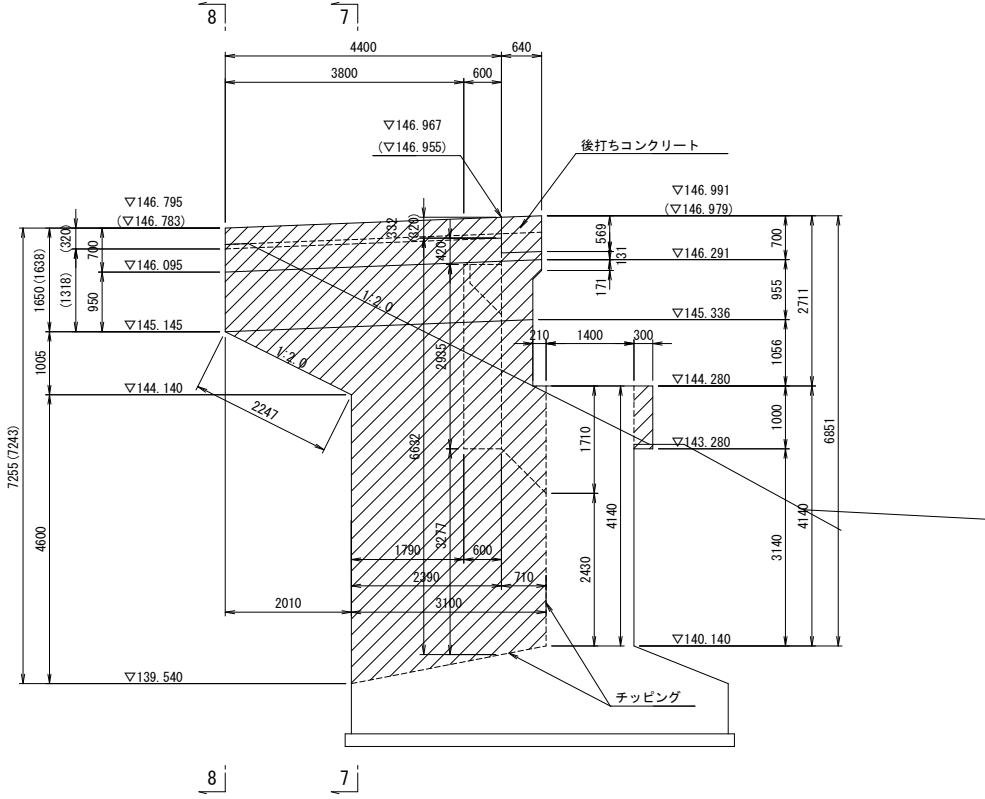
S=1:60



※ () 内の数値は翼壁内側を示す。

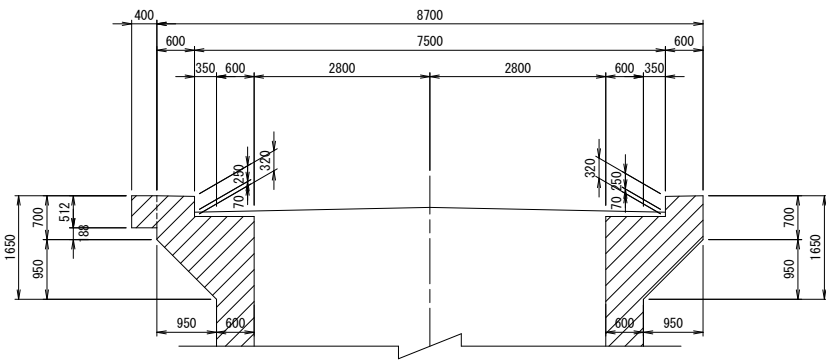
左側面図
6 - 6

S=1:60

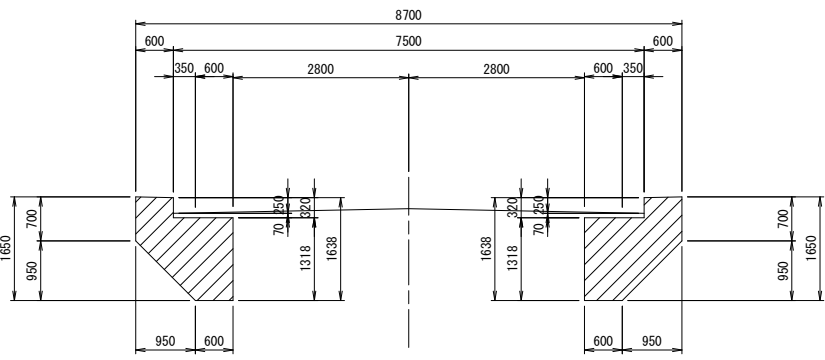


※ () 内の数値は翼壁内側を示す。

7 - 7



8 - 8



【特記事項】
・ 図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・ 翼壁施工時に防護柵アンカーを配置しておくこと。
なお、アンカー取付け位置は「防護柵詳細図」を参照のこと。
・ コンクリートを打設する際に、既設コンクリート面に接する箇所はチップングを行うこと。

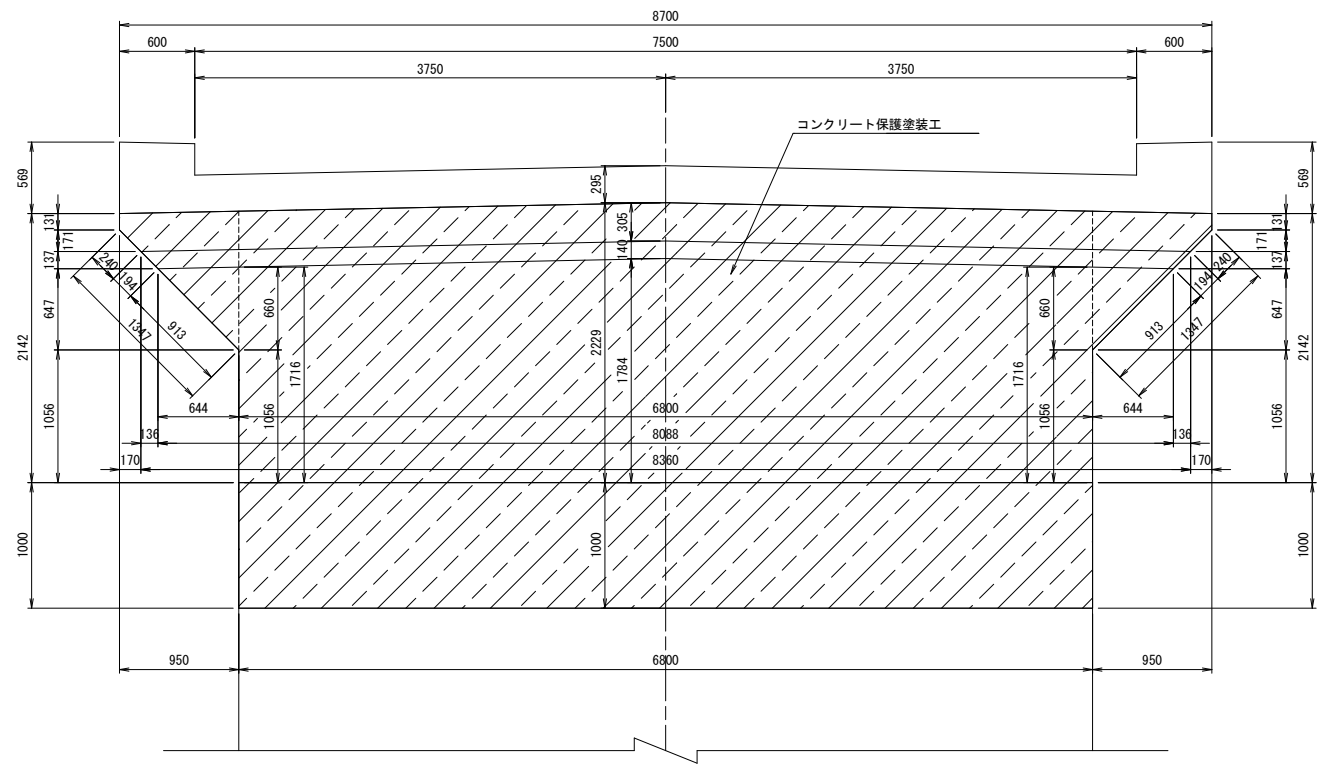
【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 121	A1橋台構造図(2/3)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

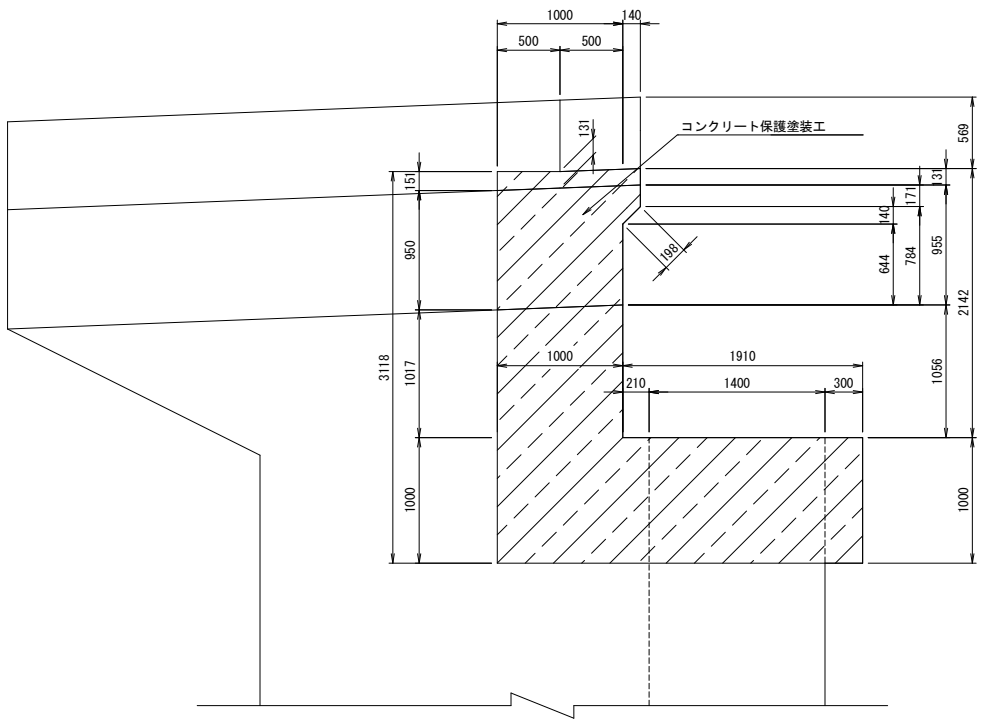
A1橋台構造図(3/3) S=1:30

コンクリート保護塗装工
CC-B

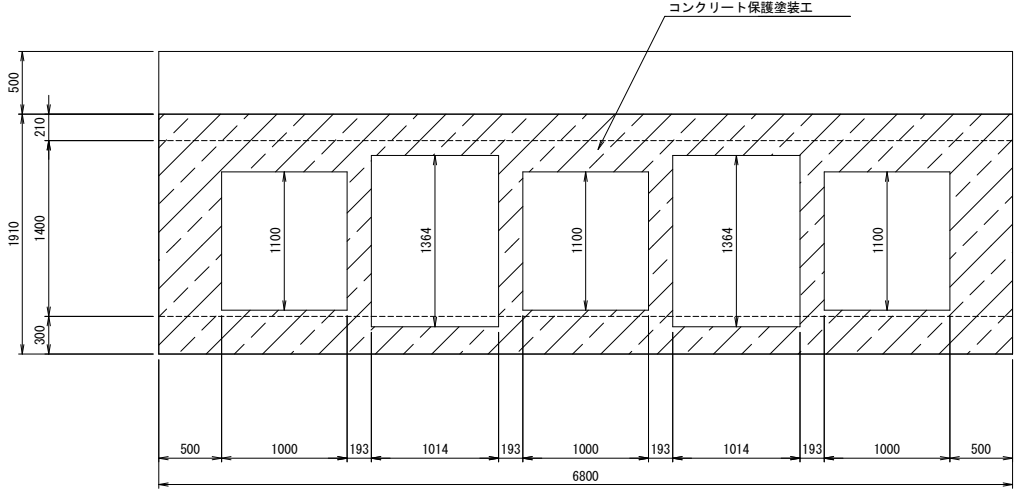
正面図



側面図
(左右共通)



橋座平面図



【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

【特記事項】
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・翼壁施工時に防護柵アンカーを配置しておくこと。
・なお、アンカー取付け位置は「防護柵詳細図」を参照のこと。
・コンクリートを打設する際に、既設コンクリート面に接する箇所はチッピングを行うこと。

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 122	A1橋台構造図(3/3)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台配筋図(1/5) S=1:50

胸壁・受台

正面図

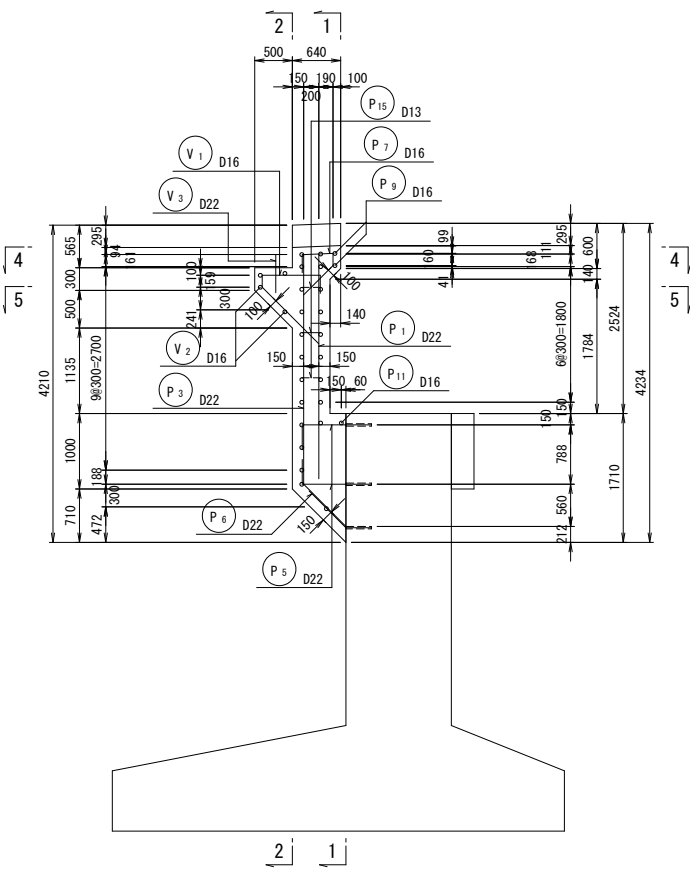
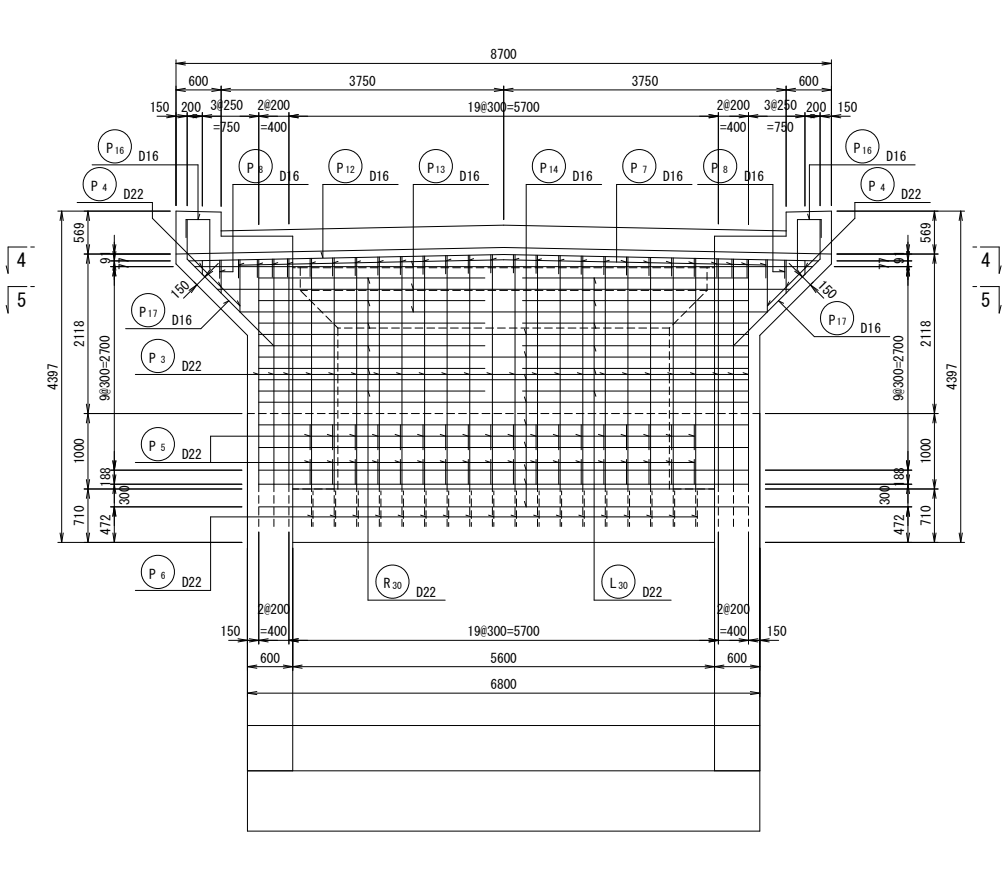
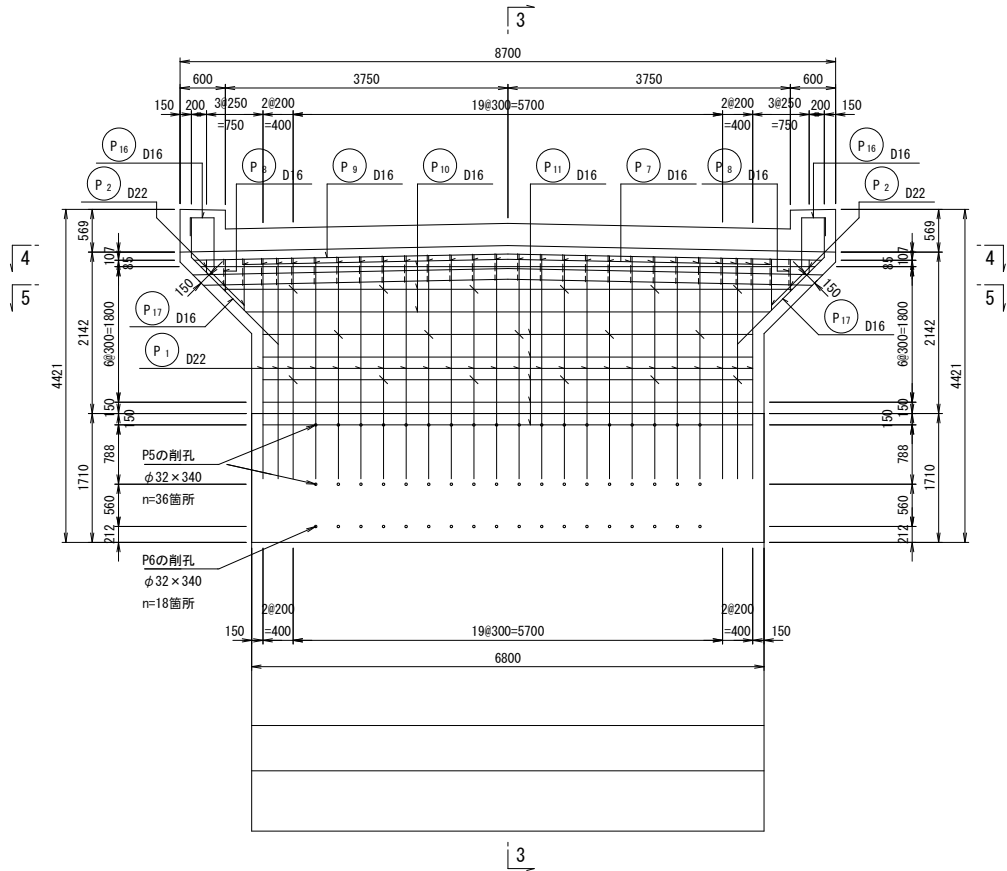
1 - 1

背面図

2 - 2

断面図

3 - 3

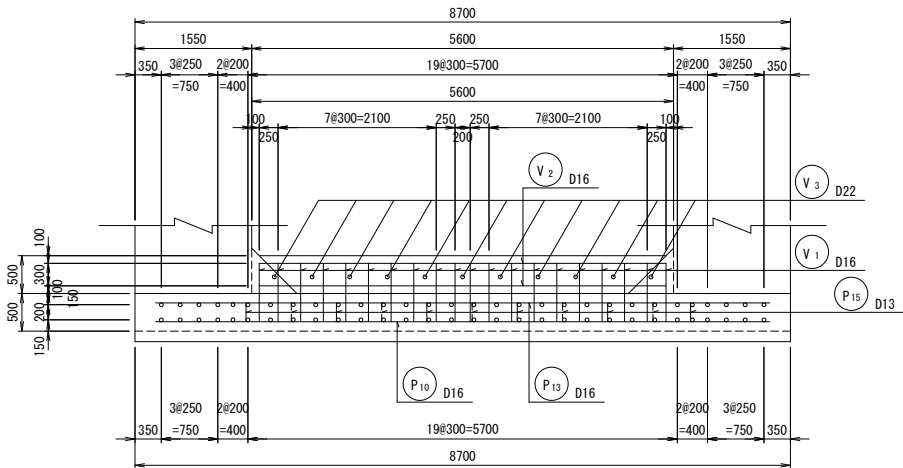
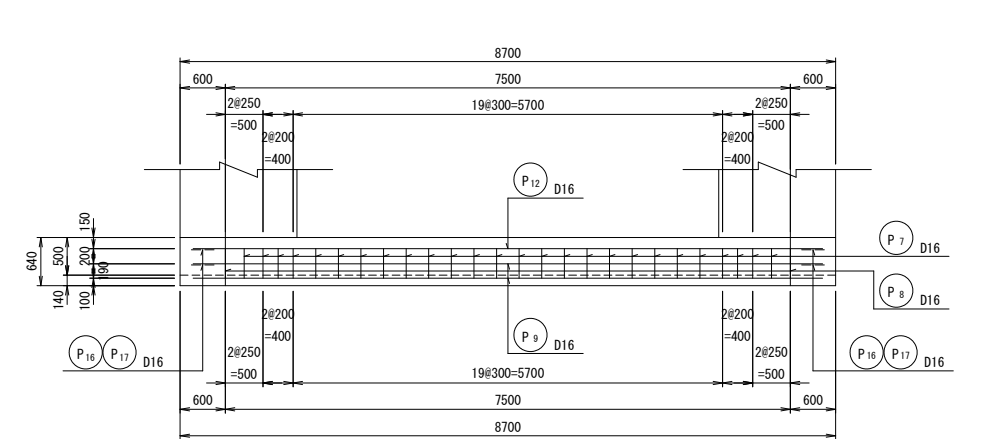


胸壁・受台平面図

5 - 5

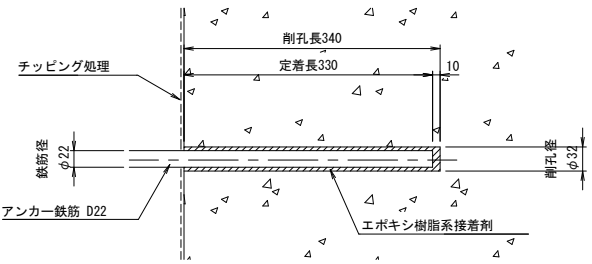
天端平面図

4 - 4



アンカー部詳細図

S=1:5



《注記》
・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探索を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。

岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 123

A1橋台配筋図(1/5)

令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺 図 示

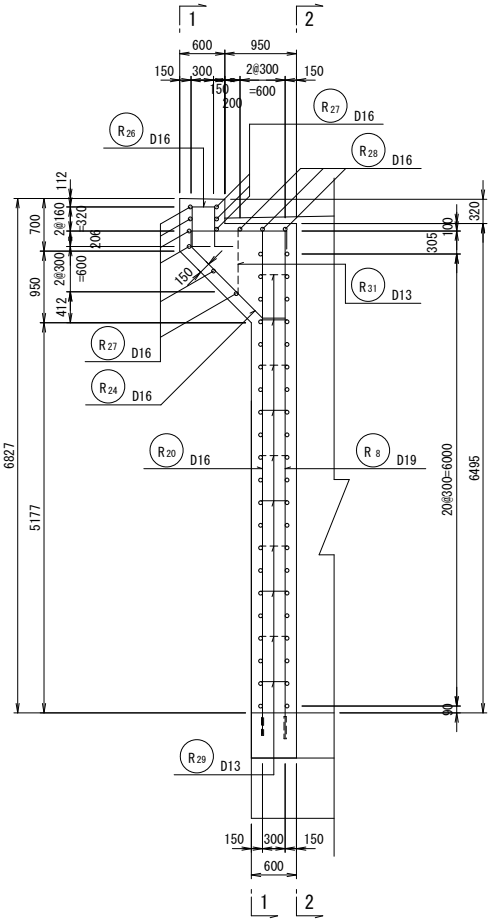
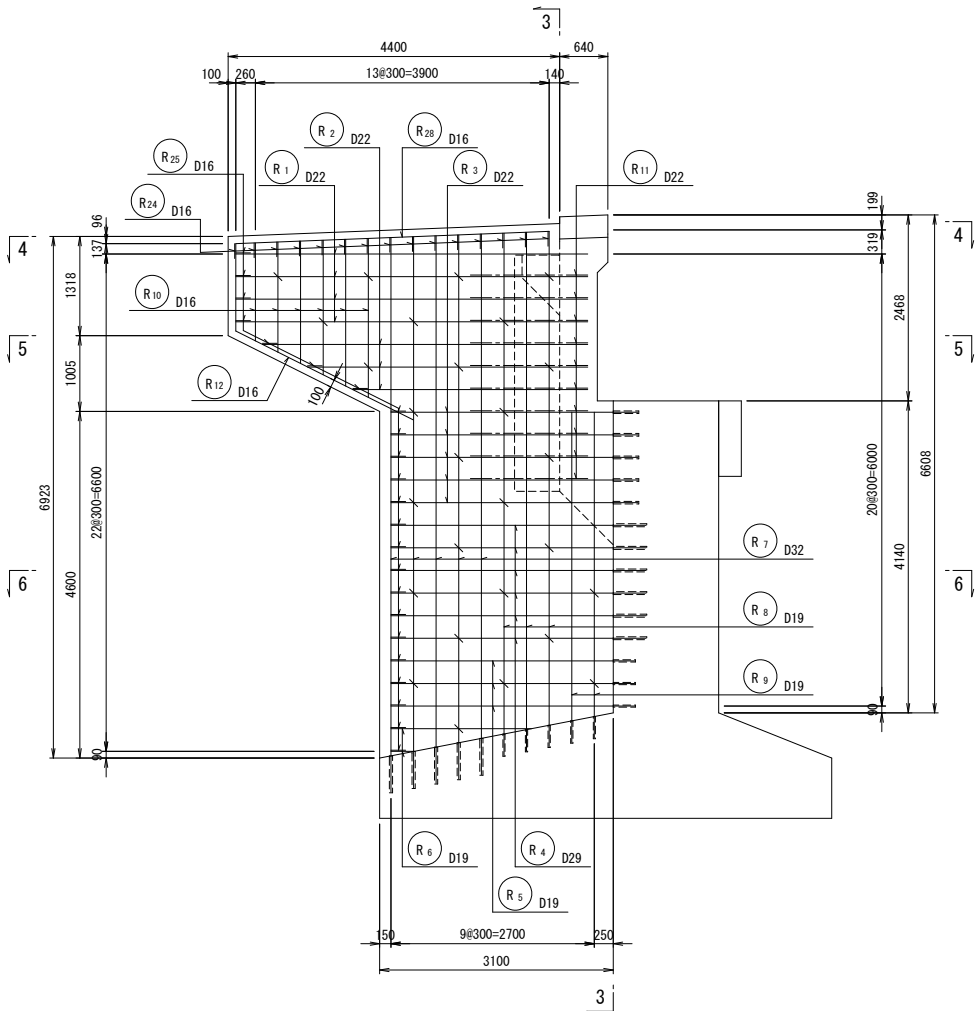
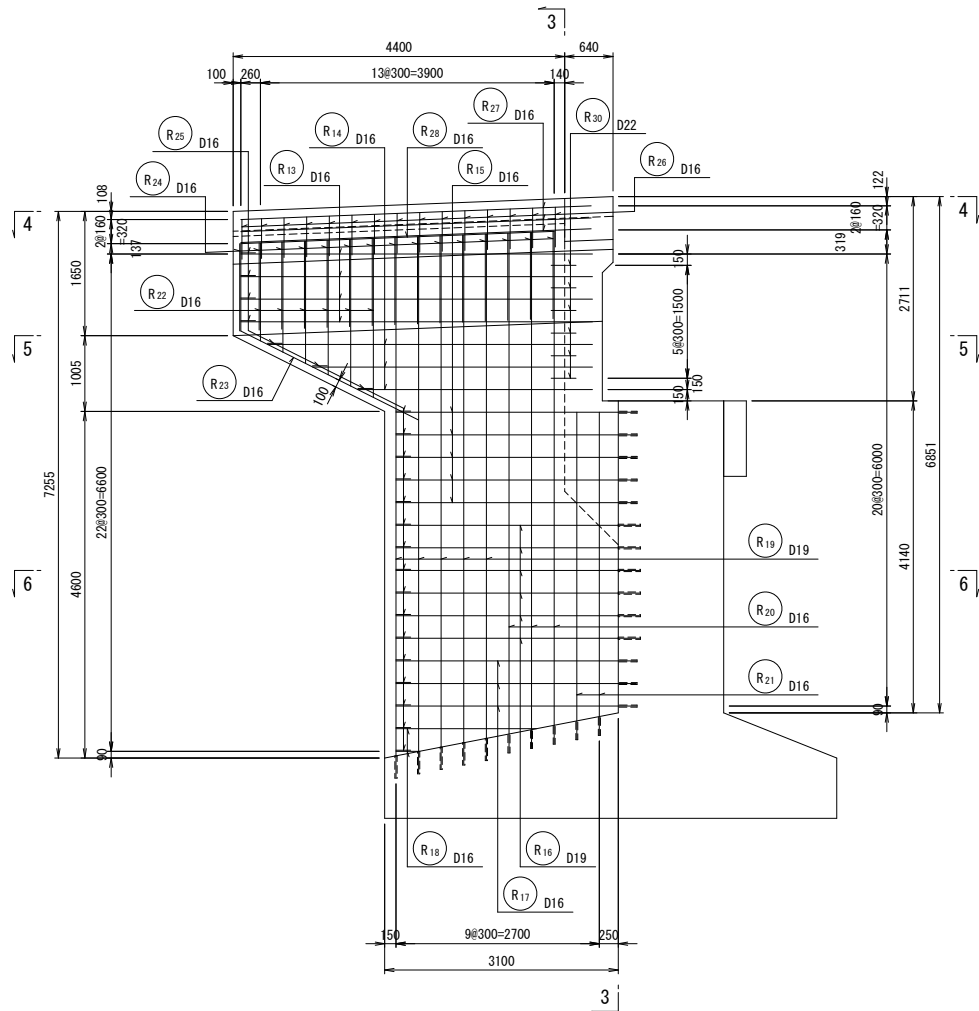
A1橋台配筋図(2/5) S=1:50

右側翼壁

外面図
1 - 1

内面図
2 - 2

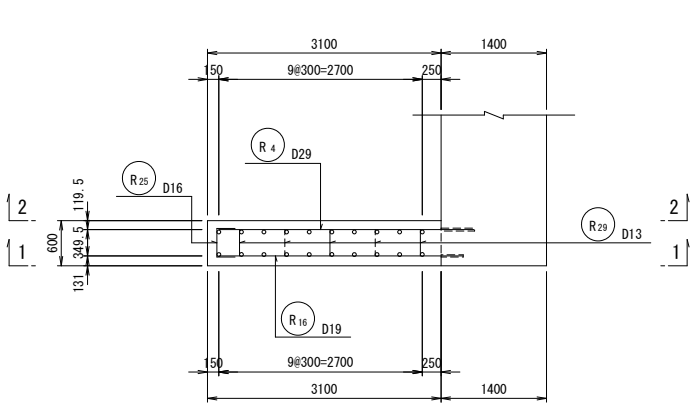
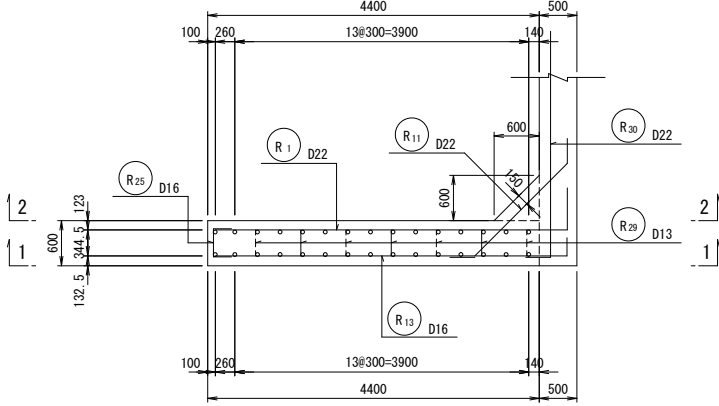
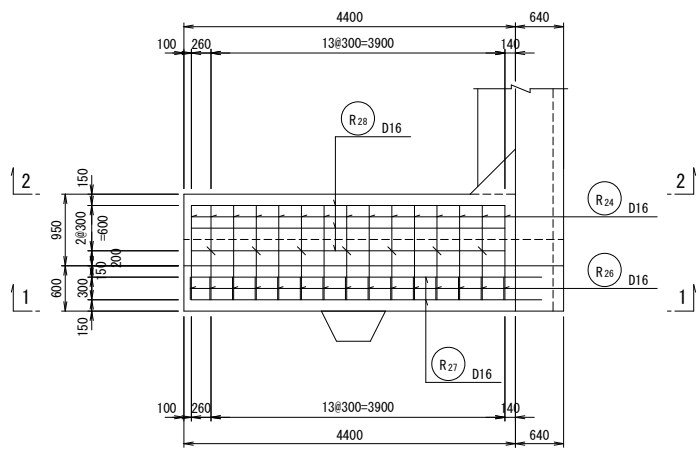
断面図
3 - 3



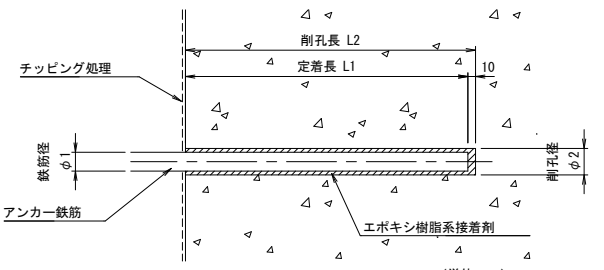
天端平面図
4 - 4

平面図
5 - 5

平面図
6 - 6



アンカー部詳細図 S=1:5



(単位: mm)			
鉄筋径	削孔径	定着長	削孔長
φ1	φ2	L1	L2
D16	26	240	250
D19	29	285	295
D22	32	330	340
D29	39	435	445
D32	42	480	490

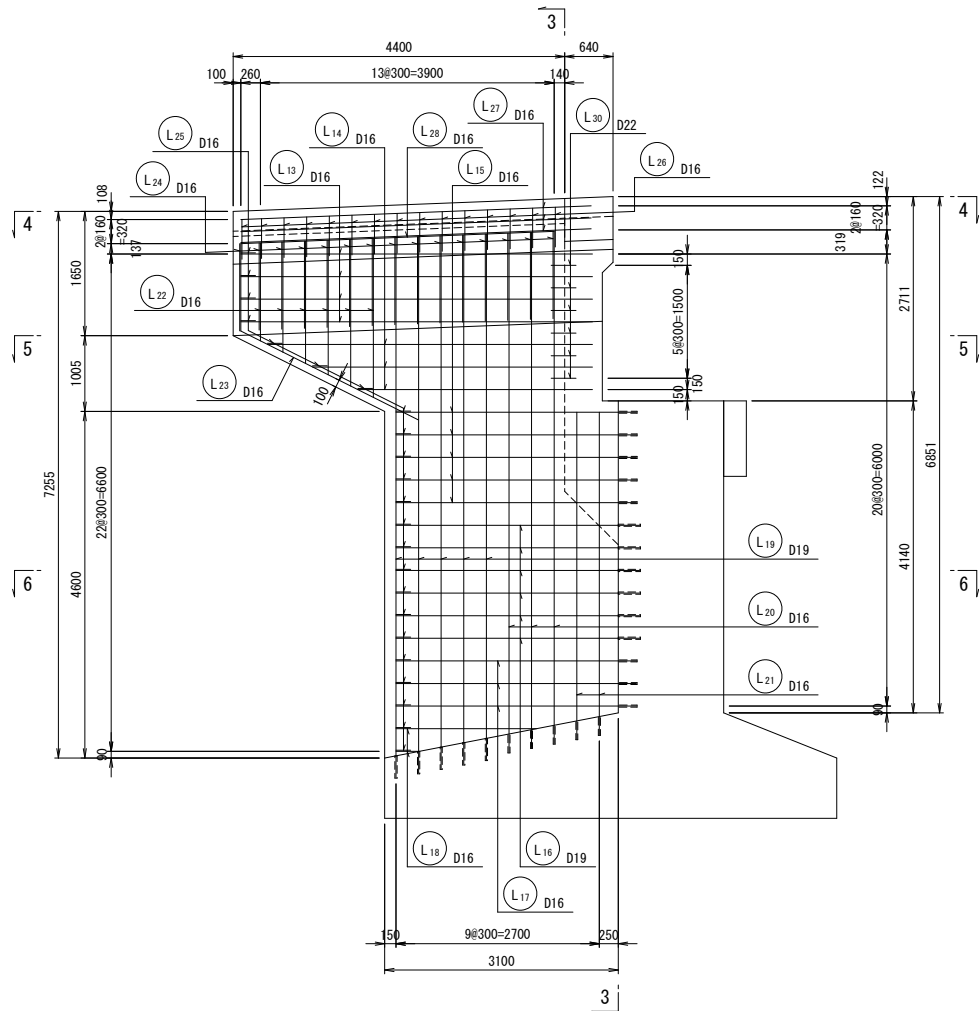
《注記》
・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 124	A1橋台配筋図(2/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

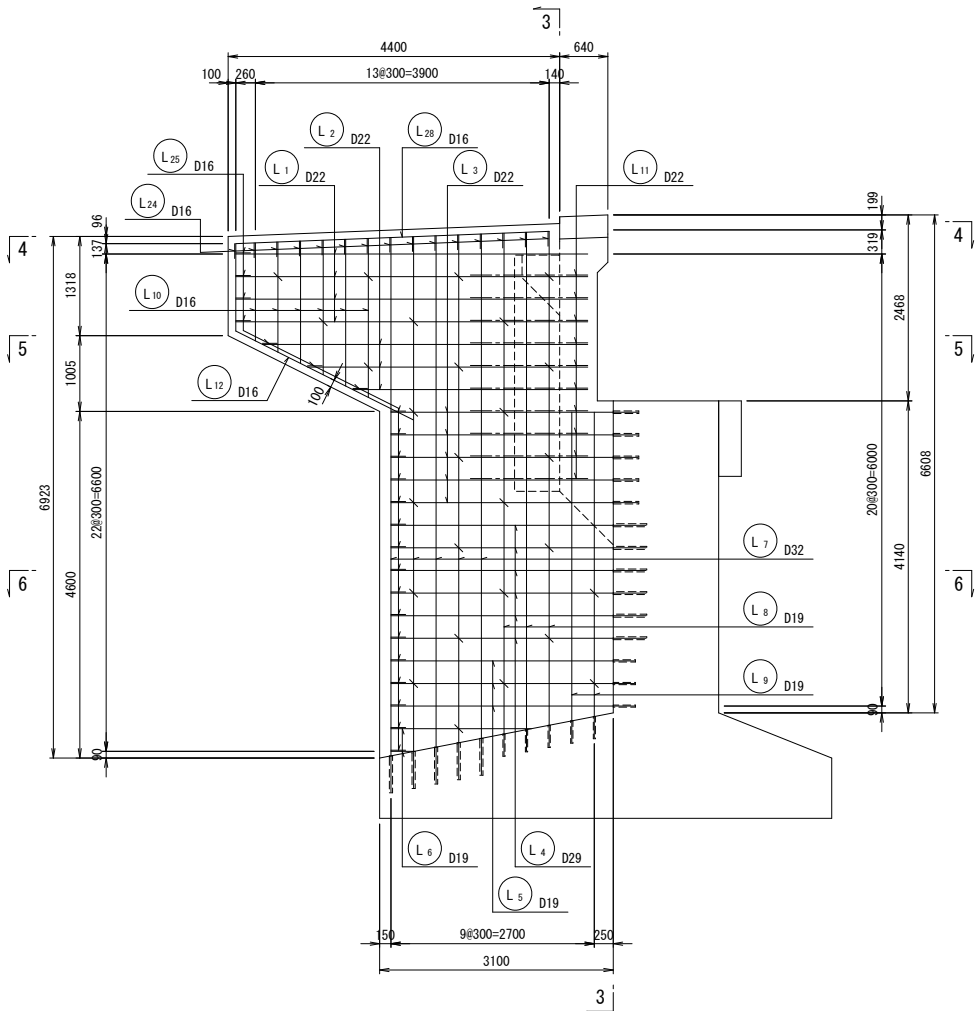
A1橋台配筋図(3/5) S=1:50

左側翼壁

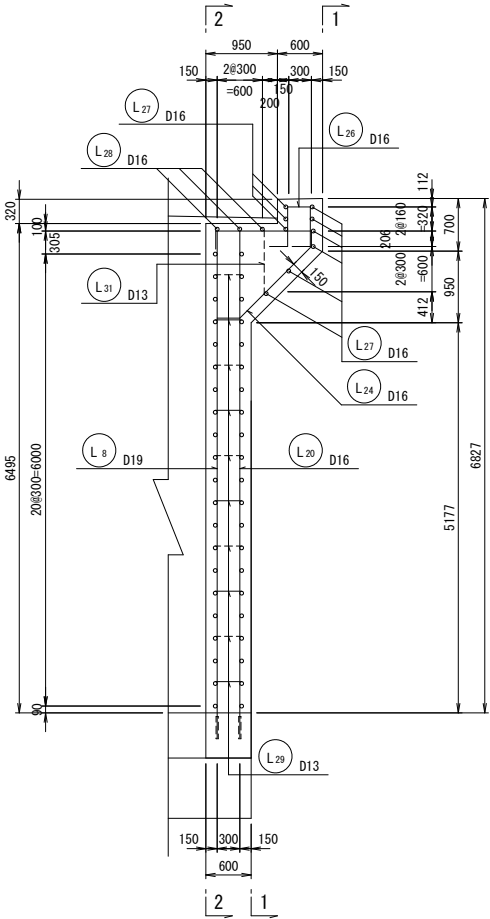
外面図
1 - 1



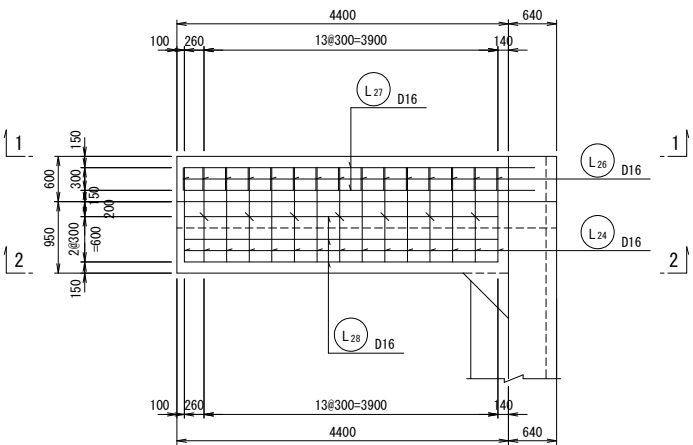
内面図
2 - 2



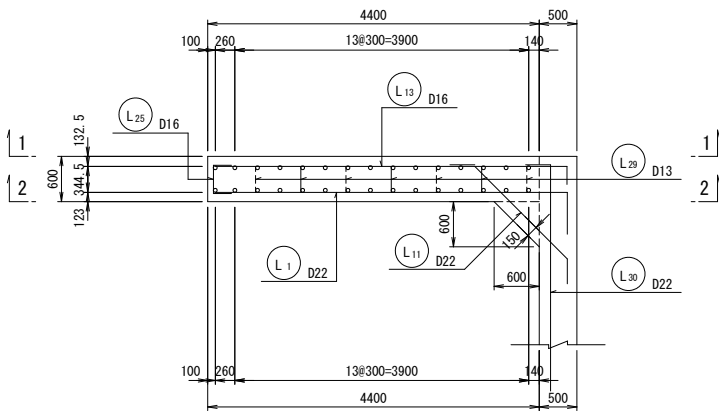
断面図
3 - 3



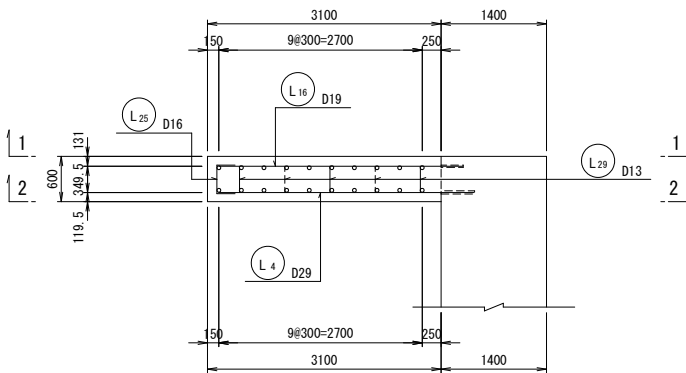
天端平面図
4 - 4



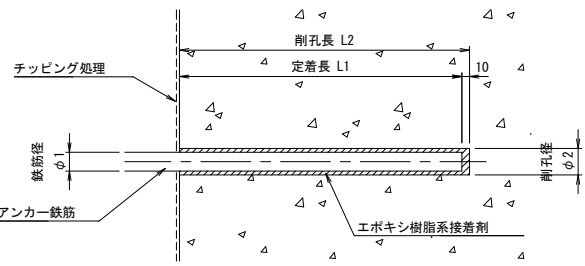
平面図
5 - 5



平面図
6 - 6



アンカー部詳細図 S=1:5

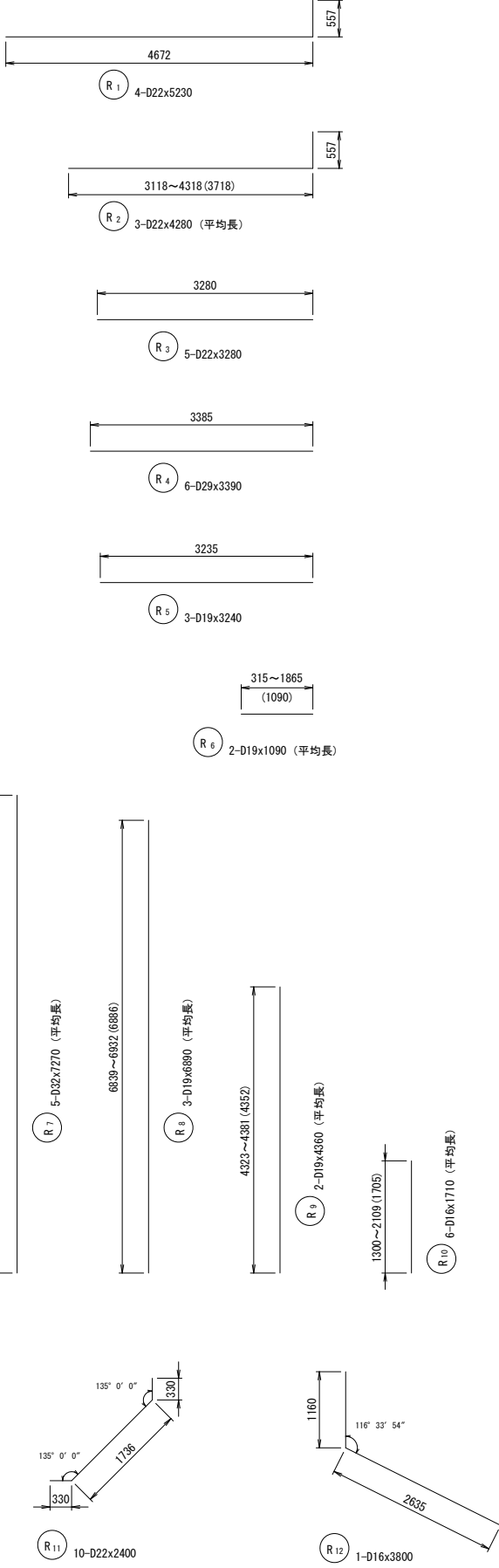
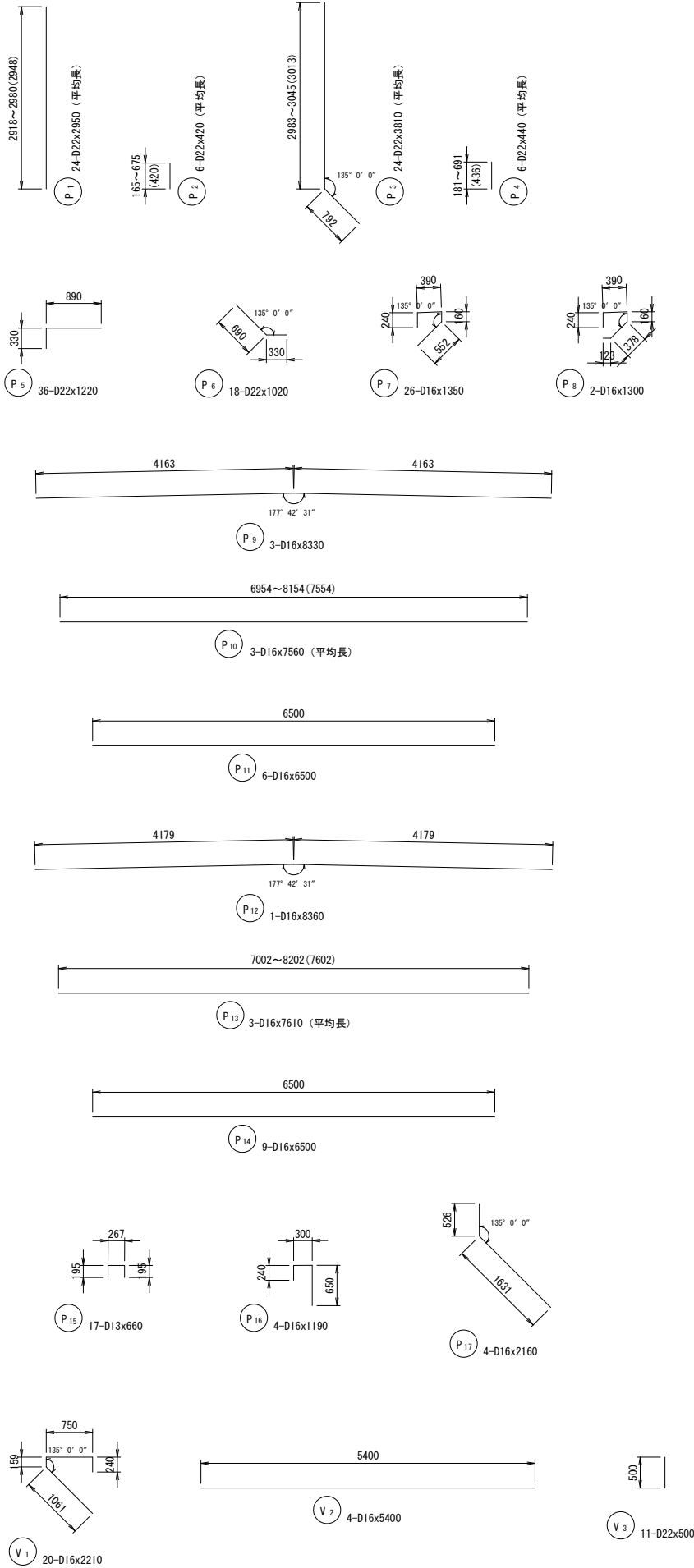


(単位: mm)			
鉄筋径	削孔径	定着長	削孔長
φ1	φ2	L1	L2
D16	26	240	250
D19	29	285	295
D22	32	330	340
D29	39	435	445
D32	42	480	490

《注記》
・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。

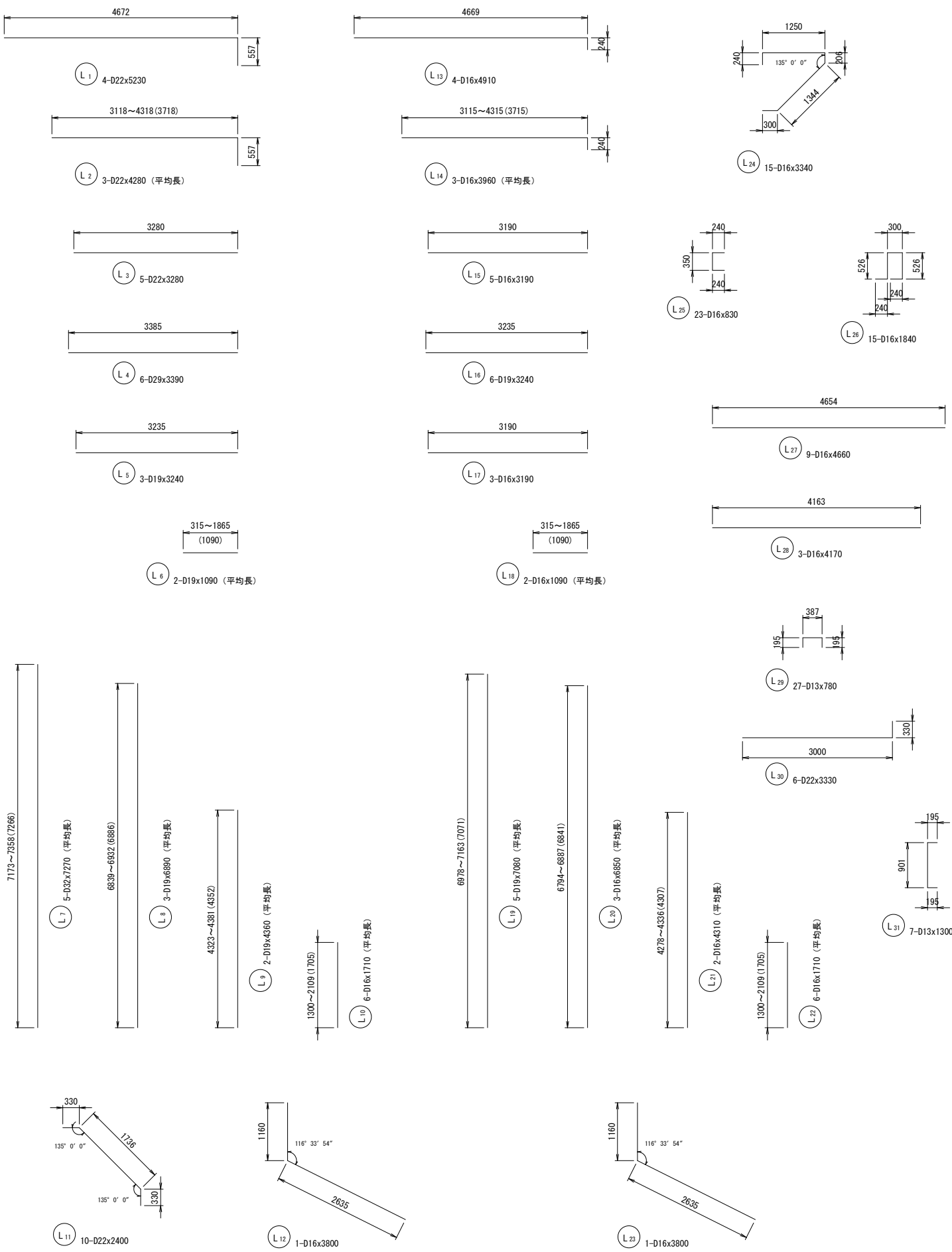
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 125	A1橋台配筋図(3/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台配筋図(4/5) S=1:50



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 126	A1橋台配筋図(4/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台配筋図(5/5) S=1:50



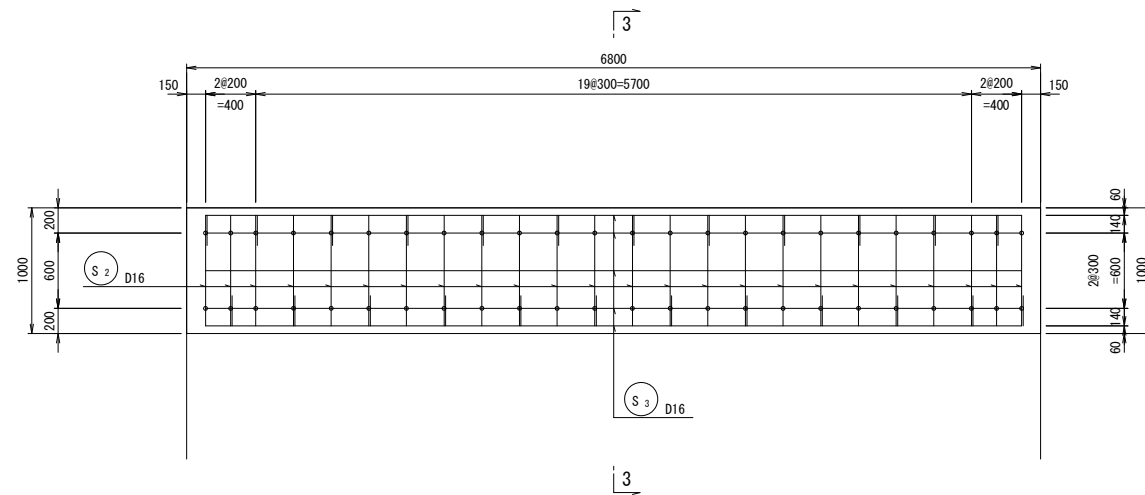
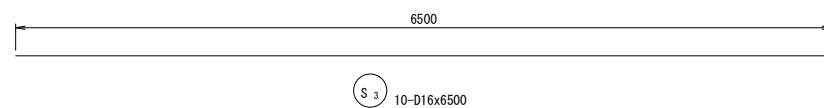
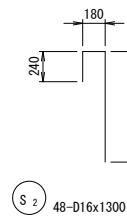
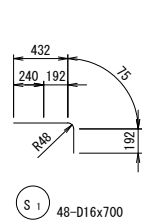
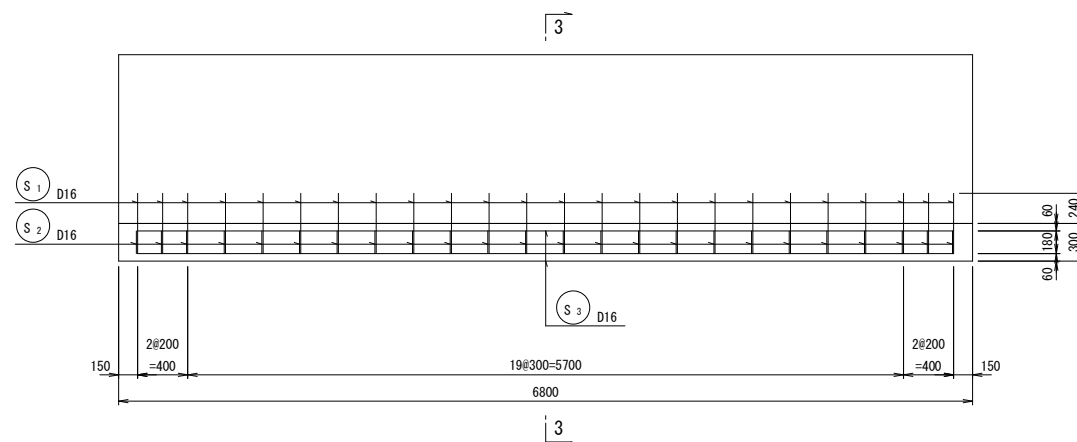
鉄筋表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
P1	D22	2950	24	3.04	8.97	215	(平均長)
P2	D22	420	6	3.04	1.28	8	(平均長)
P3	D22	3810	24	3.04	11.58	278	L (平均長)
P4	D22	440	6	3.04	1.34	8	(平均長)
P5	D22	1220	36	3.04	3.71	134	┐ (平均長)
P6	D22	1020	18	3.04	3.10	56	┐ (平均長)
P7	D16	1350	26	1.56	2.11	55	┐ (平均長)
P8	D16	1300	2	1.56	2.03	4	┐ (平均長)
P9	D16	8330	3	1.56	12.99	39	┐ (平均長)
P10	D16	7560	3	1.56	11.79	35	┐ (平均長)
P11	D16	6500	6	1.56	10.14	61	┐ (平均長)
P12	D16	8360	1	1.56	13.04	13	┐ (平均長)
P13	D16	7610	3	1.56	11.87	36	┐ (平均長)
P14	D16	6500	9	1.56	10.14	91	┐ (平均長)
P15	D13	660	17	0.995	0.66	11	┐ (平均長)
P16	D16	1190	4	1.56	1.86	7	┐ (平均長)
P17	D16	2160	4	1.56	3.37	13	┐ (平均長)
V1	D16	2210	20	1.56	3.45	69	┐ (平均長)
V2	D16	5400	4	1.56	8.42	34	┐ (平均長)
V3	D22	500	11	3.04	1.52	17	(平均長)
R1	D22	5230	4	3.04	15.90	64	┐ (平均長)
R2	D22	4280	3	3.04	13.01	39	┐ (平均長)
R3	D22	3280	5	3.04	9.97	50	┐ (平均長)
R4	D29	3390	6	5.04	17.09	103	┐ (平均長)
R5	D19	3240	3	2.25	7.29	22	┐ (平均長)
R6	D19	1090	2	2.25	2.45	5	┐ (平均長)
R7	D32	7270	5	6.23	45.29	226	(平均長)
R8	D19	6890	3	2.25	15.50	47	(平均長)
R9	D19	4360	2	2.25	9.81	20	(平均長)
R10	D16	1710	6	1.56	2.67	16	(平均長)
R11	D22	2400	10	3.04	7.30	73	┐ (平均長)
R12	D16	3800	1	1.56	5.93	6	┐ (平均長)
R13	D16	4910	4	1.56	7.66	31	┐ (平均長)
R14	D16	3960	3	1.56	6.18	19	┐ (平均長)
R15	D16	3190	5	1.56	4.98	25	┐ (平均長)
R16	D19	3240	6	2.25	7.29	44	┐ (平均長)
R17	D16	3190	3	1.56	4.98	15	┐ (平均長)
R18	D16	1090	2	1.56	1.70	3	┐ (平均長)
R19	D19	7080	5	2.25	15.93	80	(平均長)
R20	D16	6850	3	1.56	10.69	32	(平均長)
R21	D16	4310	2	1.56	6.72	13	(平均長)
R22	D16	1710	6	1.56	2.67	16	(平均長)
R23	D16	3800	1	1.56	5.93	6	┐ (平均長)
R24	D16	3340	15	1.56	5.21	78	┐ (平均長)
R25	D16	830	23	1.56	1.29	30	┐ (平均長)
R26	D16	1840	15	1.56	2.87	43	┐ (平均長)
R27	D16	4660	9	1.56	7.27	65	┐ (平均長)
R28	D16	4170	3	1.56	6.51	20	┐ (平均長)
R29	D13	780	27	0.995	0.78	21	┐ (平均長)
R30	D22	3330	6	3.04	10.12	61	┐ (平均長)
R31	D13	1300	7	0.995	1.29	9	┐ (平均長)

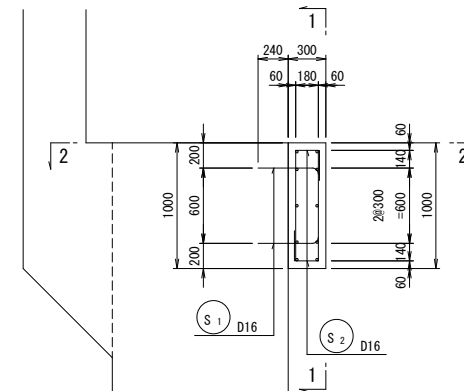
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
L1	D22	5230	4	3.04	15.90	64	┐ (平均長)
L2	D22	4280	3	3.04	13.01	39	┐ (平均長)
L3	D22	3280	5	3.04	9.97	50	┐ (平均長)
L4	D29	3390	6	5.04	17.09	103	┐ (平均長)
L5	D19	3240	3	2.25	7.29	22	┐ (平均長)
L6	D19	1090	2	2.25	2.45	5	┐ (平均長)
L7	D32	7270	5	6.23	45.29	226	(平均長)
L8	D19	6890	3	2.25	15.50	47	(平均長)
L9	D19	4360	2	2.25	9.81	20	(平均長)
L10	D16	1710	6	1.56	2.67	16	(平均長)
L11	D22	2400	10	3.04	7.30	73	┐ (平均長)
L12	D16	3800	1	1.56	5.93	6	┐ (平均長)
L13	D16	4910	4	1.56	7.66	31	┐ (平均長)
L14	D16	3960	3	1.56	6.18	19	┐ (平均長)
L15	D16	3190	5	1.56	4.98	25	┐ (平均長)
L16	D19	3240	6	2.25	7.29	44	┐ (平均長)
L17	D16	3190	3	1.56	4.98	15	┐ (平均長)
L18	D16	1090	2	1.56	1.70	3	┐ (平均長)
L19	D19	7080	5	2.25	15.93	80	(平均長)
L20	D16	6850	3	1.56	10.69	32	(平均長)
L21	D16	4310	2	1.56	6.72	13	(平均長)
L22	D16	1710	6	1.56	2.67	16	(平均長)
L23	D16	3800	1	1.56	5.93	6	┐ (平均長)
L24	D16	3340	15	1.56	5.21	78	┐ (平均長)
L25	D16	830	23	1.56	1.29	30	┐ (平均長)
L26	D16	1840	15	1.56	2.87	43	┐ (平均長)
L27	D16	4660	9	1.56	7.27	65	┐ (平均長)
L28	D16	4170	3	1.56	6.51	20	┐ (平均長)
L29	D13	780	27	0.995	0.78	21	┐ (平均長)
L30	D22	3330	6	3.04	10.12	61	┐ (平均長)
L31	D13	1300	7	0.995	1.29	9	┐ (平均長)
				D32	452 kg	(SD345)	
				D29	206 kg	(SD345)	
				D22	1290 kg	(SD345)	
				D19	436 kg	(SD345)	
				D16	1293 kg	(SD345)	
				D13	71 kg	(SD345)	
				合計	3748 kg	(SD345)	

岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 127	A1橋台配筋図(5/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

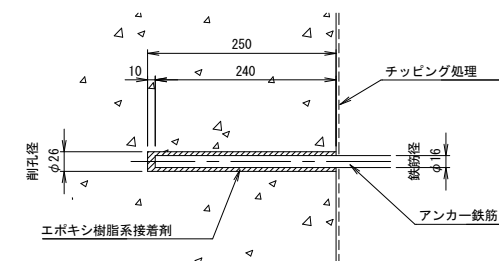
S=1:30

 $\sqrt{3}$  $\sqrt{3}$ 

3 - 3



S=1:5



記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D16	700	48	1. 56	1. 09	52	┐
S2	D16	1300	48	1. 56	2. 03	97	┐
S3	D16	6500	10	1. 56	10. 14	101	—
D16							250 kg (SD345)
合 計						250 kg	(SD345)

【使用材料】

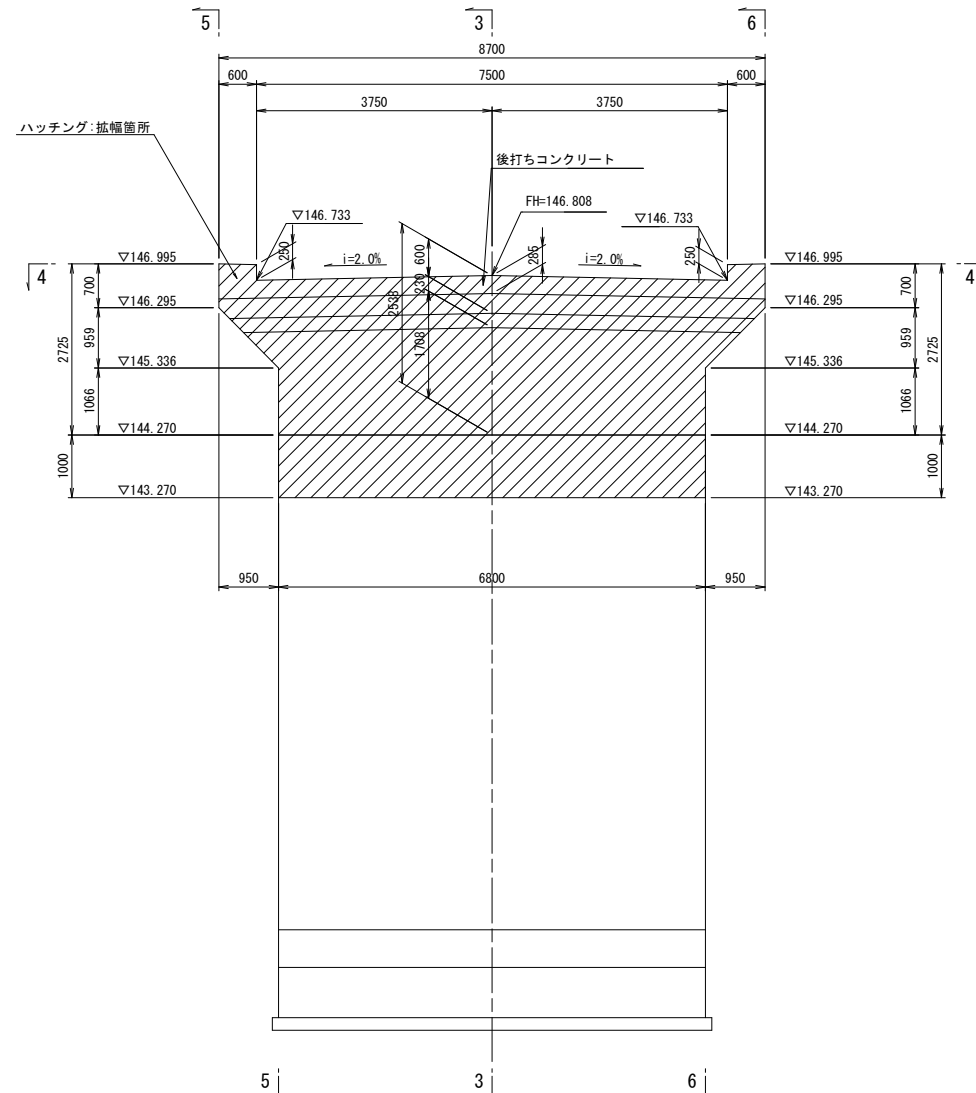
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-25)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 128	A1橋台脊座拡幅 配筋図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

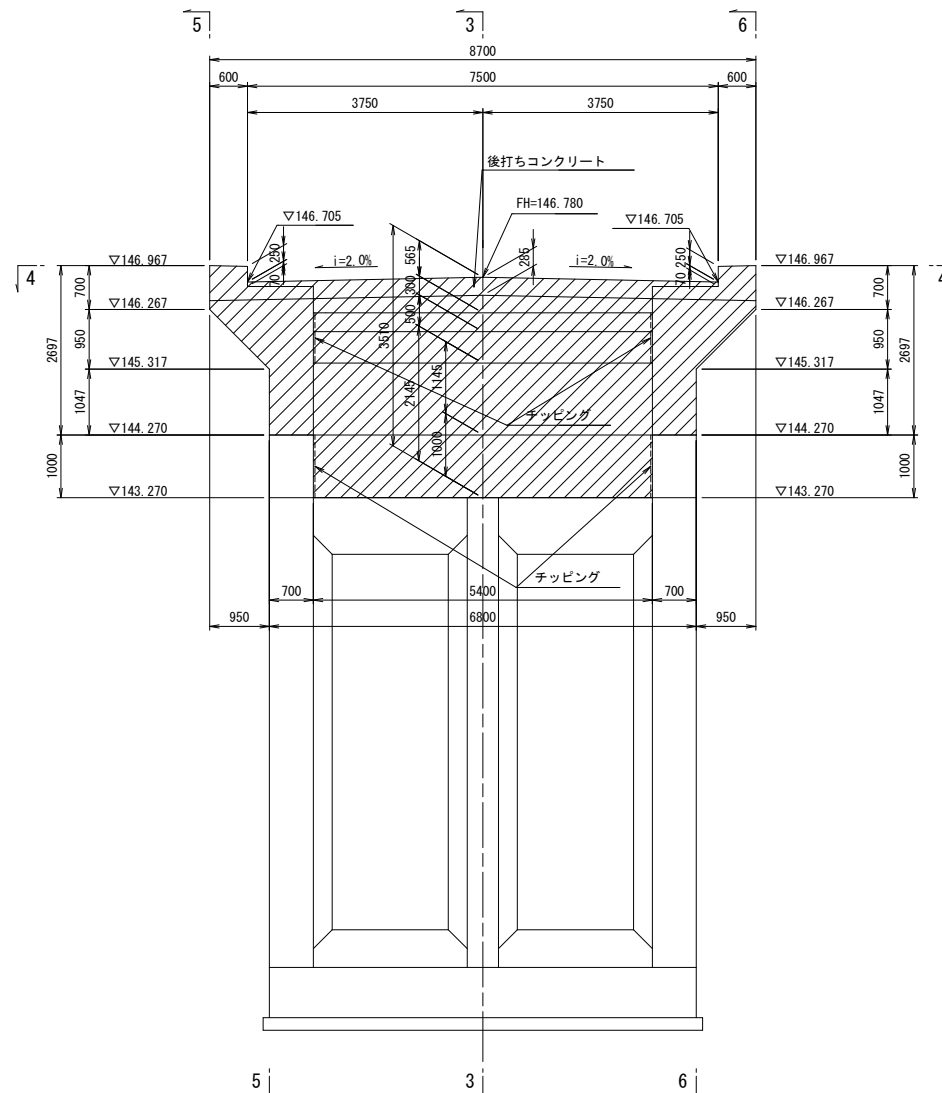
【特記事項】
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

A2橋台構造図(1/3)

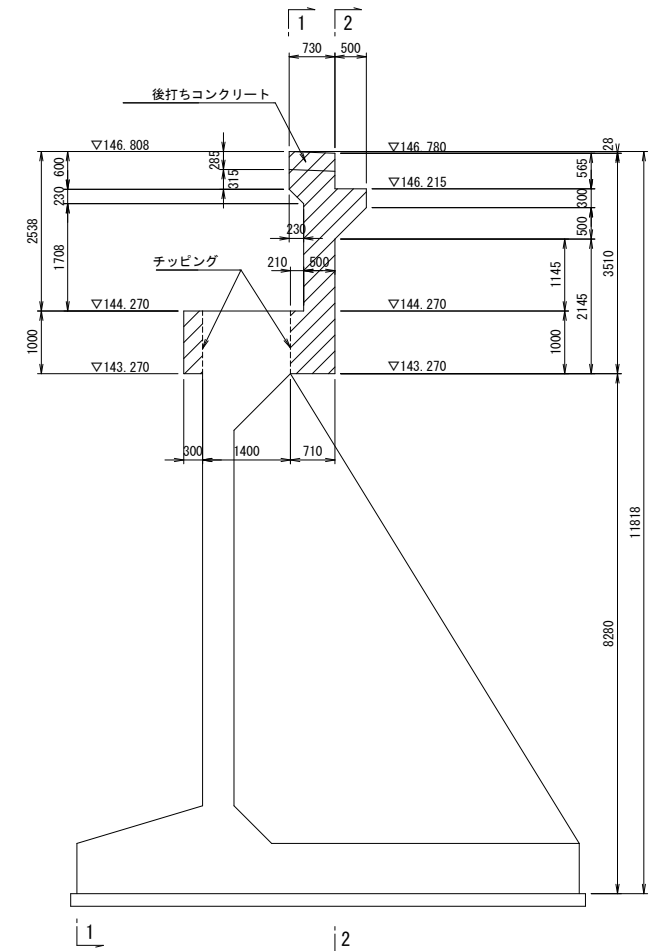
正 面 图 S=1:60
1 - 1



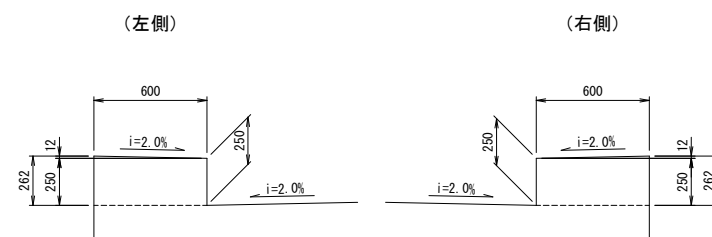
背面図 S=1:60
2-2



断面図 S=1:60
3-3



地覆天端詳細図 S=1:20



【使用材料】

躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部

主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 129	A2橋台構造図(1/3)

令和 7 年度

主要地方道盛岡環狀線滝太橋橋梁補修工事

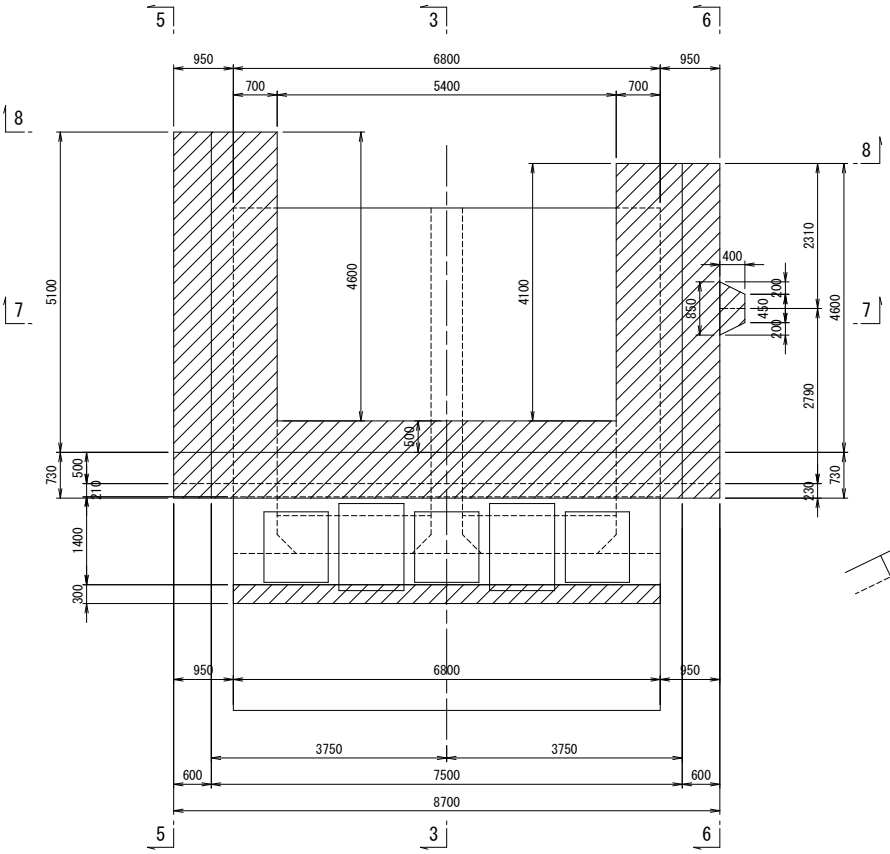
縮	尺	図	示
---	---	---	---

【特記事項】

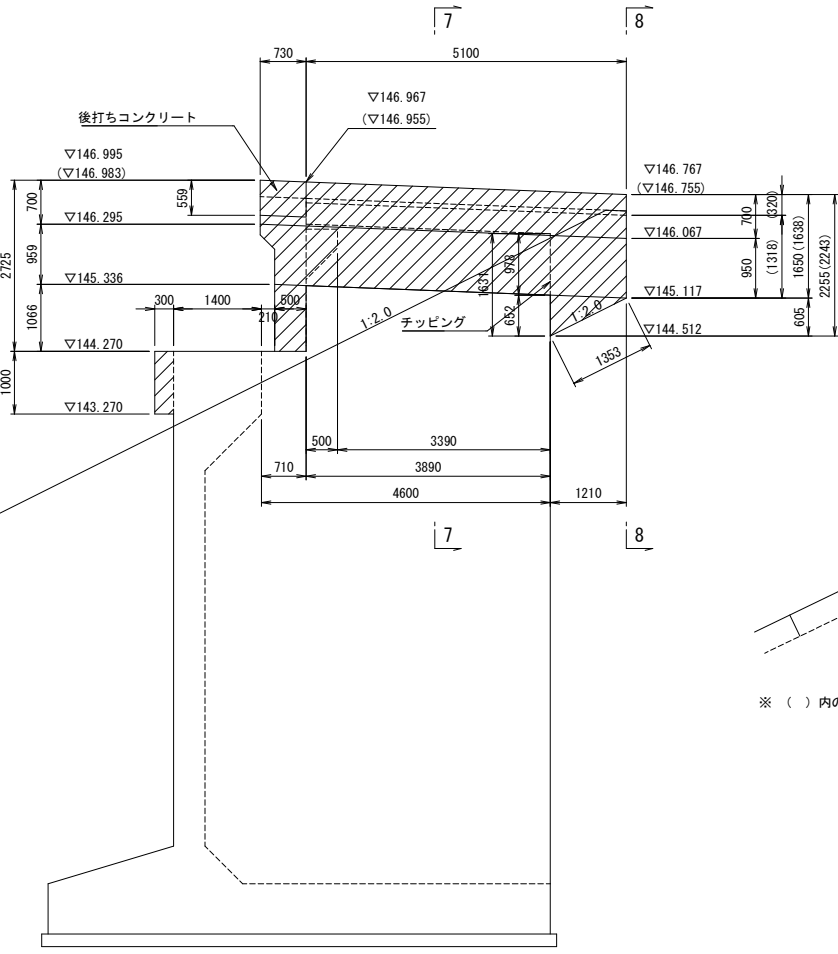
- ・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
 - ・翼壁施工時に防護欄アンカーを配置しておくこと。
- なお、アンカー取付け位置は「防護欄詳細図」を参照のこと。

A2橋台構造図(2/3)

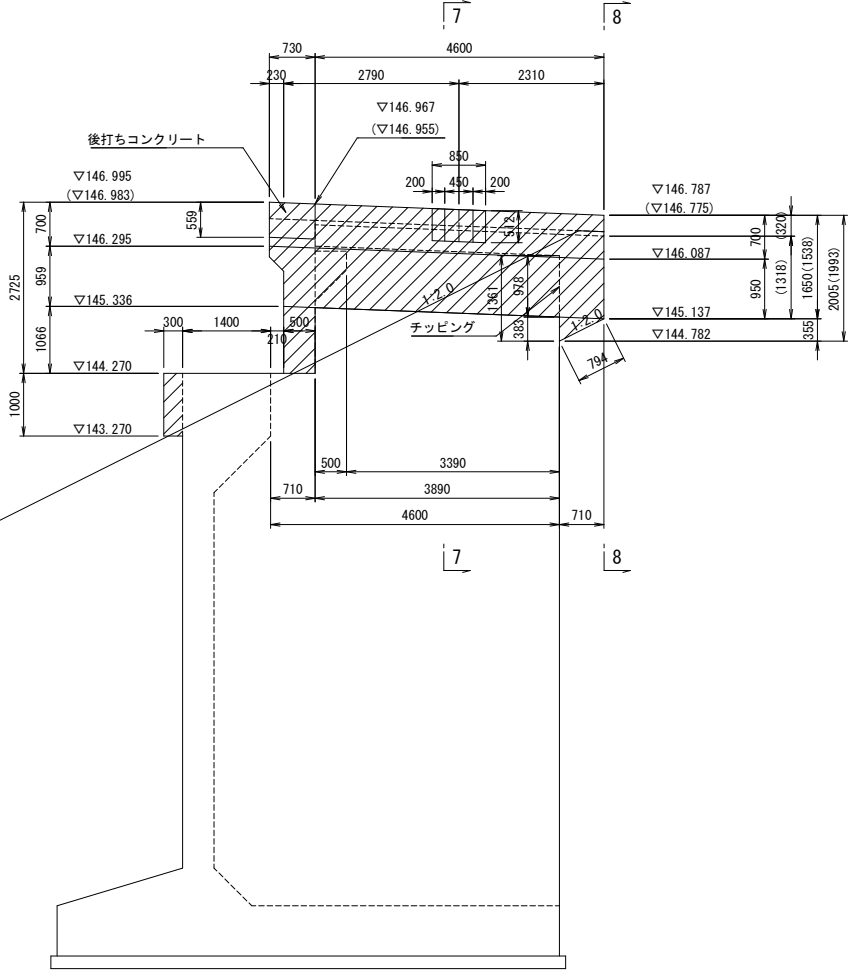
平面図
4 - 4
S=1:60



左側面図
5 - 5
S=1:60

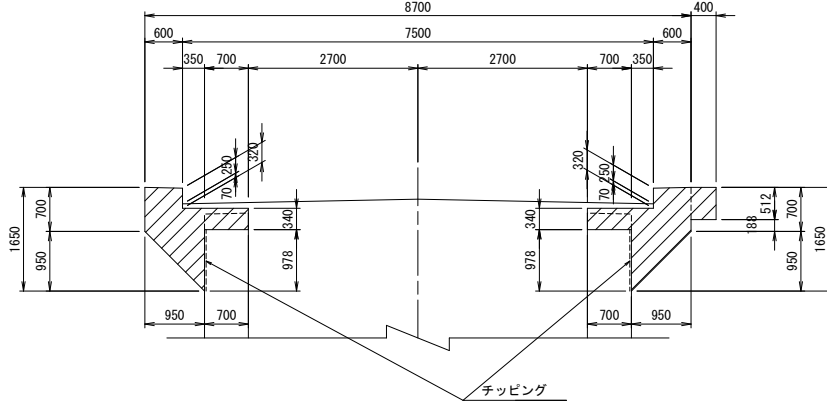


右側面図
6 - 6
S=1:60

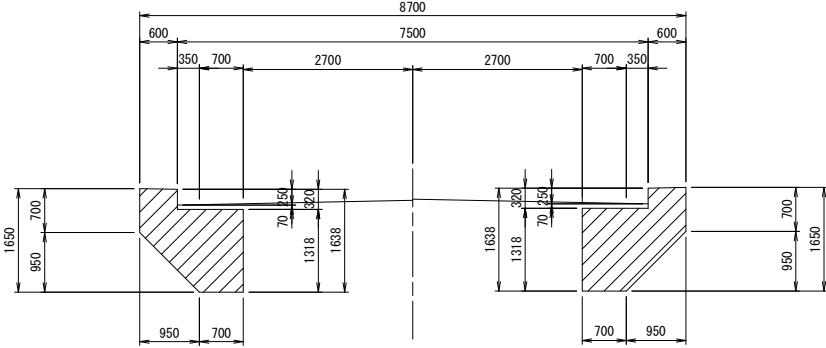


※ () 内の数値は翼壁内側を示す。

7 - 7



8 - 8



【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

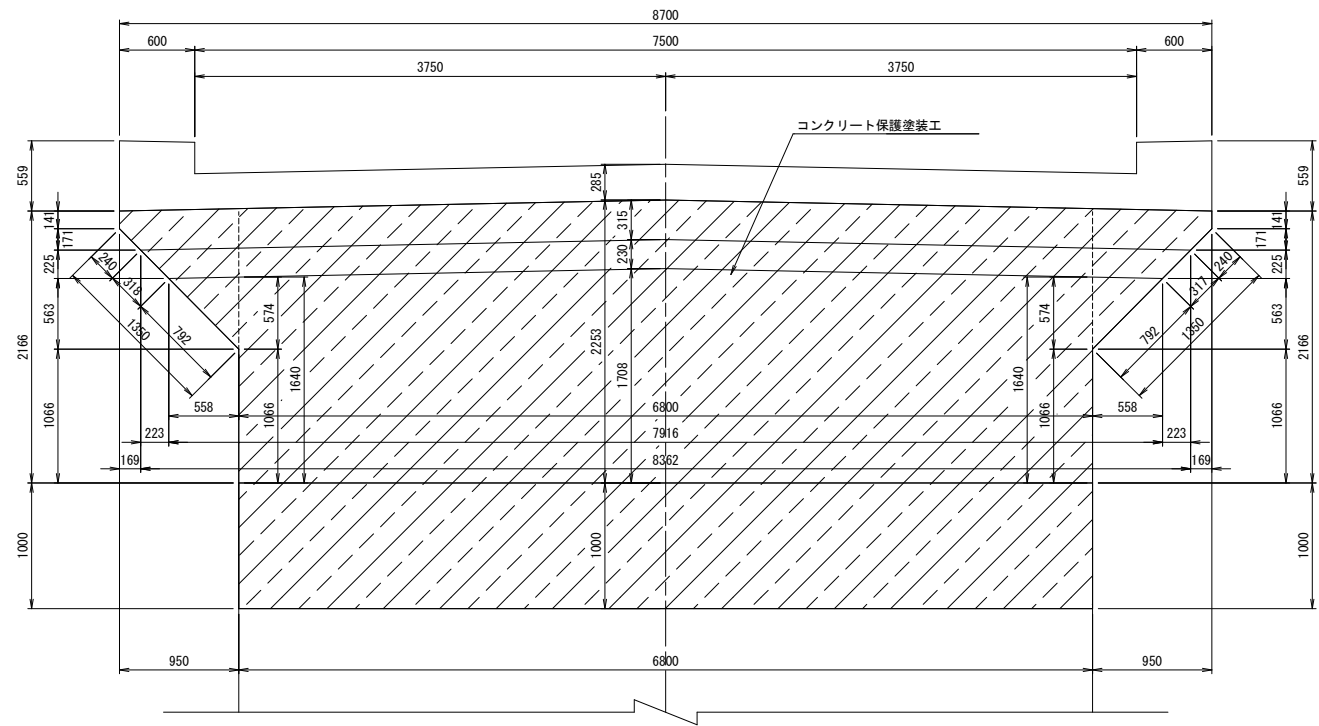
- 【特記事項】
- ・ 図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
 - ・ 翼壁施工時に防護柵アンカーを配置しておくこと。
 - ・ なお、アンカー取付け位置は「防護柵詳細図」を参照のこと。
 - ・ コンクリートを打設する際に、既設コンクリート面に接する箇所はチップングを行うこと。

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 130	A2橋台構造図(2/3)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

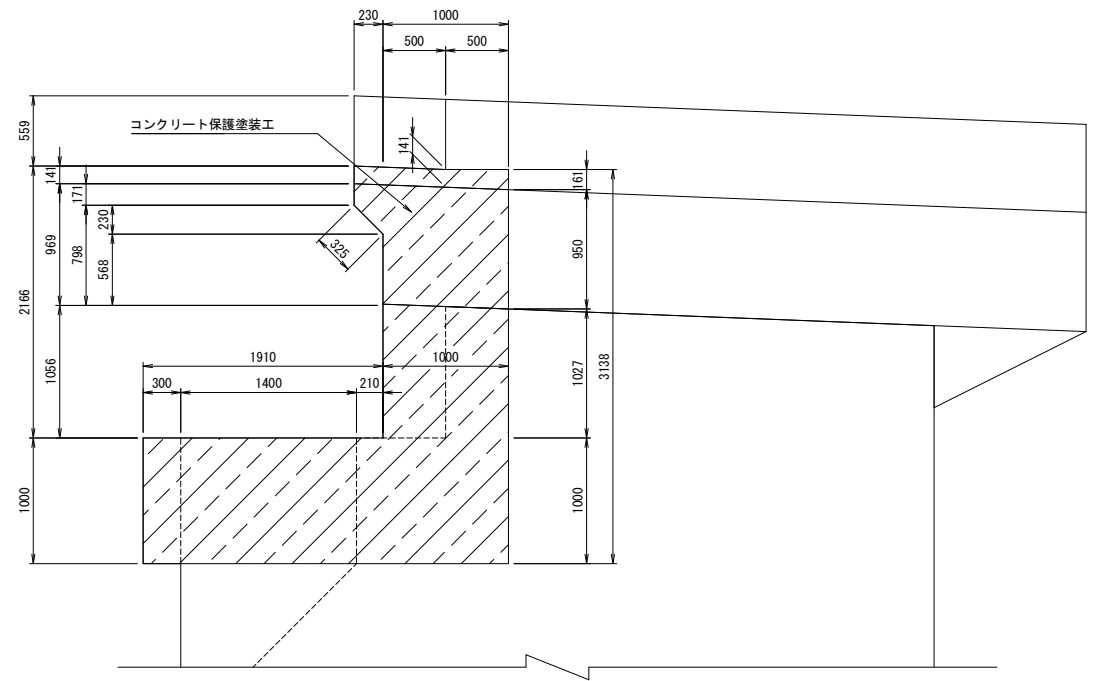
A2橋台構造図(3/3) S=1:30

コンクリート保護塗装工
CC-B

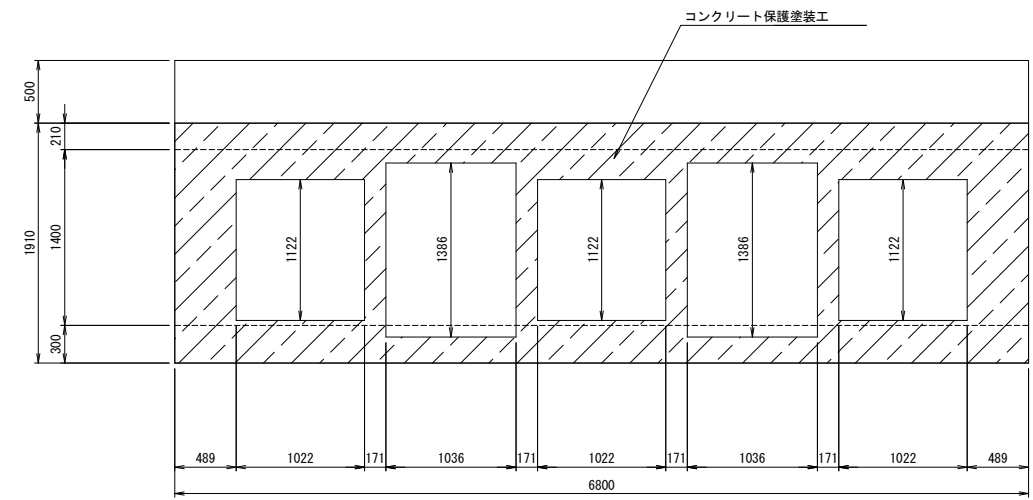
正面図



側面図
(左右共通)



橋座平面図



【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$ (24-12-25-55)
鉄筋	SD345

【特記事項】
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・翼壁施工時に防護柵アンカーを配置しておくこと。
・なお、アンカー取付け位置は「防護柵詳細図」を参照のこと。
・コンクリートを打設する際に、既設コンクリート面に接する箇所はチップングを行うこと。

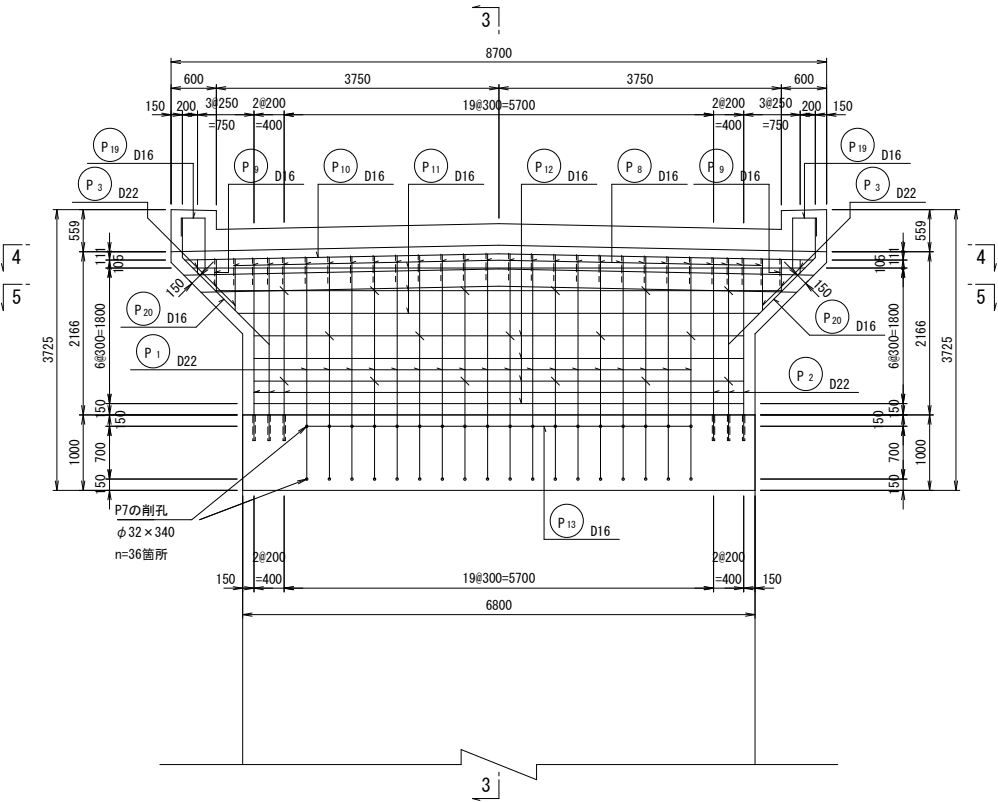
岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 131	A2橋台構造図(3/3)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A2橋台配筋図(1/5) S=1:50

胸壁・受台

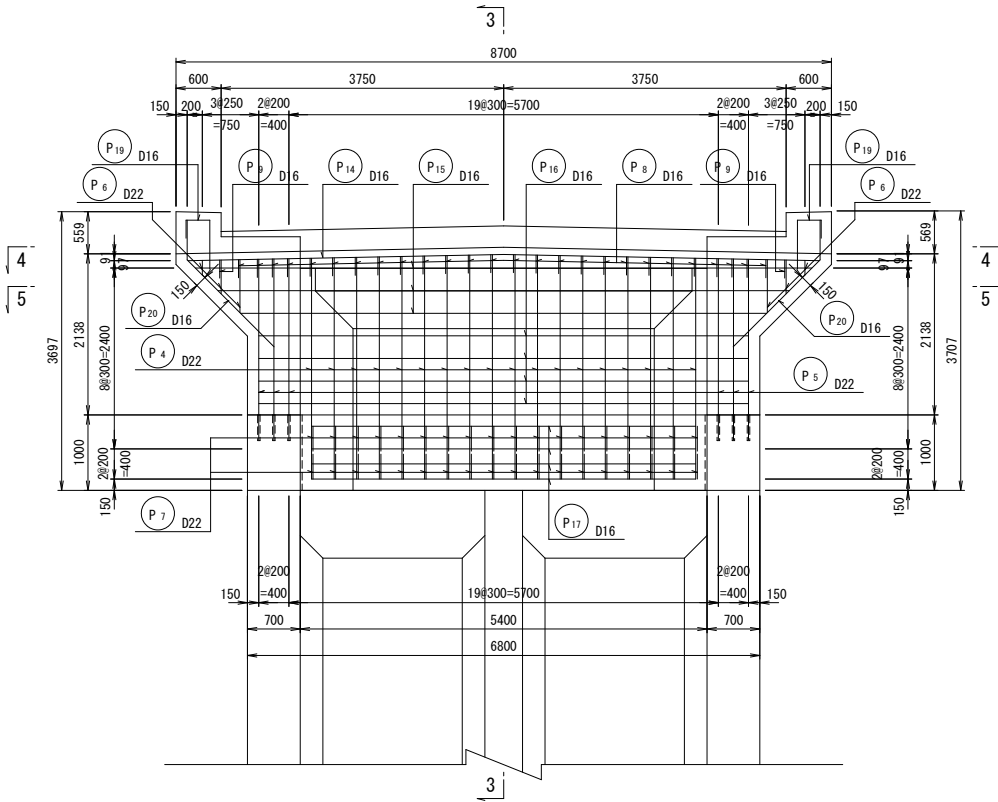
正面図

1 - 1



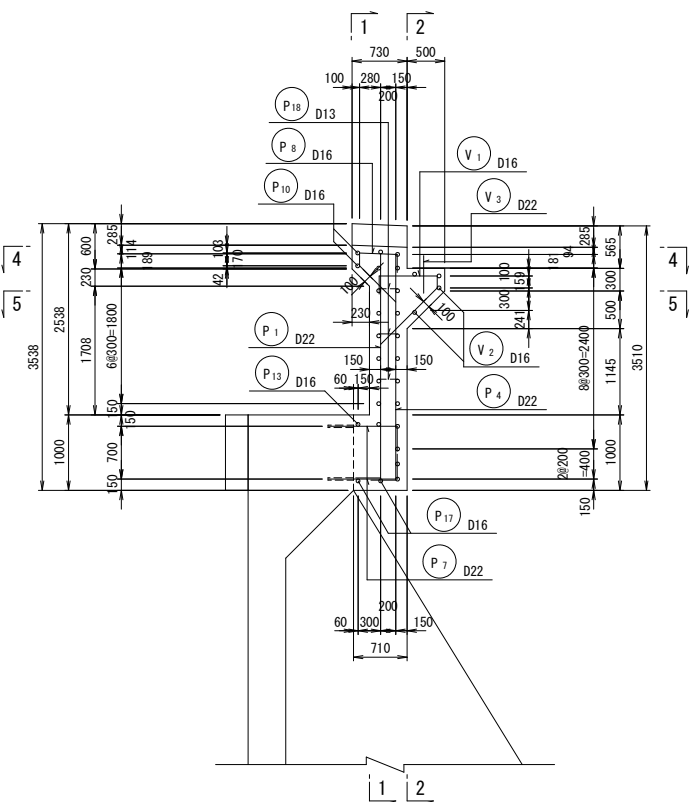
背面図

2 - 2



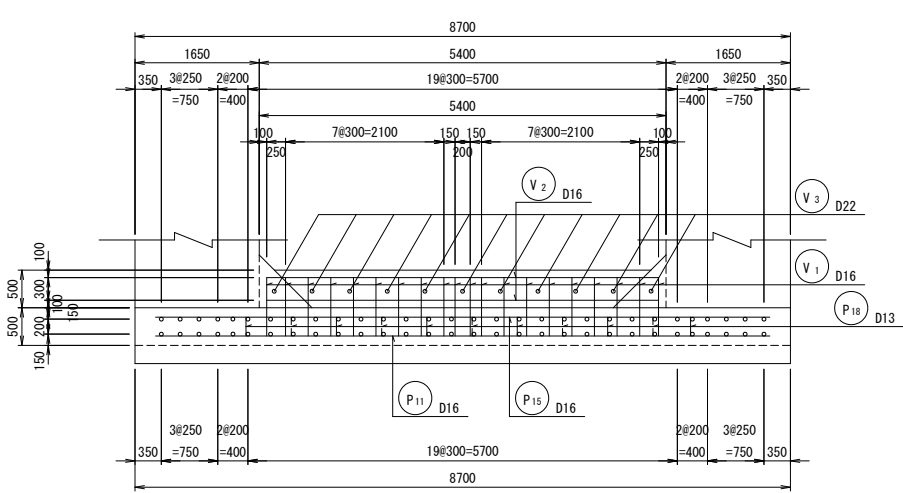
断面図

3 - 3



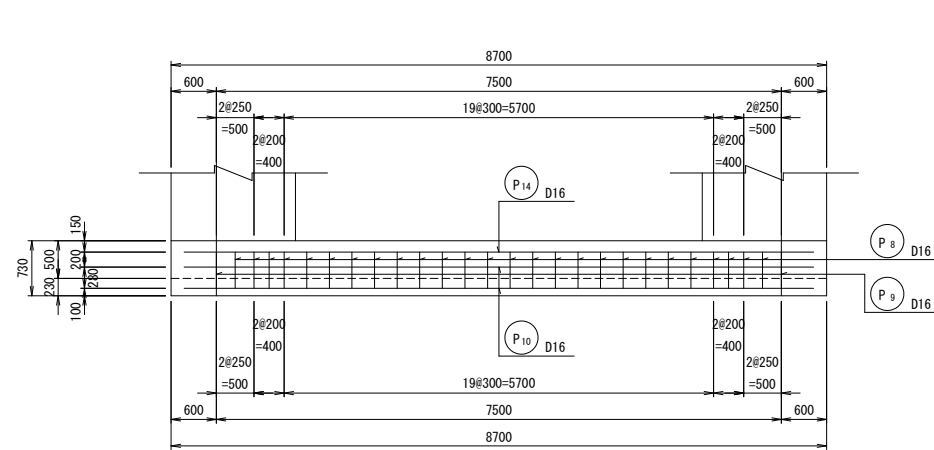
胸壁・受台平面図

5 - 5



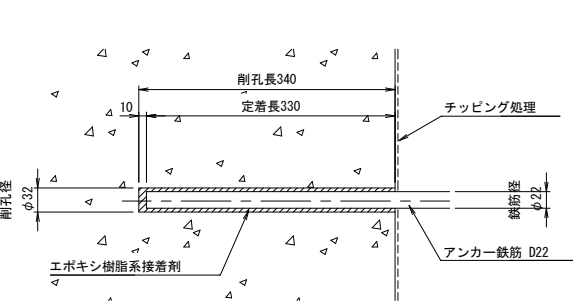
天端平面図

4 - 4



アンカー部詳細図

S=1:5



《注記》
・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。

岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 132

A2橋台配筋図(1/5)

令和 7 年度

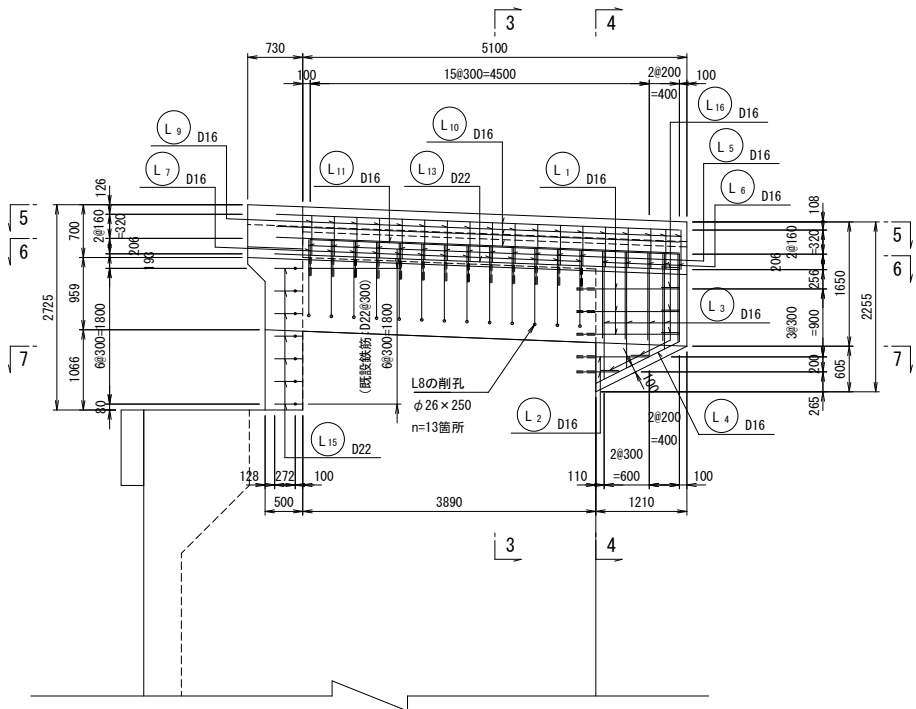
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺 図 示

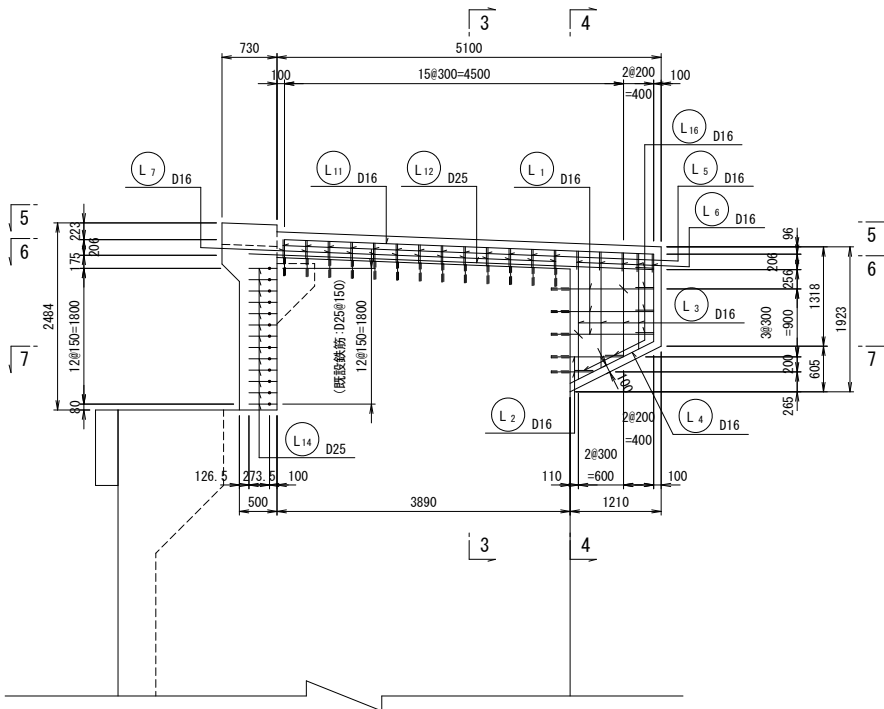
A2橋台配筋図(2/5) S=1:50

左側翼壁

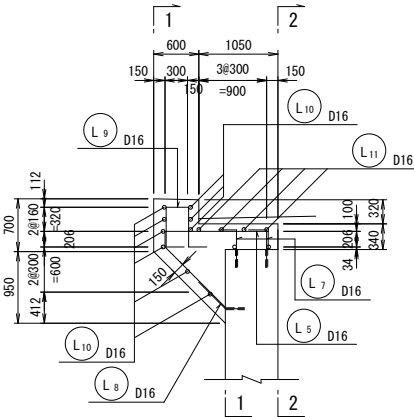
外面図
1 - 1



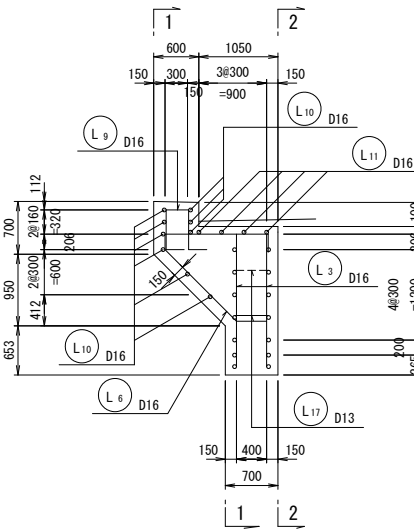
内面図
2 - 2



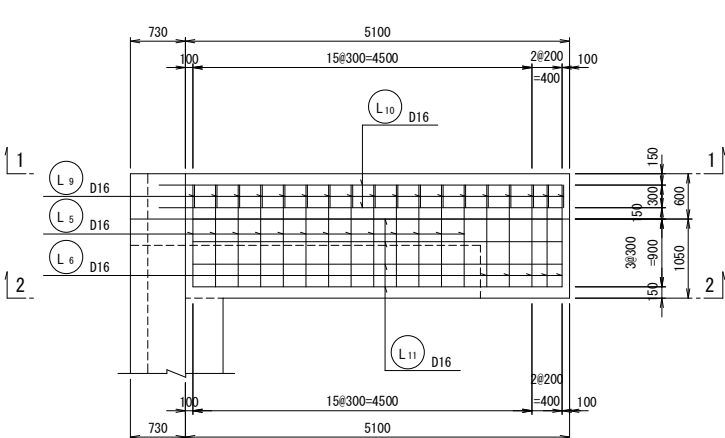
断面図
3 - 3



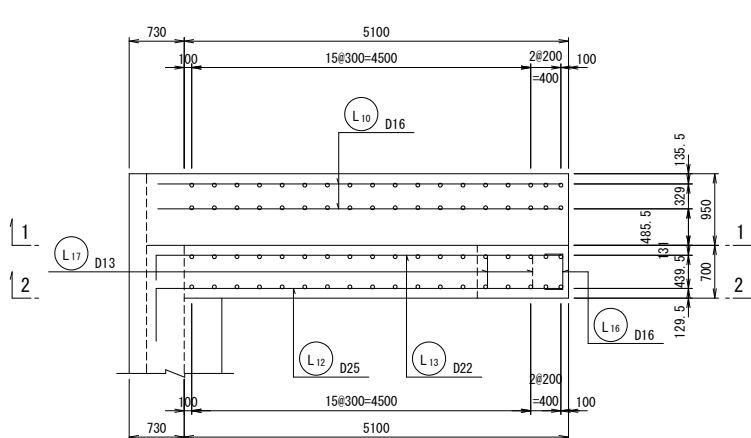
断面図
4 - 4



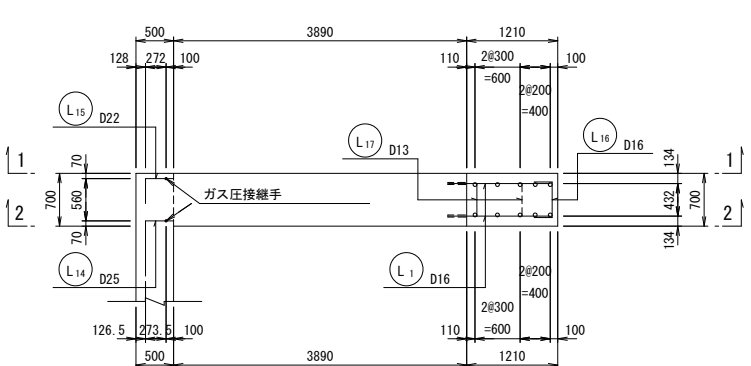
天端平面図
5 - 5



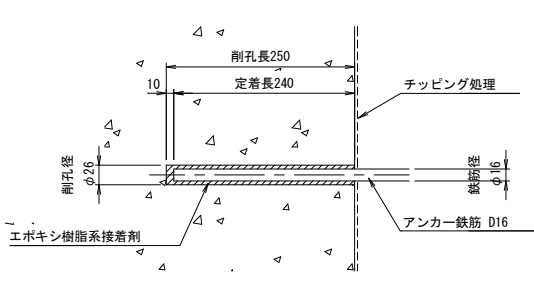
平面図
6 - 6



平面図
7 - 7



アンカー部詳細図 S=1:5



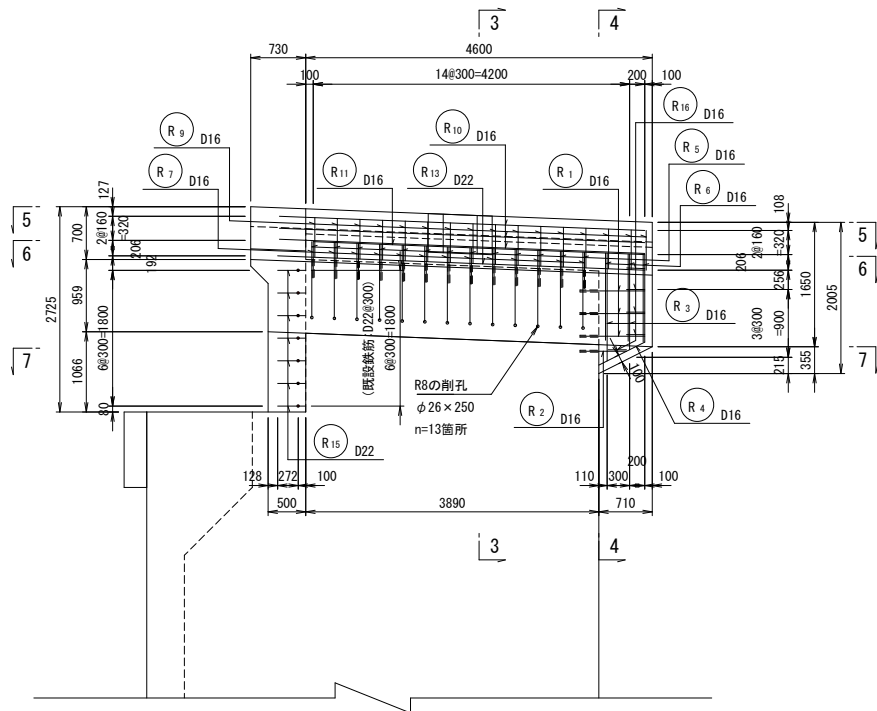
《注記》
・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。
・ 翼壁主鉄筋（水平方向鉄筋）は、はつり面（新設の胸壁背面のライン）から100mm残し切断する。
・ 翼壁主鉄筋の定着長を確保するため、既設鉄筋と新たな鉄筋（L14, L15）をガス圧接継手で接続すること。なお、既設鉄筋の鉄筋径および配置は既往資料からの想定のため、現地で確認、調整を行うこと。

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 133	A2橋台配筋図(2/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

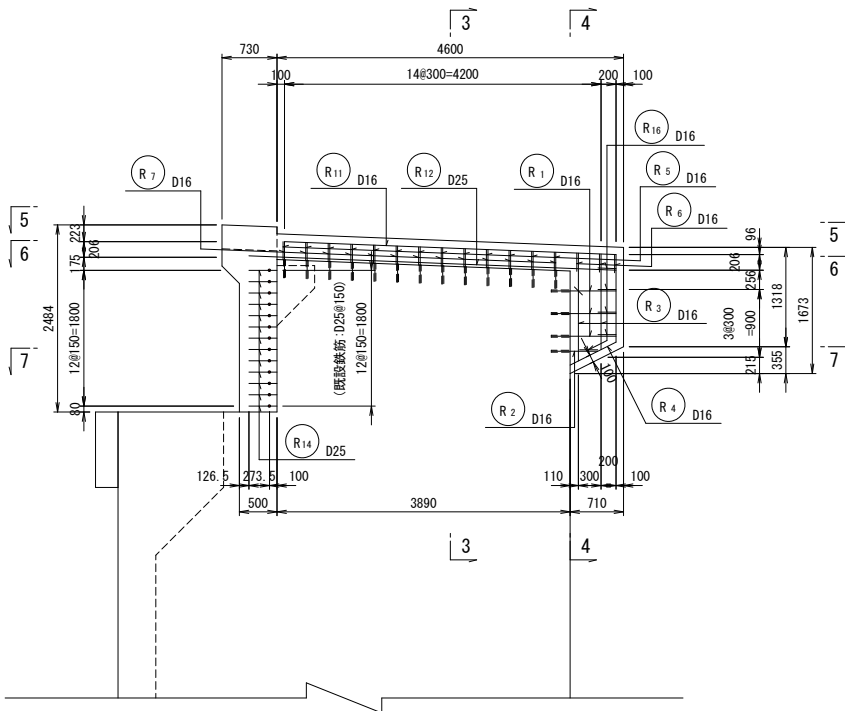
A2橋台配筋図(3/5) S=1:50

右側翼壁

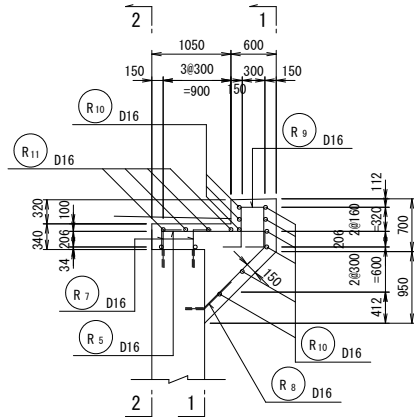
外面図
1 - 1



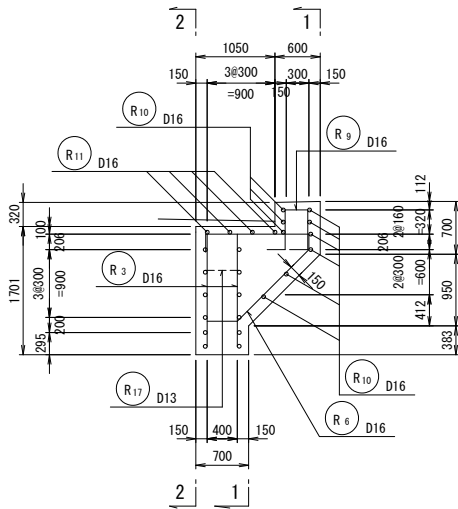
内面図
2 - 2



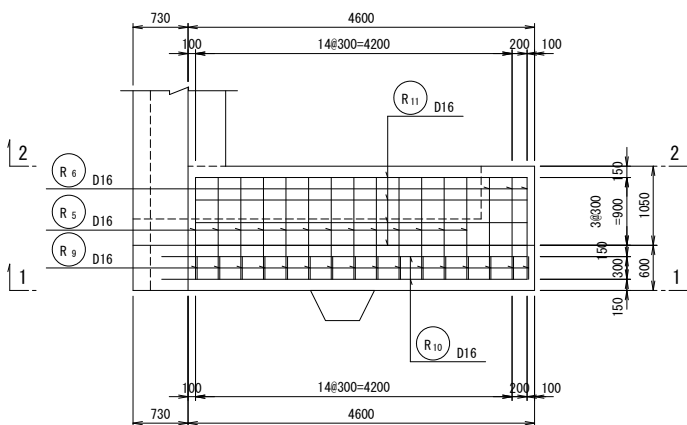
断面図
3 - 3



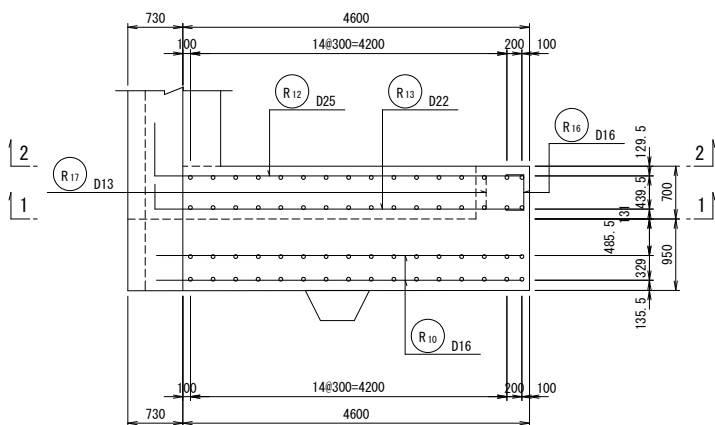
断面図
4 - 4



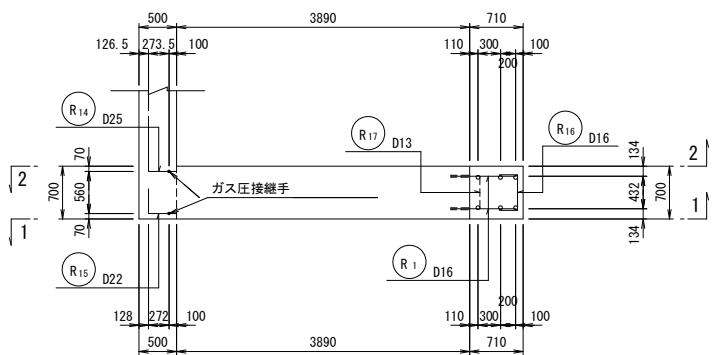
天端平面図
5 - 5



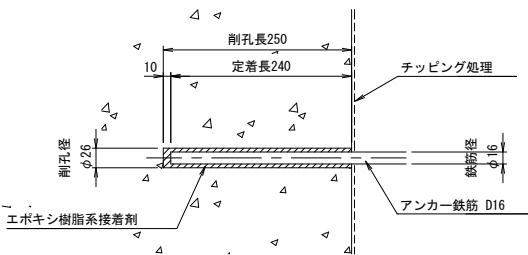
平面図
6 - 6



平面図
7 - 7



アンカー部詳細図 S=1:5



《注記》

- ・ 図中詳細寸法は、現地検測を行い決定すること。
- ・ コンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋材質はSD345とする。
- ・ 削孔位置は既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を行い既設鉄筋の配置を確認した上で決定すること。
- ・ 翼壁主鉄筋（水平方向鉄筋）は、はつり面（新設の胸壁背面のライン）から100mm残し切断する。
- ・ 翼壁主鉄筋の定着長を確保するため、既設鉄筋と新たな鉄筋（R14、R15）をガス圧接継手で接続すること。なお、既設鉄筋の鉄筋径および配置は既往資料からの想定のため、現地にて確認、調整を行うこと。

岩手県県土整備部

主要地方道
盛岡環状線

盛岡市上太田中瀬及び
滝沢市大釜塩の森地内

全 179 枚ノ中
其 134

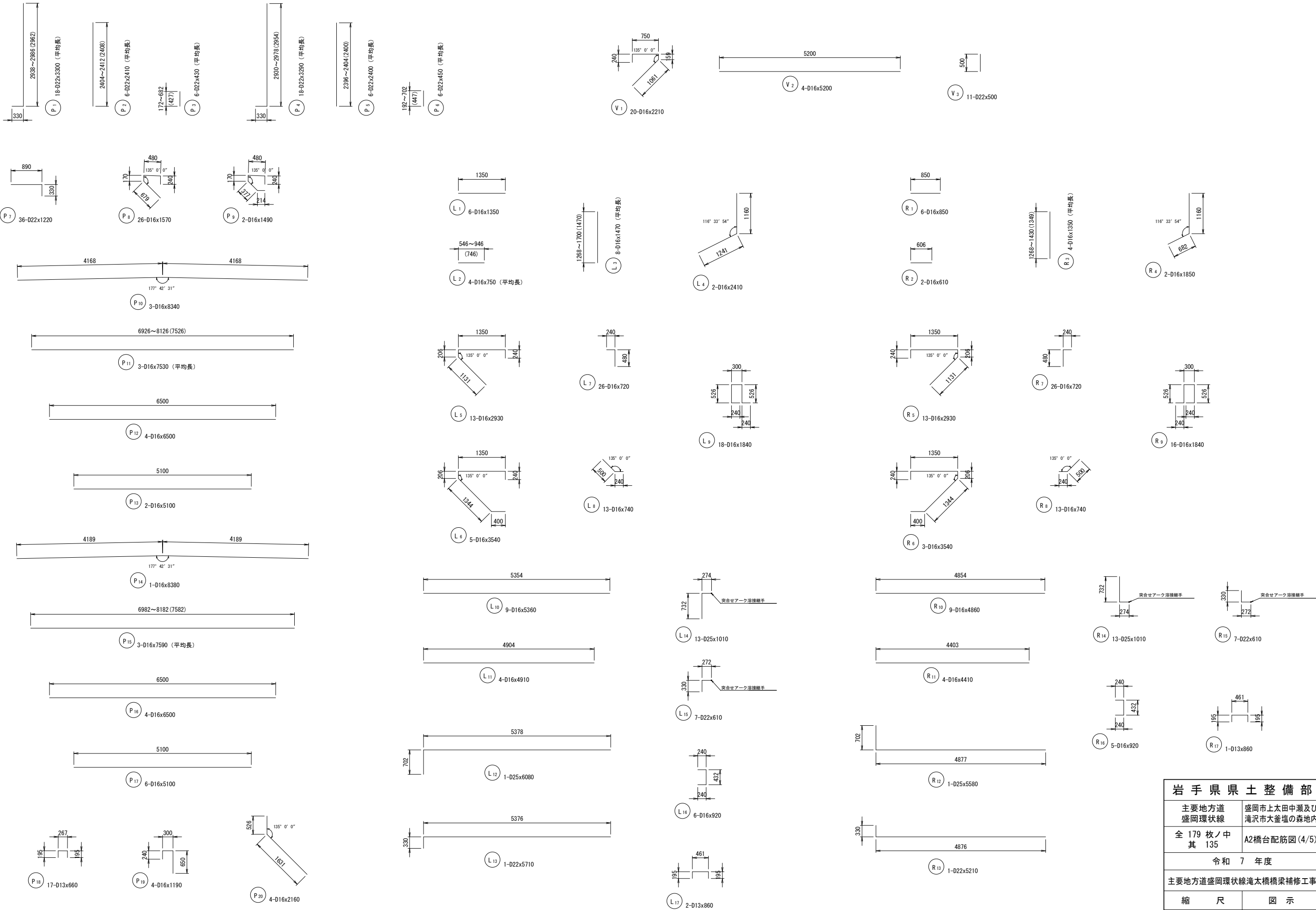
A2橋台配筋図(3/5)

令和 7 年度

主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事

縮 尺 図 示

A2橋台配筋図(4/5) S=1:50



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 135	A2橋台配筋図(4/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A2橋台配筋図(5/5) S=1:50

鉄筋表

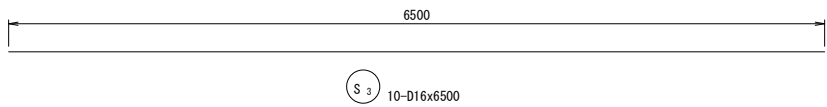
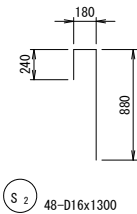
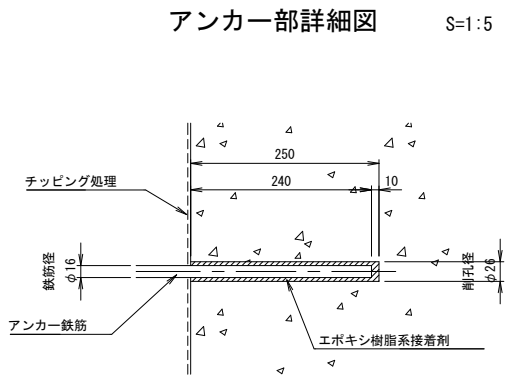
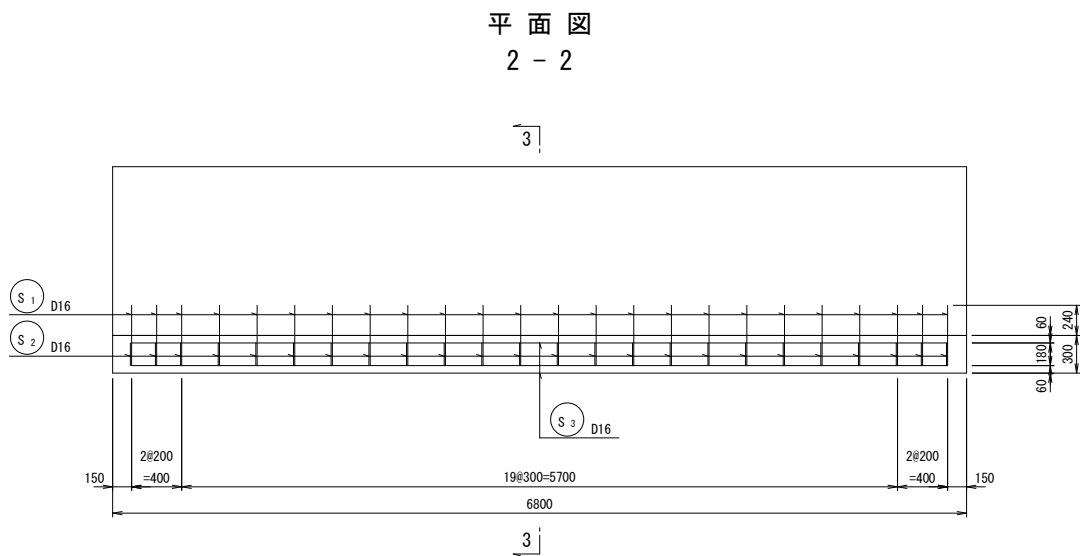
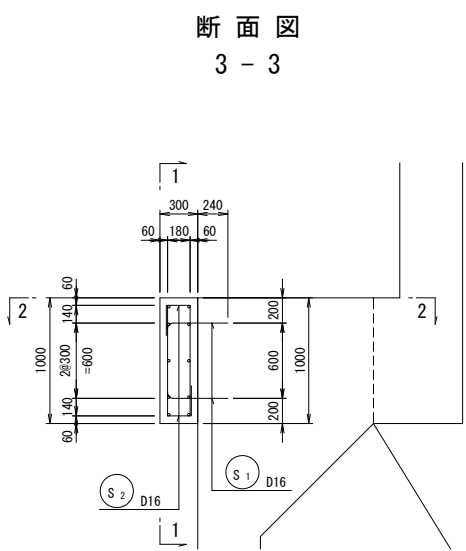
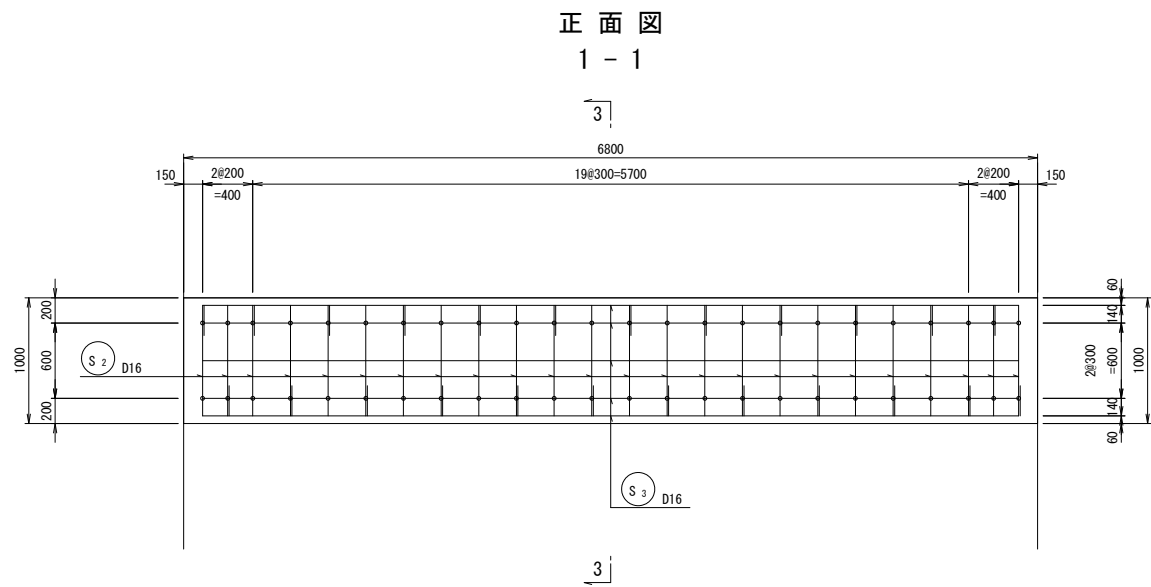
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
P1	D22	3300	18	3.04	10.03	181	┘ (平均長)
P2	D22	2410	6	3.04	7.33	44	(平均長)
P3	D22	430	6	3.04	1.31	8	(平均長)
P4	D22	3290	18	3.04	10.00	180	┘ (平均長)
P5	D22	2400	6	3.04	7.30	44	(平均長)
P6	D22	450	6	3.04	1.37	8	(平均長)
P7	D22	1220	36	3.04	3.71	134	┘
P8	D16	1570	26	1.56	2.45	64	┘
P9	D16	1490	2	1.56	2.32	5	┘
P10	D16	8340	3	1.56	13.01	39	┘
P11	D16	7530	3	1.56	11.75	35	—— (平均長)
P12	D16	6500	4	1.56	10.14	41	——
P13	D16	5100	2	1.56	7.96	16	——
P14	D16	8380	1	1.56	13.07	13	┘
P15	D16	7590	3	1.56	11.84	36	—— (平均長)
P16	D16	6500	4	1.56	10.14	41	——
P17	D16	5100	6	1.56	7.96	48	——
P18	D13	660	17	0.995	0.66	11	┘
P19	D16	1190	4	1.56	1.86	7	┘
P20	D16	2160	4	1.56	3.37	13	┘
V1	D16	2210	20	1.56	3.45	69	┘
V2	D16	5200	4	1.56	8.11	32	——
V3	D22	500	11	3.04	1.52	17	
L1	D16	1350	6	1.56	2.11	13	——
L2	D16	750	4	1.56	1.17	5	—— (平均長)
L3	D16	1470	8	1.56	2.29	18	(平均長)
L4	D16	2410	2	1.56	3.76	8	┘
L5	D16	2930	13	1.56	4.57	59	┘
L6	D16	3540	5	1.56	5.52	28	┘
L7	D16	720	26	1.56	1.12	29	┘
L8	D16	740	13	1.56	1.15	15	┘
L9	D16	1840	18	1.56	2.87	52	┘
L10	D16	5360	9	1.56	8.36	75	——
L11	D16	4910	4	1.56	7.66	31	——
L12	D25	6080	1	3.98	24.20	24	┘
L13	D22	5710	1	3.04	17.36	17	┘
L14	D25	1010	13	3.98	4.02	52	┘ T=13
L15	D22	610	7	3.04	1.85	13	┘ T= 7
L16	D16	920	6	1.56	1.44	9	┘
L17	D13	860	2	0.995	0.86	2	┘

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
R1	D16	850	6	1.56	1.33	8	——
R2	D16	610	2	1.56	0.95	2	——
R3	D16	1350	4	1.56	2.11	8	(平均長)
R4	D16	1850	2	1.56	2.89	6	┘
R5	D16	2930	13	1.56	4.57	59	┘
R6	D16	3540	3	1.56	5.52	17	┘
R7	D16	720	26	1.56	1.12	29	┘
R8	D16	740	13	1.56	1.15	15	┘
R9	D16	1840	16	1.56	2.87	46	┘
R10	D16	4860	9	1.56	7.58	68	——
R11	D16	4410	4	1.56	6.88	28	——
R12	D25	5580	1	3.98	22.21	22	┘
R13	D22	5210	1	3.04	15.84	16	┘
R14	D25	1010	13	3.98	4.02	52	┘ T=13
R15	D22	610	7	3.04	1.85	13	┘ T= 7
R16	D16	920	5	1.56	1.44	7	┘
R17	D13	860	1	0.995	0.86	1	┘
D25						150 kg	(SD345)
D22						675 kg	(SD345)
D16						1094 kg	(SD345)
D13						14 kg	(SD345)
合計						1933 kg	(SD345)
ガス圧接継手					D25	26箇所	
					D22	14箇所	

岩 手 県 県 土 整 備 部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 136	A2橋台配筋図(5/5)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A2橋台沓座拡幅配筋図

S=1:30



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D16	700	48	1.56	1.09	52	
S2	D16	1300	48	1.56	2.03	97	
S3	D16	6500	10	1.56	10.14	101	
						D16	250 kg (SD345)
						合計	250 kg (SD345)

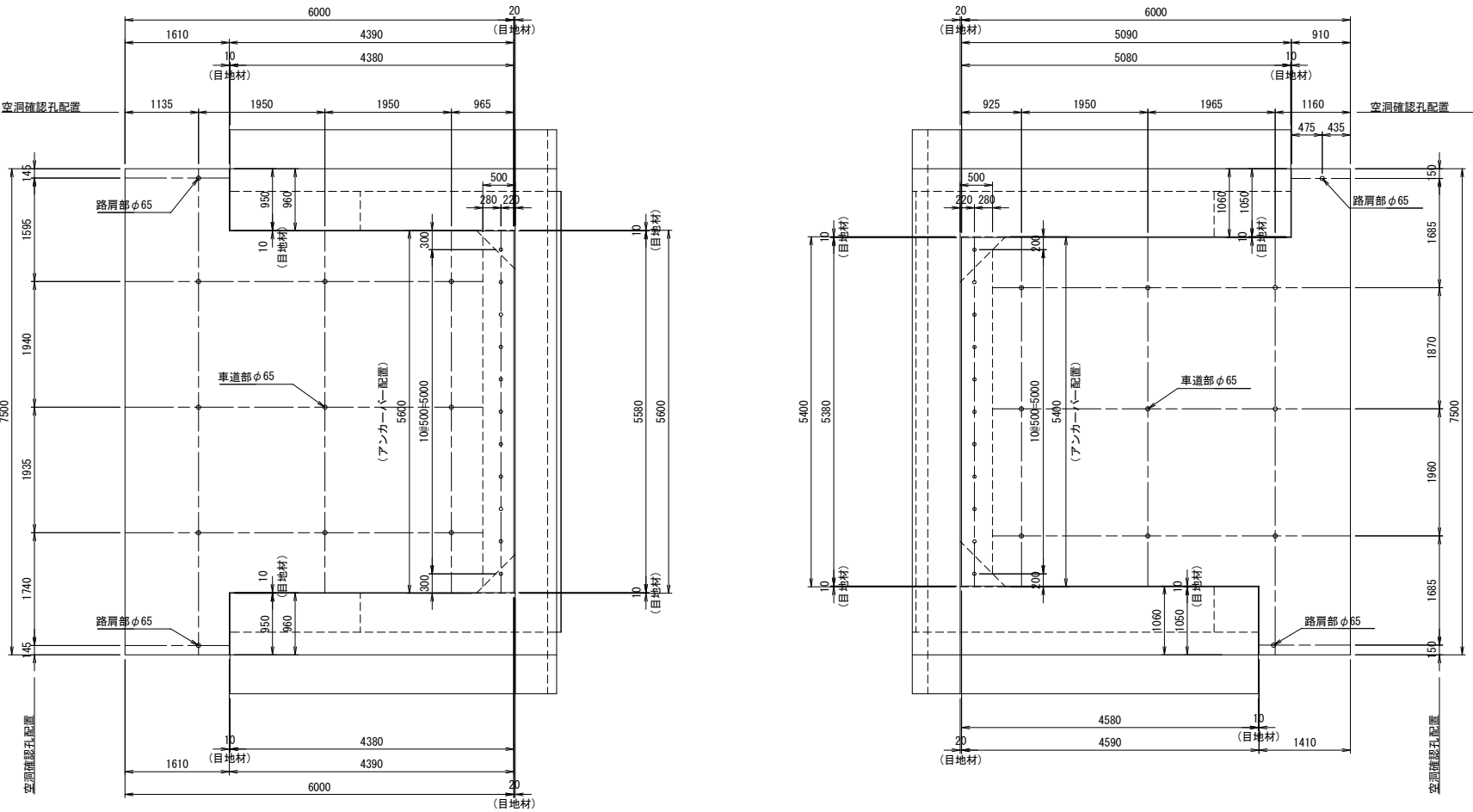
【使用材料】	
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-25)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 137	A2橋台沓座拡幅 配筋図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

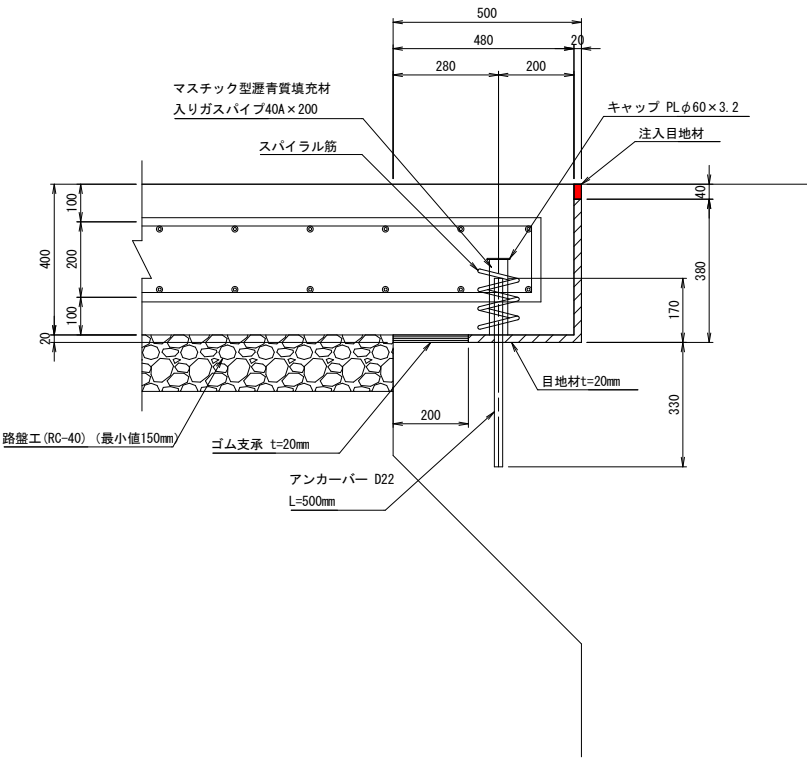
【特記事項】
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

踏掛版構造図

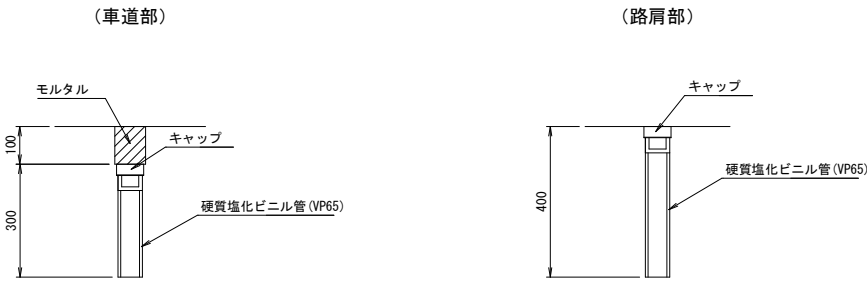
平面図 S=1:50



支承部詳細図 S=1:10



空洞確認孔詳細図 S=1:10



側面図 S=1:50

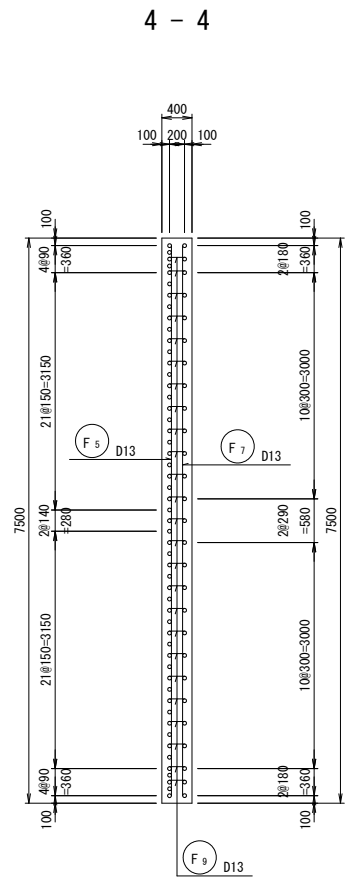
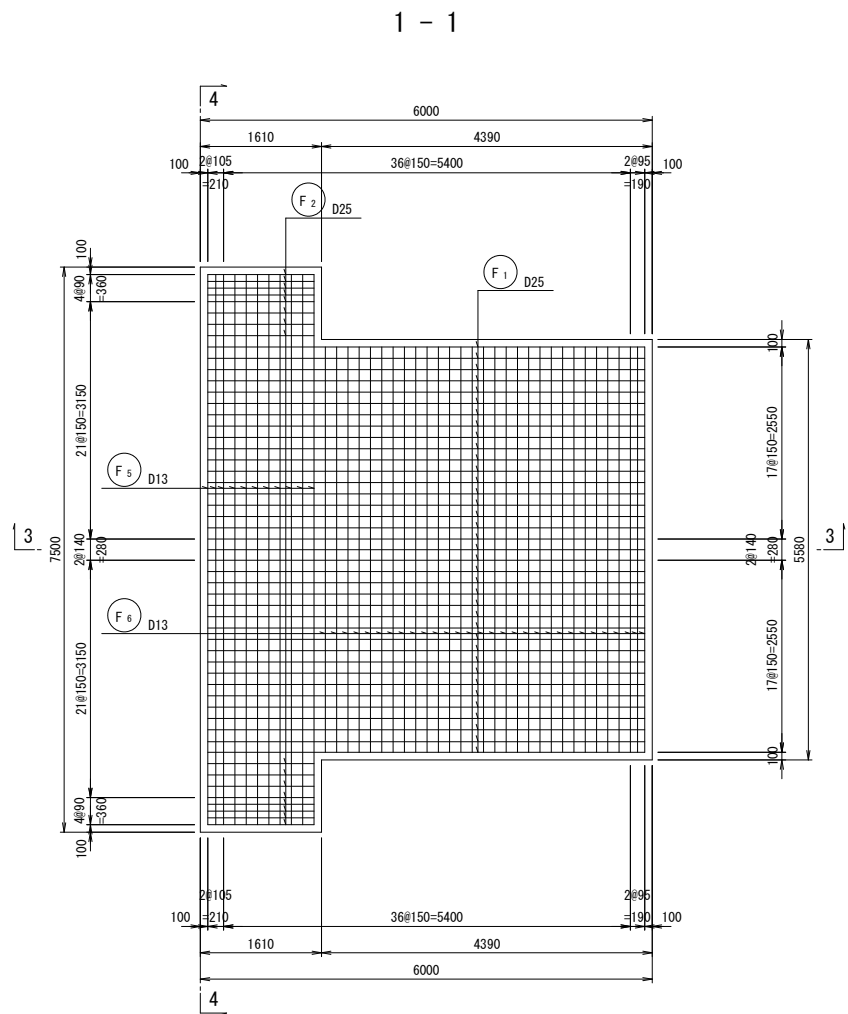
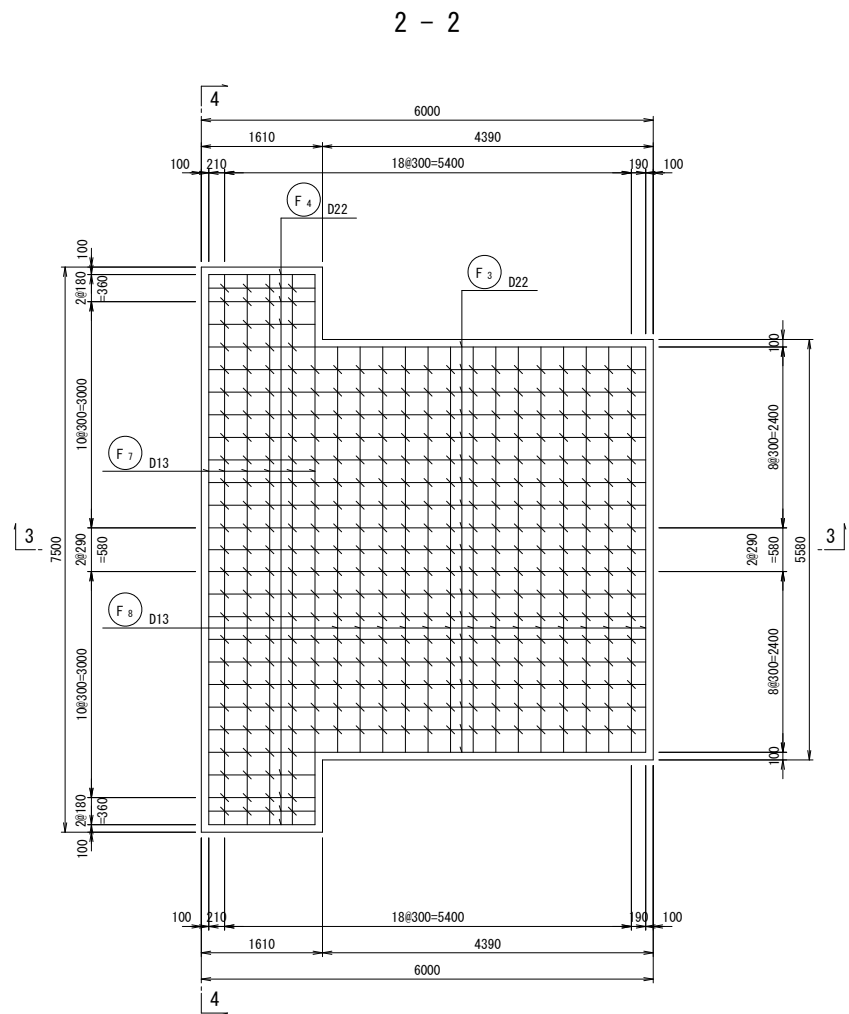


【使用材料】	
躯体コンクリート	σ ck=24N/mm2 (24-12-25)
鉄筋	SD345

岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 138	踏掛版構造図
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

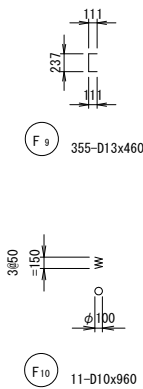
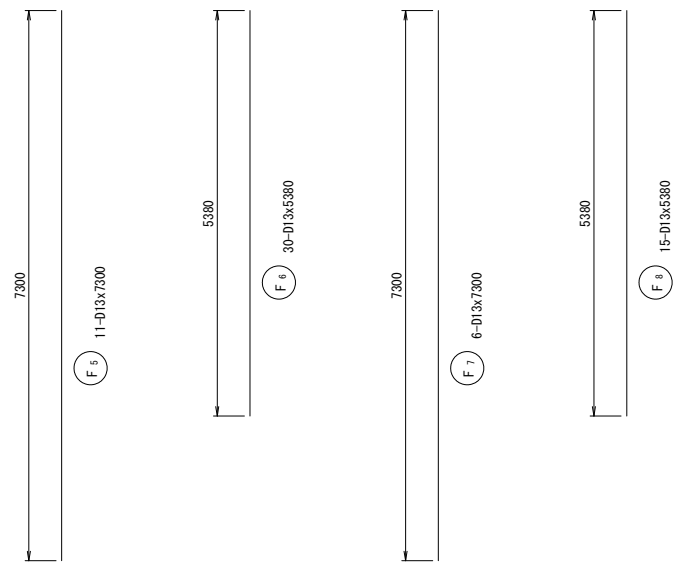
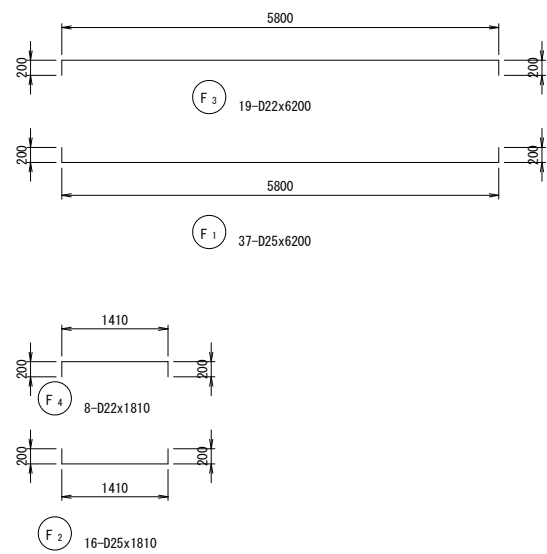
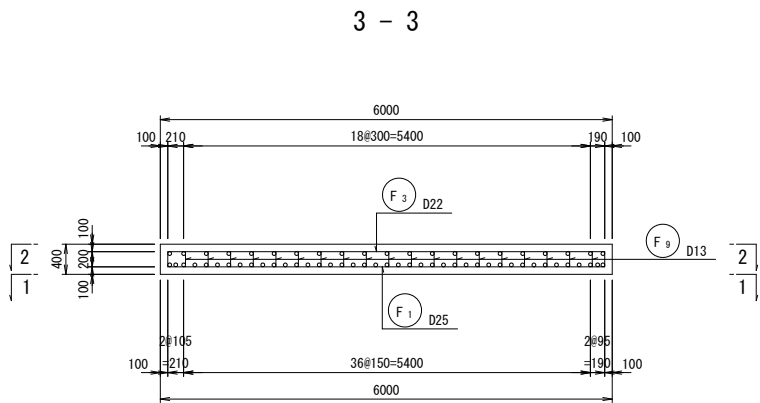
踏掛版配筋図(1/2) S=1:50

A1橋台側



鉄筋表

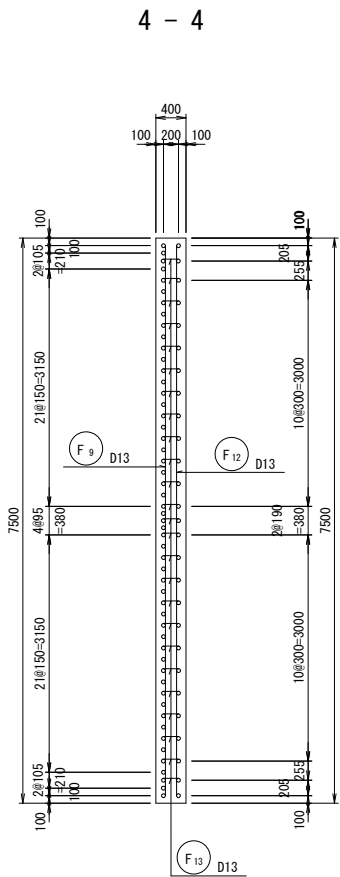
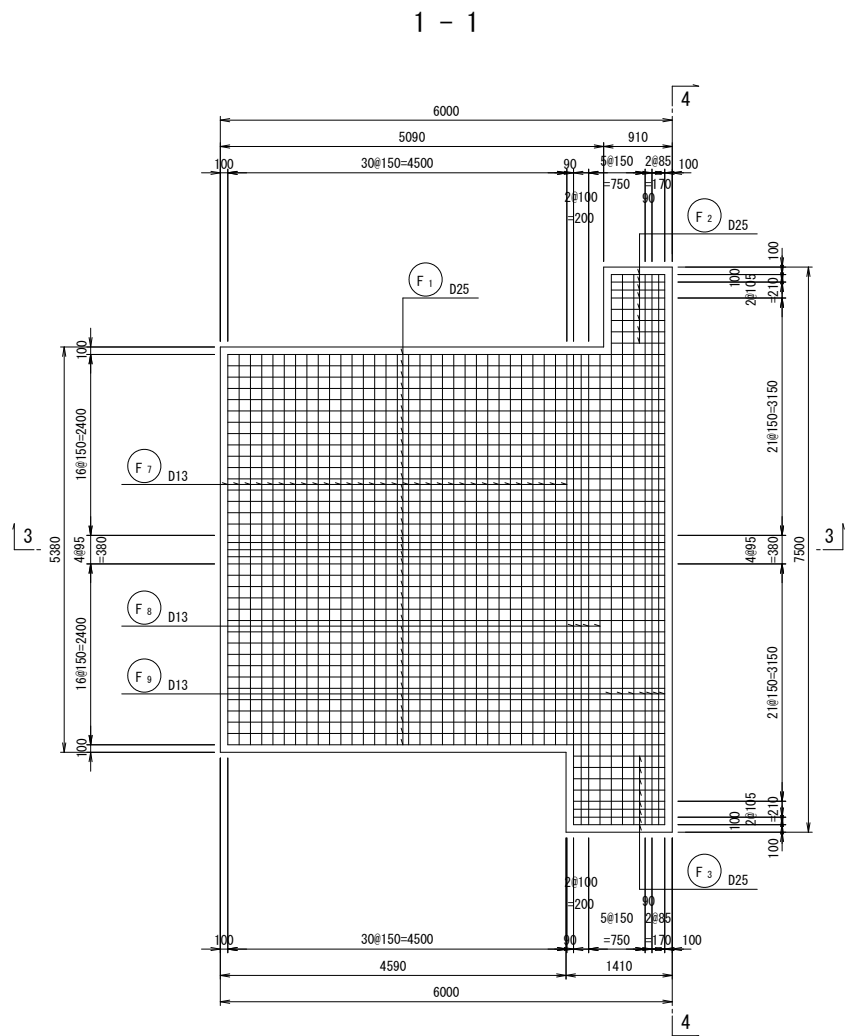
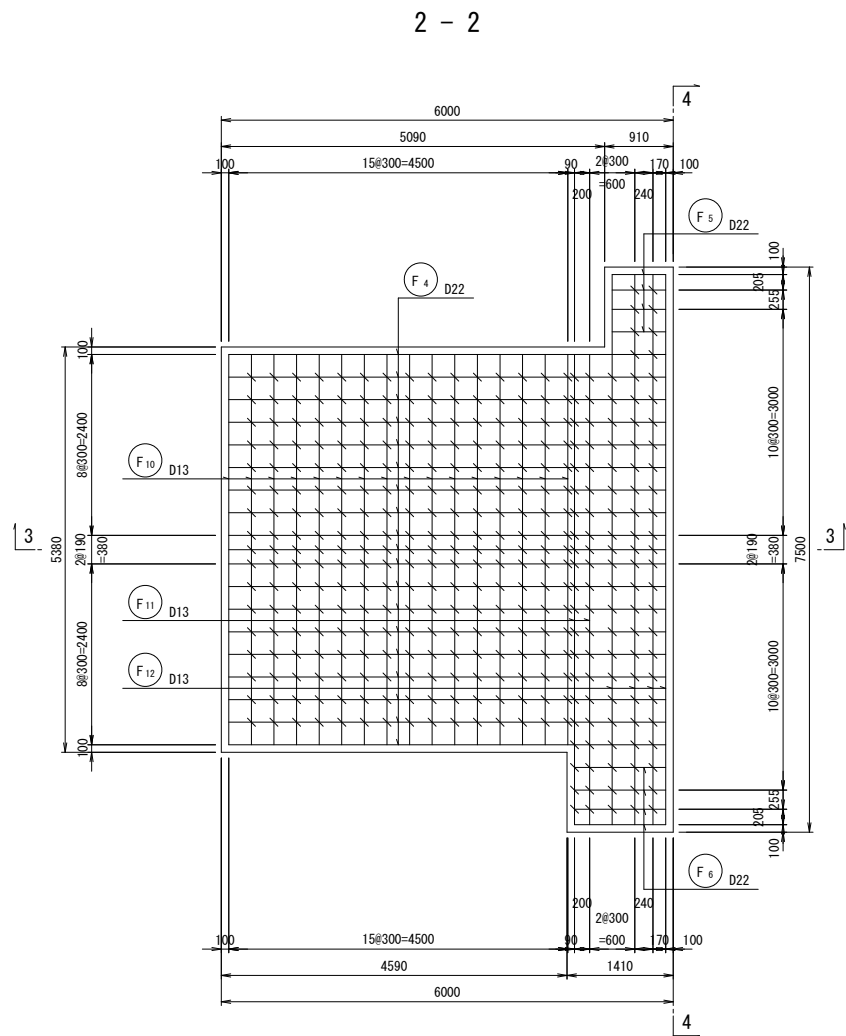
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F1	D25	6200	37	3.98	24.68	913	└─┘
F2	D25	1810	16	3.98	7.20	115	└─┘
F3	D22	6200	19	3.04	18.85	358	└─┘
F4	D22	1810	8	3.04	5.50	44	└─┘
F5	D13	7300	11	0.995	7.26	80	
F6	D13	5380	30	0.995	5.35	161	
F7	D13	7300	6	0.995	7.26	44	
F8	D13	5380	15	0.995	5.35	80	
F9	D13	460	355	0.995	0.46	163	└─┘
F10	D10	960	11	0.56	0.54	6	W
						D25	1028 kg (SD345)
						D22	402 kg (SD345)
						D13	528 kg (SD345)
						D10	6 kg (SD345)
						合計	1964 kg (SD345)



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜地の森地内
全 179 枚ノ中 其 139	踏掛版配筋図(1/2)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

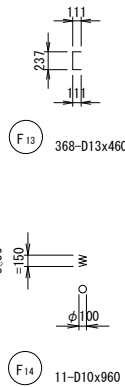
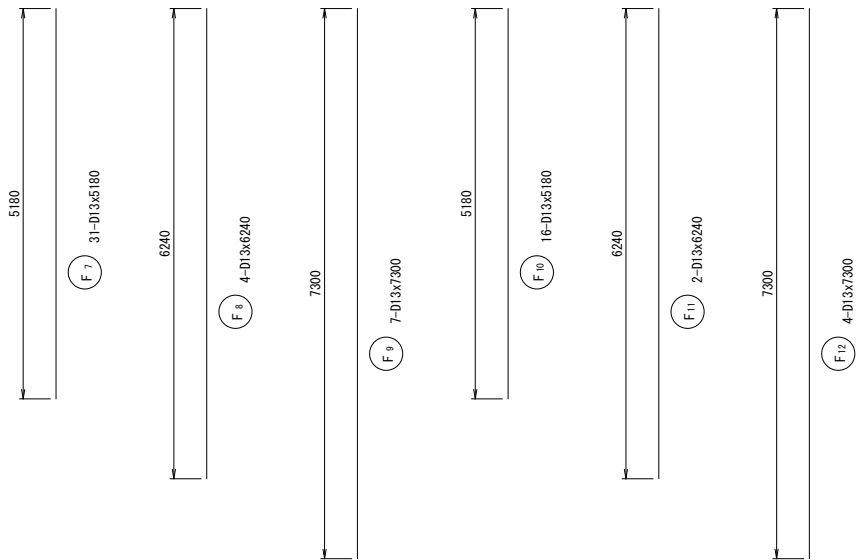
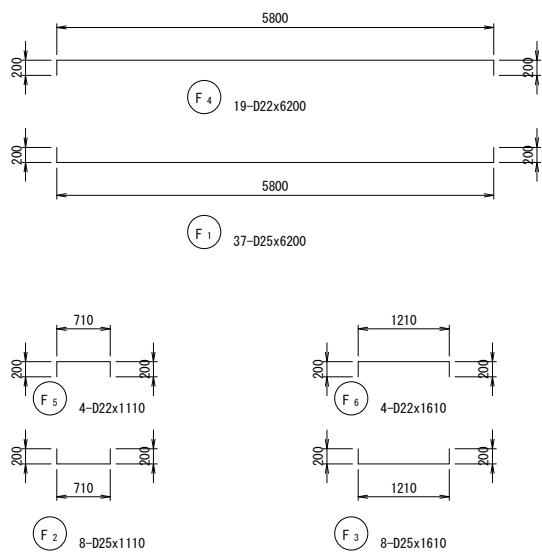
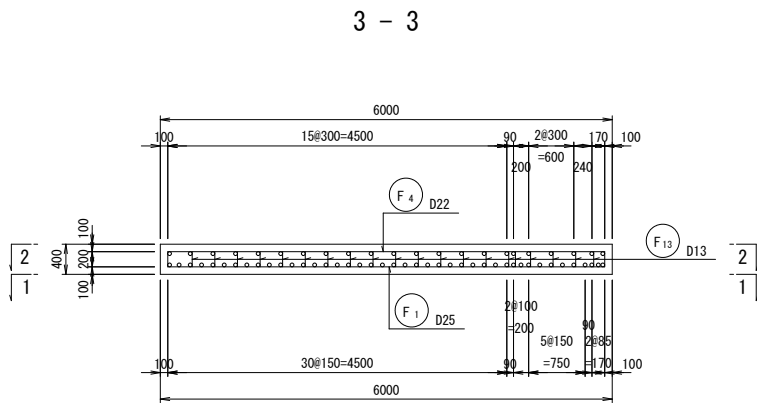
踏掛版配筋図 (2/2) S=1:50

A2橋台側



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F1	D25	6200	37	3.98	24.68	913	└┐
F2	D25	1110	8	3.98	4.42	35	└┐
F3	D25	1610	8	3.98	6.41	51	└┐
F4	D22	6200	19	3.04	18.85	358	└┐
F5	D22	1110	4	3.04	3.37	13	└┐
F6	D22	1610	4	3.04	4.89	20	└┐
F7	D13	5180	31	0.995	5.15	160	
F8	D13	6240	4	0.995	6.21	25	
F9	D13	7300	7	0.995	7.26	51	
F10	D13	5180	16	0.995	5.15	82	
F11	D13	5240	2	0.995	5.21	10	
F12	D13	7300	4	0.995	7.26	29	
F13	D13	460	368	0.995	0.46	169	└┐
F14	D10	960	11	0.56	0.54	6	W
						D25	999 kg (SD345)
						D22	391 kg (SD345)
						D13	526 kg (SD345)
						D10	6 kg (SD345)
						合計	1922 kg (SD345)



岩手県県土整備部	
主要地方道 盛岡環状線	盛岡市上太田中瀬及び 滝沢市大釜塩の森地内
全 179 枚ノ中 其 140	踏掛版配筋図 (2/2)
令和 7 年度	
主要地方道盛岡環状線滝太橋橋梁補修工事	
縮 尺	図 示